

PowerShot SX730 HS

使用説明書 活用編

日本語

- ご使用前に必ず本書および、本書の「安全上のご注意」(14)をお読みください。
- 本書をよく読んで、正しくお使いください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

- 右下のボタンをクリックすると、ページを移動できます。
 - ▶ : 次のページ
 - ◀ : 前のページ
 - 🔗 : リンクをクリックする直前に表示していたページ
- 右端にある章のタイトルをクリックすると、各章の先頭ページに移動します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

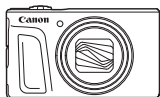


お使いになる前に

最初にお読みください

カメラと付属品の確認

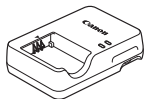
お使いになる前に、次のものが入っていることを確認してください。
万が一、不足のものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



カメラ



バッテリーパック
NB-13L*



バッテリーチャージャー
CB-2LH



リストストラップ

* バッテリーに外装として貼り付けられているラベルは、はがさないでください。

- 上記のほか、印刷物一式が入っています。
- メモリーカードは付属されていません (P.2)。

使えるカード（市販品）について

以下のカードが容量に制限なくお使いになれます。

- SD（エスディー）メモリーカード*¹
- SDHC（エスディーエイチシー）メモリーカード*¹*²
- SDXC（エスディーエックスシー）メモリーカード*¹*²



*¹ SD規格に準拠したカードです。カードによっては、正しく動作しないことがあります。

*² UHS-I対応のメモリーカードも使えます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



お使いになる前にお読みください

- 必ず事前に試し撮りをし、撮影後は画像を再生して画像が正常に記録されていることを確認してください。万が一、カメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みができなかったときの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- このカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限していることがありますのでご注意ください。
- このカメラの保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、別紙の修理受付センターへご相談ください。
- 画面（モニター）は、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。
- このカメラは、長い時間お使いになっていると、カメラの温度が高くなることがあります。これは故障ではありません。

このガイドの記載について

- カメラのボタンやダイヤルは、ボタンやダイヤルに表記されている絵文字を使って示しています。
- 次の操作部材は、絵文字で示しています。また、()内は「各部のなまえ」(4)にある該当する操作部材の番号を示しています。
 - [▲] 背面(12) 上ボタン
 - [◀] 背面(8) 左ボタン
 - [▶] 背面(13) 右ボタン
 - [▼] 背面(15) 下ボタン
 - [●] 背面(7) コントローラーホイール
- 撮影モード、画面に表示される絵文字や文言は、[] つきで示しています。
- ⓘ : 知っておいていただきたい重要事項を示しています。
- ⓘ : 上手に使うためのヒントや補足事項を示しています。
- 📖xx : 参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。
- このカメラで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。
- タイトルの下にある「▶ 静止画」「▶ 動画」は、その機能が静止画や動画を撮るときや見るときに使えるかを示しています。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

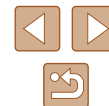
無線機能

設定メニュー

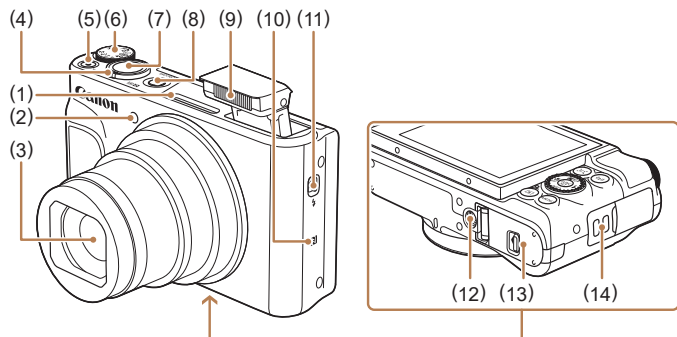
アクセサリ

付録

索引

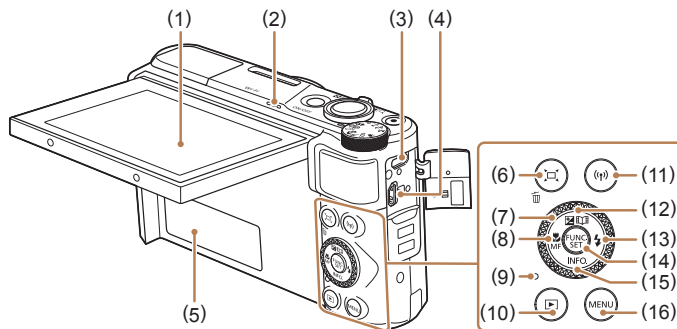


各部のなまえ



- | | |
|--|-----------------------------------|
| (1) マイク | (7) シャッターボタン |
| (2) ランプ (前面) | (8) 電源ボタン |
| (3) レンズ | (9) ストロボ |
| (4) ズームレバー | (10) N (N マーク)* |
| 撮影時: [M] (望遠) / [W] (広角) | (11) [S] (ストロボポップアップ) スイッチ |
| 再生時: [Q] (拡大) / [R] (インデックス) | (12) 三脚ねじ穴 |
| (5) 動画ボタン | (13) カード/バッテリー収納部ふた |
| (6) モードダイヤル | (14) ストラップ取り付け部 |

* NFC 機能 (**[N]** 114) で使います。



- | | |
|--|---|
| (1) 画面 (モニター) | (9) ランプ (背面) |
| (2) スピーカー | (10) [▶] (再生) ボタン |
| (3) DIGITAL (デジタル) 端子 | (11) [Wi-Fi] (Wi-Fi) ボタン |
| (4) HDMI™ 端子 | (12) [+] (露出補正) / [−] (ストーリーハイライト) / 上ボタン |
| (5) シリアル番号 (機番) | (13) [S] (ストロボ) / 右ボタン |
| (6) [F] (フレーミングアシスト - 探索) / [E] (1 画像消去) ボタン | (14) FUNC./SET (ファンクション/セット) ボタン |
| (7) コントローラーホイール | (15) [INFO.] (インフォメーション) / 下ボタン |
| (8) [M] (マクロ) / [MF] (マニュアルフォーカス) / 左ボタン | (16) [MENU] (メニュー) ボタン |



- コントローラーホイールを回すと、項目を選んだり画像の切り換えなどができます。また、一部の操作を除き、**[▲]**、**[▼]**、**[◀]**、**[▶]** と同じ操作ができます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



目次

お使いになる前に

最初にお読みください.....	2
カメラと付属品の確認.....	2
使えるカード（市販品）について.....	2
お使いになる前にお読みください.....	3
このガイドの記載について.....	3
各部のなまえ.....	4
やりたいこと目次.....	12
安全上のご注意.....	14

基本編

カメラの基本操作.....	16
準備する.....	16
ストラップを取り付ける.....	16
カメラを構える.....	16
バッテリーを充電する.....	17
バッテリーとカード（市販品）を入れる.....	17
バッテリーとカードを取り出す.....	18
日付／時刻を設定する.....	18
日付／時刻を変える.....	19
表示言語を選ぶ.....	20
使ってみる.....	20
撮る（こだわりオート）.....	20
見る.....	22
消す.....	23

活用編

カメラを知る.....	24
電源の入れかた／切りかた.....	24
節電機能（オートパワーオフ）.....	25
撮影モードでの節電機能.....	25
再生モードでの節電機能.....	25
シャッターボタンの押しかた.....	25
撮影モードの切り換えかた.....	26
撮影時の画面表示の切り換えかた.....	26
画面（モニター）の角度調整.....	27
FUNC.（ファンクション）の表示と操作方法.....	27
MENU（メニュー）の表示と操作方法.....	28
文字の入力方法.....	29
漢字やひらがなを入力する.....	30
文字入力の設定を変える.....	30
半角スペースを使う.....	30
変換履歴を初期化する.....	30
ランプの表示.....	31
時計機能.....	31
オートモード / プラスムービーオートモード.....	32
カメラまかせで撮る.....	32
オートモードで撮る（こだわりオート）.....	32
プラスムービーオートモードで撮る.....	34
ダイジェスト動画の再生について.....	35
静止画／動画.....	35
静止画.....	35
動画.....	35
シーンのアイコン.....	36
連続撮影されるシーン.....	37
手ブレ補正アイコン.....	37

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



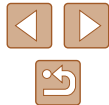
画面に表示される枠.....	38
よく使う機能や便利な機能を使う.....	38
被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）.....	38
見失った被写体を見つけやすくする （フレーミングアシスト・探索）.....	39
被写体の動きに応じて自動でズームさせる （オートズーム）.....	39
画面に対して保たれる顔の大きさを変える.....	40
自動でズームして見失った被写体を見つけやすくする （サーチアシスト）.....	41
日付を写し込む.....	41
セルフタイマーを使う.....	42
セルフタイマーを使って手ブレを防ぐ.....	43
セルフタイマーの時間と撮影枚数を変える.....	43
連続して撮る.....	43
再生したときの表示について.....	44
個人認証機能を使って撮る.....	44
個人情報について.....	44
人物情報を登録する.....	45
撮る.....	46
登録した情報を確認／編集する.....	46
顔情報を入れ換え／追加する.....	47
登録した情報を消す.....	48
自分好みの画像を撮るための機能を使う.....	48
縦横比（アスペクト比）を変える.....	48
記録画素数（画像の大きさ）を変える.....	49
用紙の大きさで選ぶときの目安 （縦横比 4:3 のとき）.....	49
水銀灯で緑がかった部分を補正する.....	49
動画の画質を変える.....	50
撮影の手助けとなる機能を使う.....	50
グリッドラインを表示する.....	50

自動水平補正を使わないようにする.....	51
手ブレ補正の設定を変える.....	51
手ブレ補正を使わないようにする.....	51
撮影前の画面と同じ大きさと動画を撮る.....	52
自分好みに機能を変える.....	52
AF 補助光（ランプ）が光らないようにする.....	52
赤目緩和機能を切る.....	53
撮影直後の画面表示を変える.....	53
撮影直後の画像表示時間を変える.....	53
撮影直後に表示される画面を変える.....	54

いろいろな撮影モード..... 55

多彩な写真や動画を撮る（クリエイティブショット）.....	55
多彩な写真を撮る.....	55
効果を選ぶ.....	56
多彩な動画を撮る.....	56
クリエイティブショット動画の再生について.....	56
自分撮りに最適な設定で撮る（自分撮り）.....	57
動きのある被写体を撮る（スポーツ）.....	58
いろいろなシーンで撮る.....	58
効果をつけて撮る.....	59
美肌の効果をかけて撮る（美肌）.....	60
魚眼レンズのような効果をつけて撮る（魚眼風）.....	60
ミニチュア模型のように撮る（ジオラマ風）.....	61
倍速と再生時間の目安 （動画を 1 分間撮影したとき）.....	61
トイカメラのような効果をつけて撮る（トイカメラ風）.....	62
優しい雰囲気撮る（ソフトフォーカス）.....	62
単色で撮る（モノクロ）.....	63
特殊なモードでいろいろな画像を撮る.....	63

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/ プラスムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
Tv、Av、Mモード
再生モード
無線機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引

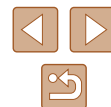


顔を見つけて撮る (オートシャッター).....	63
笑顔を見つけて撮る (スマイル).....	63
ウインクしたら撮る (ウインクセルフタイマー).....	64
人が増えたら撮る (顔セルフタイマー).....	64
いろいろな動画を撮る.....	65
スタンダードモードで動画を撮る.....	65
動きがより滑らかな動画を撮る.....	66
明るさを固定したり変えて撮る.....	66
オートスローシャッターを使わない.....	66
非常に強い手ブレを補正する.....	66
音声を設定する.....	67
ウィンドカットを使わない.....	67
アッテネーターを使う.....	67
ショートクリップモードで動画を撮る.....	67
再生時の効果.....	68
Pモード.....	69
プログラムAEで撮る ([P] モード).....	69
明るさ (露出) に関する機能を使う.....	70
明るさを変える (露出補正).....	70
明るさ (露出) を固定する (AEロック).....	70
測光方式を変える.....	70
ISO感度を変える.....	71
明るさを補正して撮る (i-コントラスト).....	71
色に関する機能を使う.....	72
自然な色あいにする (ホワイトバランス).....	72
マニュアルホワイトバランス.....	72
画像の色調を変える (マイカラー).....	73
カスタムカラー.....	73
撮影範囲やピント合わせに関する機能を使う.....	74
近くの被写体を撮る (マクロ撮影).....	74

マニュアルフォーカスで撮る.....	74
ピント合わせをしやすい表示にする (MFピーキング).....	75
デジタルテレコンバーターを使う.....	76
AFフレームモードを変える.....	76
中央.....	76
顔優先 AiAF.....	76
ピントを合わせたい被写体を選んで撮る (キャッチ AF).....	77
サーボ AF で撮る.....	78
フォーカス設定を切り換える.....	78
AFロックで撮る.....	79
ピント合わせしながら連続して撮る.....	79
ストロボに関する機能を使う.....	80
ストロボモードを変える.....	80
オート.....	80
常時発光.....	80
スローシンクロ.....	80
発光禁止.....	80
ストロボの調光量を補正する.....	81
FEロックで撮る.....	81
撮影スタイルにあわせて機能を変える.....	82
圧縮率 (画質) を変える.....	82
手ブレ補正の設定を変える.....	82

Tv、Av、Mモード.....	83
シャッタースピードを決めて撮る ([Tv] モード).....	83
絞り数値を決めて撮る ([Av] モード).....	84
シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る ([M] モード).....	84
ストロボ発光量を設定する.....	85

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/ ブラスルービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
Tv、Av、Mモード
再生モード
無線機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引



再生モード	86
見る.....	86
表示を切り換える.....	87
高輝度（ハイライト）警告.....	88
ヒストグラム.....	88
GPS 情報表示.....	88
クリエイティブショットモードで記録した短編動画 （クリエイティブショット動画）を見る.....	88
静止画を撮影したときに作成された短編動画 （ダイジェスト動画）を見る.....	89
日付ごとに選んで見る.....	89
個人認証機能で検出された人を確認する.....	89
画像を探したり、特定の画像だけを見る.....	90
一覧表示（インデックス表示）で画像を探す.....	90
指定した条件で画像を探す.....	90
グループ化された画像を 1 枚ずつ見る.....	91
個人認証情報を編集する.....	92
名前を入れ換える.....	92
名前を消す.....	92
いろいろな方法で画像を見る.....	93
拡大して見る.....	93
スライドショーで見る.....	93
設定を変える.....	94
いろいろな画像を表示する（連想再生）.....	94
保護する.....	95
メニューから操作する.....	95
1 枚ずつ指定する.....	95
範囲で指定する.....	96
すべての画像を保護する.....	96
すべての画像の保護を解除する.....	96

消す.....	97
まとめて消す.....	97
指定方法を選ぶ.....	97
1 枚ずつ指定する.....	98
範囲で指定する.....	98
すべての画像を指定する.....	98
回転する.....	99
メニューから操作する.....	99
自動回転機能を切る.....	99
お気に入り設定をする.....	100
メニューから操作する.....	100
静止画を編集する.....	101
画像を小さくする（リサイズ）.....	101
画像を切り抜く（トリミング）.....	101
画像の色調を変える（レタッチマイカラー）.....	102
明るさを補正する（i- コントラスト）.....	103
赤目を補正する.....	103
動画を編集する.....	104
ファイルサイズを小さくする.....	105
短編動画を編集する.....	106
アルバムを見る（ストーリーハイライト）.....	107
アルバムを作成するときに選べる抽出条件.....	107
アルバムに BGM をつける.....	108
自分好みのアルバムを作る.....	109
ショートクリップ動画を結合して動画作品を作る.....	110
無線機能	111
無線機能でできること.....	111
Wi-Fi 機能を使う.....	111
Bluetooth® 機能を使う.....	111
スマートフォンに画像を送る.....	112
Bluetooth 対応のスマートフォンに画像を送る.....	112

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/ プラスムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
Tv、Av、Mモード
再生モード
無線機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引



NFC 対応のスマートフォンに画像を送る	114
撮影モード/電源を切っているときの NFC 接続	114
再生モードでの NFC 接続	116
Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する	116
ほかのアクセスポイントを使う	118
接続したことがあるアクセスポイントがあるとき	119
パソコンに画像を取り込む	119
パソコンを登録するための準備をする	119
CameraWindow をインストールする	119
Wi-Fi 接続するための設定をする (Windows のみ)	120
カメラとパソコンを接続して画像を取り込む	121
アクセスポイントを確認する	121
WPS に対応したアクセスポイントを使う	121
一覧に表示されたアクセスポイントを使う	123
接続したことがあるアクセスポイントがあるとき	124
Web サービスを登録して画像を送る	125
利用する Web サービスの情報を登録する	125
CANON iMAGE GATEWAY を登録する	125
他の Web サービスを登録する	127
Web サービスに画像を送る	127
プリンターにつないで画像を印刷する	128
別のカメラに画像を送る	130
画像送信について	131
複数の画像を送信する	131
範囲で指定する	132
お気に入り設定した画像を送る	132
画像送信時の注意事項	132
記録画素数 (画像の大きさ) を選ぶ	133
コメントを入力して送信する	133
画像を自動で送る (クラウドシンクロ)	133

準備する	133
カメラの準備をする	133
パソコンの準備をする	134
画像を送る	134
クラウドシンクロで送信した画像を スマートフォンで見る	135
スマートフォンでカメラ内の画像や カメラを操作する	135
撮影する画像に GPS 情報を記録する	135
スマートフォンをリモコン代わりにして カメラを操作する	137
Wi-Fi 機能を使ってカメラを操作する	137
Bluetooth 機能を使ってカメラを操作する	137
Wi-Fi の設定を編集 / 消去する	138
接続情報を編集する	138
接続先のニックネームを変更する	139
接続情報を消去する	139
スマートフォンに公開する画像を設定する	139
カメラのニックネームを変える	140
Wi-Fi の設定を初期化する	140
Bluetooth でペアリングしている機器の登録を 解除する	141
設定メニュー	142
カメラの基本機能を変える	142
音を鳴らさない	142
音量を変える	142
機能の説明を表示しない	143
日付/時刻を変える	143
世界時計を使う	143
レンズ収納時間を変える	144
エコモードを使う	144
節電機能 (オートパワーオフ) の設定を変える	144

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



画面の明るさを変える	144
起動画面を表示しない	145
カードを初期化する	145
カードを物理フォーマット（初期化）する	145
画像番号のつけかたを変える	146
フォルダを撮影日ごとに作る	146
距離表示の単位を変える	146
認証マークを確認する	147
表示言語を変える	147
その他の基本機能を変える	147
カメラの設定を初期状態に戻す	147
基本設定を初期化する	147
機能ごとに初期化する	148
アクセサリ	149
システムマップ	149
別売アクセサリ	150
電源	150
その他	151
プリンター	151
フォトストレージ	151
別売アクセサリの使いかた	151
テレビで見る	151
HD（ハイビジョン）対応テレビで見る	151
バッテリーを入れて充電する	152
パソコンを使って充電する	154
ソフトウェアを使う	154
ケーブルを使ってパソコンと接続する	155
パソコンの環境を確認する	155
インストールする	155
パソコンに画像を取り込む	155

印刷する	156
かんたん印刷	156
印刷設定をする	157
画像を切り抜いて印刷する（トリミング）	158
用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する	158
レイアウトで設定できる項目	159
証明写真を印刷する	159
動画を印刷する	159
動画の印刷方法	159
印刷指定（DPOF）	160
印刷内容を指定する	160
1枚ずつ枚数を指定する	160
範囲で指定する	161
すべての画像を指定する	161
すべての指定を解除する	161
印刷指定（DPOF）した画像を印刷する	161
フォトブック指定	162
指定方法を選ぶ	162
1枚ずつ指定する	162
すべての画像を指定する	162
すべての指定を解除する	162

付録	163
故障かな？と思ったら	163
画面に表示されるメッセージ一覧	167
画面の表示内容一覧	169
撮影時（情報表示あり）	169
バッテリーの残量表示	169
再生時（詳細情報表示）	170
動画操作パネル一覧	170
機能／メニュー一覧	171
撮影機能一覧	171
FUNC.メニュー一覧	172

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

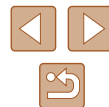
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



撮影タブメニュー 一覧.....	174
設定タブメニュー 一覧.....	178
再生タブメニュー 一覧.....	178
印刷タブメニュー 一覧.....	179
再生モードの FUNC. メニュー 一覧.....	179
日ごろの取り扱いについて	179
主な仕様.....	180
撮像素子.....	180
レンズ.....	180
シャッター.....	180
絞り	180
ストロボ.....	181
モニター.....	181
撮影関係.....	181
記録関係.....	181
電源	182
インターフェース	182
動作環境.....	183
大きさ (CIPA 準拠).....	183
質量 (CIPA 準拠)	183
バッテリーパック NB-13L	183
バッテリーチャージャー CB-2LH.....	183
コンパクトパワーアダプター CA-DC30.....	183

索引.....	184
無線機能 (Wi-Fi/Bluetooth など) について.....	187
電波干渉について	187
セキュリティーについて.....	187
第三者のソフトウェア.....	188
カメラを貸出・修理依頼・譲渡・廃棄するときの ご注意.....	189
商標、ライセンスについて.....	189
このガイドについて	189

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/ プラスムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
Tv、Av、Mモード
再生モード
無線機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引



やりたいこと目次

撮る

- カメラまかせで写真を撮りたい（オートモード、プラスムービーオートモード）
 - 32、34
- カメラまかせで多彩な写真を撮りたい（クリエイティブショット）
 - 55
- 自分撮りに最適な設定で撮りたい（自分撮り）
 - 57

人を上手に撮りたい



人をきれいに
(58)

いろいろなシーンにあわせて撮りたい



スポーツ
(58)



夜景
(58)



暗い場所で
(58)



花火
(58)

効果をつけて撮りたい



鮮烈な色で
(59)



イラスト風に
(59)



肌を美しく
(60)



魚眼レンズのように
(60)



ミニチュア模型のように
(61)



トイカメラ風に
(62)



柔らかな雰囲気
(62)



モノクロで
(63)

- 人の顔を上手に撮りたい
 - 32、58、76
- ストロボ禁止の場所で撮りたい（ストロボ発光禁止）
 - 32
- 自分も一緒に写りたい（セルフタイマー撮影）
 - 42、64
- 画像に日付を写し込みたい
 - 41
- 写真と一緒に動画を記録したい
 - 34

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



▶ 見る

- 画像を見たい
 - 86
- 自動再生で見たい (スライドショー)
 - 93
- テレビで見たい
 - 151
- パソコンで見たい
 - 155
- 画像を素早く探したい
 - 90
- 画像を消したい
 - 97
- 自動でアルバムを作りたい
 - 107

📹 動画を撮る / 見る

- 動画を撮りたい
 - 32、65
- 動画を見たい
 - 86

🖨️ 印刷する

- 写真を印刷したい
 - 156

💻 残す

- パソコンに画像を取り込みたい
 - 155

📶 Wi-Fi 機能を使う

- スマートフォンに画像を送りたい
 - 112
- Web サービスで画像を共有したい
 - 125
- パソコンに画像を送りたい
 - 133

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/ プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

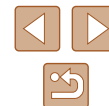
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



安全上のご注意

- 安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。
- お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。



警告

死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

- 乳幼児の手の届くところに置かない。
ストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。
アクセサリシューカバーを飲み込むと危険です。飲み込んだ場合は、
すぐ医師に相談してください。
- 指定外の電源は使わない。
- 分解や改造をしない。
- 強い衝撃や振動を与えない。
- 破損したときは、内部に触れない。
- 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。
- 液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れない。
- 内部に液体や異物を入れない。
- 可燃性ガスを含んだ空気中では使用しない。
感電、破裂、火災の原因となります。
- ファインダーがある製品では、ファインダーで強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）を見ない。
視力障害の原因となります。

- バッテリーや電池を使うときは、次のことに注意する。
 - 指定外の製品で使わない。
 - 熱したり、火中投入しない。
 - 指定外の製品で充電しない。
 - 端子に他の金属や金属製のピンやゴミを触れさせない。
 - 液漏れしたものは使わない。
 - 廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。

感電、破裂、火災の原因となります。

液漏れして身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐ医師に相談してください。

- バッテリーチャージャーを使うときは、次のことに注意する。
 - バッテリーチャージャーや AC アダプターを使うときは、次のことに注意する。
 - 電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。
 - ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
 - 電源プラグの差し込みが不十分なまま使わない。
 - 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを触れさせない。
 - 雷が鳴り出したら、コンセントにつながれたバッテリーチャージャーや AC アダプターに触れない。
 - 電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工したりしない。
 - 使用中および使用後すぐに、製品に布などをかけない。
 - 電源に長時間つないだままにしない。
- 感電、破裂、火災の原因となります。

- 長時間、身体と同じ部位に触れさせたまま使わない。
熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、
低温やけどの原因となることがあります。気温の高い場所で使うときや、
血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使うときは、三脚などを使ってください。

- 使用が禁止されている場所では、電源を切るなどの指示に従う。
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれがあります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





注意

傷を負う可能性がある内容です。

- ストロボを目に近付けて発光しない。
目をいためる恐れがあります。
- ストラップ使用時は、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。
- レンズを強く押ししたり、ぶつけたりしない。
けがやカメラの故障の原因となります。
- ストロボを指や布などで覆ったまま、発光させない。
やけどや故障の原因となります。
- 製品を高温や低温となる場所に放置しない。
製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。

注意

物的損害を負う可能性がある内容です。

- カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けない。
撮像素子やカメラの内部が損傷することがあります。
- 砂浜や風の強い場所で使用するときは、カメラの内部にホコリや砂が入らないようにする。
- ストロボに汚れやホコリなどの異物がついたときは、綿棒などで取り除く。
そのまま発光させると、発光熱により、付着物の発煙や故障の原因となることがあります。
- 使用しないときは、製品からバッテリーや電池を取り外して保管する。
液漏れにより故障の原因となることがあります。
- バッテリーや電池を廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。
他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となることがあります。

● バッテリーチャージャーを使用する製品では、使用しないときはコンセントから外す。また、布などをかけたまま使用しない。
長時間接続しておく、発熱、変形して火災の原因となることがあります。

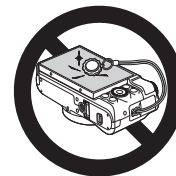
● 専用バッテリーを使用する製品では、ペットの近くにバッテリーを置かない。
バッテリーに噛みついたとき、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、故障や火災の原因となることがあります。

● 複数の電池を使用する製品では、充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使用しない。また、電池の「+」「-」端子を逆にして入れない。
故障の原因となることがあります。

● ズボンのポケットにカメラを入れたまま椅子などに座らない。
画面の破損の原因となります。

● かばんにカメラを入れるときは、硬いものが画面にあたらないようにする。また、画面が閉じられる製品では、画面を内側に向けて閉じる。

● ストラップにアクセサリを付けない。
硬いものが画面にあたると破損の原因になります。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



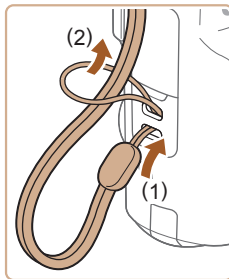
カメラの基本操作

準備から、撮影、再生までの説明や、各種の基本情報を掲載しています。

準備する

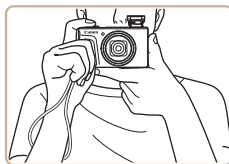
ここでは、撮影前の準備について説明します。

ストラップを取り付ける



- (1) ストラップの先端を取り付け部に通して、(2) 通した先端にストラップを通します。

カメラを構える



- ストラップを手首に通します。
- 撮影するときは、脇をしめてカメラが動かないようにしっかりと構え、ストロボを上げているときは、ストロボに指がかからないようにしてください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

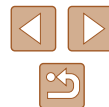
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

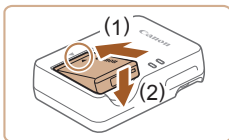
付録

索引



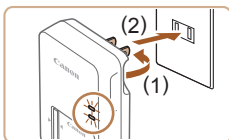
バッテリーを充電する

カメラに付属のバッテリーチャージャー（充電器）を使って、付属のバッテリーを充電します。お買い上げ時はバッテリーが充電されていないので、必ず充電してからお使いください。



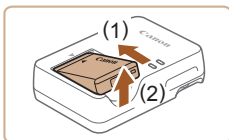
1 バッテリーを取り付ける

- バッテリーとバッテリーチャージャーの▲をあわせて、(1)の方向へ押しながら、(2)の方向へ取り付けます。



2 充電する

- プラグを(1)の方向へおこして、(2)コンセントに差し込みます。
- 充電がはじまり、ランプがオレンジ色に点灯します。
- 充電が完了すると、ランプが緑色に点灯します。



3 バッテリーを取り外す

- バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、(1)の方向へ押しながら、(2)の方向へ取り外します。



- バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24時間以上連続して充電しないでください。

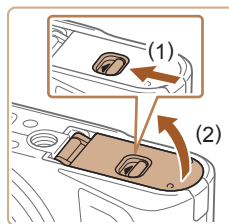


- 充電に必要な時間、フル充電したバッテリーで撮影できる枚数と時間については、「電源」(P182)、「バッテリーチャージャーCB-2LH」(P183)を参照してください。
- 充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって少しずつ残量が減るため、充電は使う前日が当日にしてください。
- バッテリーチャージャーは、AC100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

バッテリーとカード（市販品）を入れる

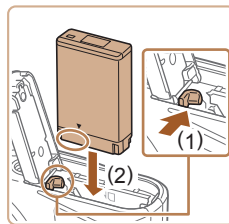
付属のバッテリーとカード（市販品）をカメラに入れます。

なお、新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）(P145)することをおすすめします。



1 ふたを開ける

- (1)の方向にスイッチを動かして、(2)の方向へふたを開けます。



2 バッテリーを入れる

- バッテリーの端子部を図の位置にして、バッテリーロックを(1)の方向へ動かしたまま、バッテリーを(2)の方向に「カチッ」と音がしてロックされるまで入れます。
- 間違った向きでバッテリーを入れるとロックされません。必ずバッテリーがロックされる正しい向きで入れてください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

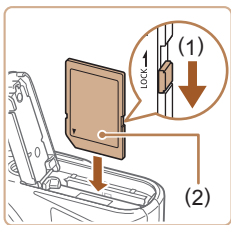
設定メニュー

アクセサリ

付録

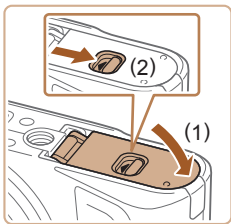
索引





3 カードのスイッチを確認して、カードを入れる

- スイッチがあるカードでは、スイッチが「LOCK」側になっていると撮影できません。スイッチを(1)の方向に動かします。
- カードのラベル面(2)を図の向きにして、「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- カードは、必ず正しい向きで入れてください。間違った向きで入れると、カメラの故障の原因となります。



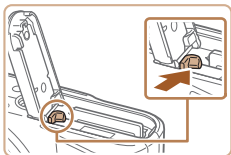
4 ふたを閉める

- ふたを(1)の方向にたおして押さえたまま、スイッチを(2)の方向へ「カチッ」と音がするまで動かして閉めます。



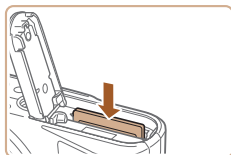
- 1枚のカードに撮影できる枚数や時間については、「記録関係」(P181)を参照してください。

■ バッテリーとカードを取り出す



バッテリーを取り出す

- ふたを開け、バッテリーロックを矢印の方向に動かします。
- バッテリーが出てきます。

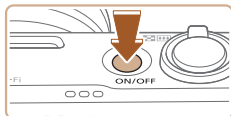


カードを取り出す

- 「カチッ」と音がするまでカードを押し込み、ゆっくり指を放します。
- カードが出てきます。

日付／時刻を設定する

電源を入れたときに【日付／時刻】画面が表示されたときは、現在の日時に正しく設定してください。ここで設定した情報は撮影する画像に記録され、撮影日による管理や、日付を入れて印刷するときなどに使用できます。



1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- 【日付／時刻】画面が表示されます。



2 日付／時刻を設定する

- [◀] か [▶] を押して項目を選びます。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して設定します。
- すべての項目を設定したら、[⊕] を押します。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





3 自宅のエリアを設定する

- [◀] か [▶] を押して自宅のあるエリアを選びます。

4 設定を終える

- [⊙] を押すと設定されて、確認画面が表示されたあと、設定画面が消えます。
- 電源ボタンを押すと電源が切れます。



- 日付／時刻や自宅エリアを設定しないと、電源を入れるたびに [日付／時刻] 画面が表示されます。正しく設定してください。



- 手順2で [OFF] を選び、[▲] か [▼] を押すか [⊙] ホイールを回して [ON] にすると、サマータイム(1時間プラス)されます。

■ 日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。



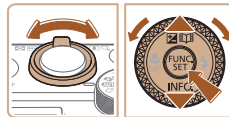
1 メニューを表示する

- [MENU] ボタンを押します。



2 [日付／時刻] を選ぶ

- ズームレバーを動かして、[↑] タブを選びます。
- [▲] か [▼] を押すか [⊙] ホイールを回して [日付／時刻] を選び、[⊙] を押します。



3 日付／時刻を変える

- 「日付／時刻を設定する」の手順2 (18) の操作で設定します。
- [MENU] ボタンを押すと、メニュー画面が消えます。



- カメラには日付／時刻用電池(バックアップ電池)が内蔵されています。バッテリーを取り出してから約3週間は、設定した日付／時刻が保持されます。
- 日付／時刻用電池は、充電したバッテリーをカメラに入れると、カメラの電源を入れなくても約4時間で充電されます。
- 日付／時刻用電池がなくなると、カメラの電源を入れたときに [日付／時刻] 画面が表示されます。「日付／時刻を設定する」(18) の操作で正しく設定してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

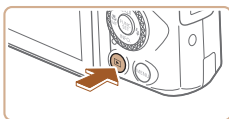
付録

索引



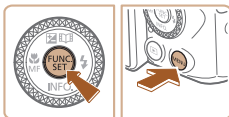
表示言語を選ぶ

画面に表示される言語を変えられます。



1 再生モードにする

- [▶] ボタンを押します。



2 設定画面を表示する

- [MENU] を押したまま、すぐに [MENU] ボタンを押します。



3 言語を設定する

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して言語を選び、[MENU] を押します。
- 表示言語が設定され、設定画面が消えます。



- 手順2の操作で [MENU] を押してから、[MENU] ボタンを押すまでの間隔が長いと、時計表示になります。時計表示になったときは [MENU] を押して時計表示を消して、もう一度手順2の操作を行います。
- 言語設定は、[MENU] ボタンを押すと表示されるメニュー画面で、[言語] タブの [言語] を選んで設定することもできます。

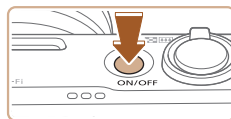
使ってみる

▶ 静止画 ▶ 動画

ここでは、電源を入れてから静止画や動画を撮影し、その画像を見るまでの手順について説明しています。

撮る（こだわりオート）

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。



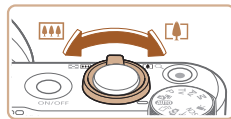
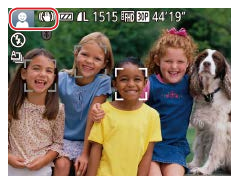
1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- 起動画面が表示されます。



2 [AUTO] モードにする

- モードダイヤルを [AUTO] にします。
- カメラを被写体に向けると、シーンを判別するため動作音（カチカチ）がします。
- 画面の左上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます。
- 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。



3 撮りたいものの大きさを決める

- ズームレバーを [🔍] 側に押すと撮りたいものが大きくなり、[🔍] 側に押すと小さくなります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

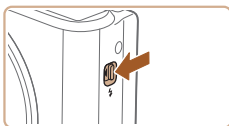
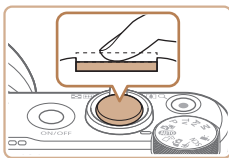


4 撮影する

静止画を撮る

1) ピントを合わせる

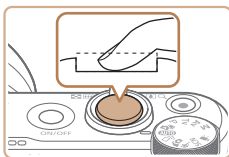
- シャッターボタンを浅く押して、ピントが合うと電子音が「ピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されます。



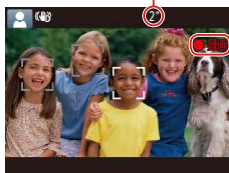
- [ストロボを上げてください] のメッセージが表示されたときは、[] スイッチを動かして、ストロボを上げてください。撮影時にストロボが光ります。ストロボを指で押し下げて収納すると、ストロボは光りません。

2) 撮影する

- シャッターボタンを深く押し込みます。
- シャッター音が鳴り、撮影されます（暗いところでストロボを上げているときは、自動的にストロボが光ります）。
- シャッター音が鳴っている間はカメラをしっかり持ってください。
- 撮影した画像が表示されたあと、撮影画面に戻ります。



(1)



動画を撮る

1) 撮影をはじめると

- 動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」と1回鳴って撮影が始まり、[●録画]と撮影時間(1)が表示されます。
- 画面上下に黒い帯が表示され、被写体が少し大きく表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影されません。
- 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を放します。

2) 撮影を終える

- もう一度動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」と2回鳴り、撮影が終わります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

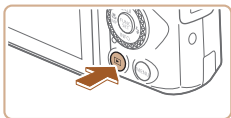
付録

索引



見る

撮影した画像を画面で見ることができます。



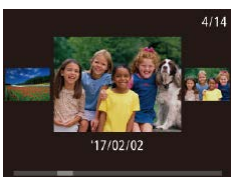
1 再生モードにする

- [▶] ボタンを押します。
- 最後に撮影した画像が表示されます。

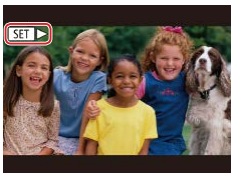


2 画像を選ぶ

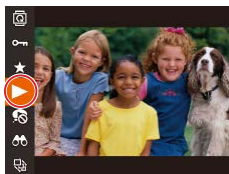
- [◀] を押すか [●] ホイールを反時計方向に回すと前の画像が表示され、[▶] を押すか [●] ホイールを時計方向に回すと次の画像が表示されます。
- [◀] か [▶] を押したままにすると、画像が速く切り換わります。



- [●] ホイールを速く回すとこの画面が表示されます (スクロール再生)。この状態で [●] ホイールを回して画像を選びます。
- [⏪] を押すと 1 枚表示に戻ります。



- 動画では、[SET ▶] が表示されます。動画を再生するときは手順 3 に進みます。



3 動画を再生する

- [⏪] を押したあと、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [▶] を選び、もう一度 [⏪] を押します。
- 動画が再生され、再生が終わると [SET ▶] が表示されます。
- 音量は、再生中に [▲] か [▼] を押し調整します。



- 再生モードの状態ですシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



■ 消す

不要な画像を 1 枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。



1 消したい画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選びます。



2 消す

- [⏏] ボタンを押します。
- [消去しますか?] が表示されたら、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [消去] を選び、[●] を押します。
- 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [キャンセル] を選び、[●] を押します。



- 画像をまとめて消すこともできます (P.97)。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

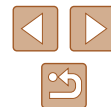
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

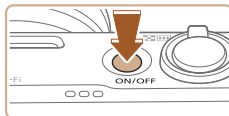
索引



カメラを知る

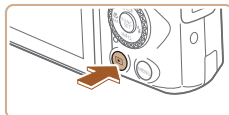
カメラの基本操作をはじめ各種の撮影や再生のほか、カメラを活用するための情報などを内容ごとに章分けして説明しています。

電源の入れかた／切りかた



撮影モード

- 電源ボタンを押すと電源が入り、撮影できます。
- 電源ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。



再生モード

- [▶] ボタンを押すと電源が入り、撮影した画像を見ることができます。
- [▶] ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。



- 撮影モードの状態ですべてのボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生モードの状態ですべてのボタンを押すと、撮影モードになります。
- 再生モードでは、約 1 分経過するとレンズが収納されます。レンズが収納されているときは、[▶] ボタンを押すと電源が切れます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



節電機能（オートパワーオフ）

バッテリーの消費を防ぐため、カメラを操作しない状態で一定の時間がたつと、自動的に画面を消したり（ディスプレイオフ）、電源を切ったりする機能です。

■ 撮影モードでの節電機能

約1分間カメラを操作しないと画面が消え、さらに約2分たつとレンズが収納されて電源が切れます。画面が消えた状態でもレンズが出ているときは、シャッターボタンを半押し（[144](#)）すると画面が表示され、撮影できます。

■ 再生モードでの節電機能

約5分間カメラを操作しないと、電源が切れます。

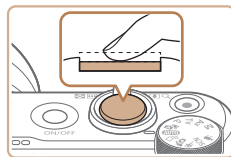


- 節電機能を切ったり、画面が消えるまでの時間を変えたりすることができます（[144](#)）。
- Wi-Fiでほかの機器と接続しているとき（[111](#)）、パソコンとつながれているとき（[155](#)）は、節電機能は働きません。

シャッターボタンの押しかた

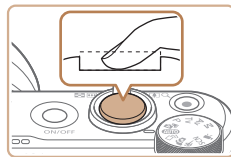
ピントが合った画像を撮るために、必ずシャッターボタンを浅く押す「半押し」をしてピントを合わせてから、そのまま深く押す「全押し」をして撮影します。

なお、シャッターボタンの操作に関する記載は以降「半押し」、「全押し」と表記しています。



1 半押し（浅く押してピントを合わせる）

- 電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されるまで、浅く押します。



2 全押し（そのまま深く押して撮影する）

- シャッター音が鳴り、撮影されます。
- シャッター音が鳴っている間は撮影中のため、カメラを動かさないように注意してください。



- シャッターボタンを半押ししないで撮影すると、ピントが合わない画像になることがあります。
- シャッター音は撮影にかかる時間に応じて長さが変わります。そのため、撮影シーンによってはシャッター音が長くなり、シャッター音が鳴っている間にカメラを動かしたり、被写体が動いたりすると、ブレの原因になりますので注意してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

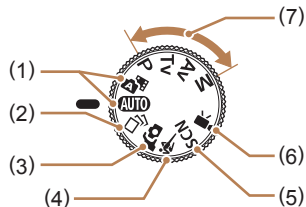
付録

索引



撮影モードの切り換えかた

撮影モードの切り換えは、モードダイヤルで行います。



- | | |
|--|--|
| <p>(1) オートモード／
プラスムービーオートモード
カメラまかせの全自動撮影が
できます (P20、P32、
P34)。</p> <p>(2) クリエイティブショットモード
カメラまかせで多彩な画像が撮影
できます (P55)。</p> <p>(3) 自分撮りモード
自分撮りに適した設定で撮ること
ができます (P57)。</p> <p>(4) スポーツモード
動いている被写体にピント合わせ
を行いながら連続撮影できます
(P58)。</p> | <p>(5) スペシャルシーンモード
撮影シーンにあわせた撮影やいろ
いろな効果をつけた撮影ができま
す (P58)。</p> <p>(6) 動画モード
動画が撮影できます (P65)。
なお、動画モード以外でも動画ボ
タンを押すだけで動画撮影できま
す。</p> <p>(7) P、Tv、Av、Mモード
各種機能を設定して、さまざま
な撮影ができます (P69、
P83)。</p> |
|--|--|

撮影時の画面表示の切り換えかた

画面表示は、[▼] を押して切り換えます。画面に表示される情報の詳細については、「画面の表示内容一覧」(P169) を参照してください。

	<p>情報表示あり</p>
	<p>情報表示なし</p>



- 暗い場所では、自動的に画面が明るくなって構図を確認しやすくなります (ナイトビュー機能)。ただし、撮影される画像の明るさは異なるほか、粗い感じ、またはややきこちない表示になることがあります (記録される画像に影響はありません)。
- 再生時の画面表示については、「表示を切り換える」(P87) を参照してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

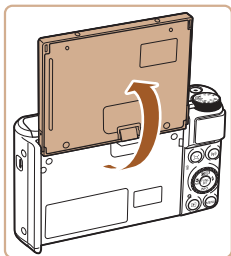
付録

索引



画面（モニター）の角度調整

撮影シーンや目的に応じて、画面の向きや角度を調整することができます。



- 画面は約 180° まで開くことができます。
- 撮影モードで画面を開いてレンズ側に向けると、画像が鏡像（左右反転）で表示されます。



- カメラを使わないときは、閉じた状態で保管してください。
- 画面は、故障の原因となるため無理に広げないでください。



- MENU (28) の [カメラ] タブの [鏡像表示] で [切] を選ぶと、鏡像表示されません。

FUNC. (ファンクション) の表示と操作方法

撮影時によく使う機能は、FUNC. で設定できます。
なお、表示されるメニュー項目や項目は、選んでいる撮影モード (172) によって変わります。



1 FUNC. のメニュー項目を表示する

- [FUNC] を押します。



(1)(2)

2 メニュー項目を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [FUNC] ホイールを回してメニュー項目 (1) を選び、[FUNC] か [▶] を押します。
- メニュー項目の右側に項目 (2) が表示されます。
- メニュー項目によっては、[FUNC] や [▶] を押すだけで設定される機能や画面が切り換わる機能もあります。



3 項目を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [FUNC] ホイールを回して項目を選びます。
- [MENU] が表示される項目では、[MENU] ボタンを押して設定することができます。
- メニュー項目に戻るときは、[◀] を押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





4 設定を終える

- [FUNC SET] を押します。
- 手順 1 で [FUNC SET] を押す前の画面に戻り、設定した項目が画面に表示されます。



- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます (147)。

MENU (メニュー) の表示と操作方法

カメラの各種機能をメニューで設定できます。メニュー項目はタブで撮影 [CAMERA] や再生 [REPLAY] などの系統に分けられています。なお、表示される項目は、選んでいる撮影モードや再生モード (174 ~ 178) によって変わります。



1 メニューを表示する

- [MENU] ボタンを押します。



2 タブを選ぶ

- ズームレバーを動かして、タブを選びます。
- [▲] か [▼] を押すか [FUNC SET] ホイールを回してタブが選ばれている状態にしたあと、[◀] か [▶] を押してタブを選ぶこともできます。



3 項目を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [FUNC SET] ホイールを回して項目を選びます。
- 内容が表示されていない項目では、[FUNC SET] か [▶] を押して画面を切り換えたあと、さらに [▲] か [▼] を押すか [FUNC SET] ホイールを回して項目を選びます。
- [MENU] ボタンを押すと切り換える前の画面に戻ります。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

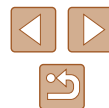
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





4 内容を選ぶ

- [◀] か [▶] を押して内容を選びます。

5 設定を終える

- [MENU] ボタンを押すと、手順 1 で [MENU] ボタンを押す前の画面に戻ります。



- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます (P.147)。

文字の入力方法

個人認証機能 (P.44) や Wi-Fi 機能 (P.121) などでは文字を入力するときは、キーボード画面を使います。入力できる文字数や文字の種類は、機能によって異なります。

(1) 文字を入力する



- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [⊙] ホイールを回して文字が表示されているキーを選び、[⊙] を何回か押して目的の文字を入力します。
- [確定] を選んで [⊙] を押し、文字を確定します。
- 文字数 (1) は機能によって異なります。



入力位置を移動する

- [◀] か [▶] を選んで [⊙] を押します。

改行する

- [↵] を選んで [⊙] を押します。

文字の種類を変える

- [ABC] [123] [#\$%] を選んで [⊙] を押します。
- 文字の種類は機能によって異なります。

文字を消す

- [✕] を選んで [⊙] を押すと前の 1 文字が消去されます。
- [✕] を選んで [⊙] を押したままにすると、5 文字ずつ消去されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

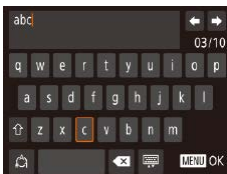
設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





キーボードの種類を変える

- [] を選んで [] を押すと左の画面が表示されます。
- 文字を選んで [] を押すと文字が入力できます。
- この画面で [] を選んで [] を押すと、数字や記号など文字の種類を切り換えることができます。
- [] を選んで [] を押すと、大文字を入力できます。

もとの画面に戻る

- [MENU] ボタンを押します。

漢字やひらがなを入力する

個人認証機能の人物名 (45) と Wi-Fi 機能のコメント入力 (133) にはひらがなや漢字も使うことができます。



文字の種類を変える

- [▲][▼][◀][▶] を押すか [] ホイールを回して [あいう] を選んで [] を押します。

文字を入力する

- 文字が表示されているキーを選び、[] を何回か押して目的の文字を入力します。

文字を変換する

- [変換] を選んで [] を押します。

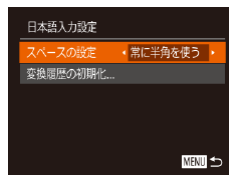
文字を確定する

- [確定] を選んで [] を押します。

文字入力の設定を変える

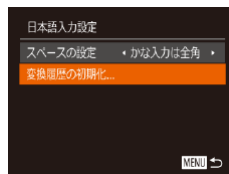
文字入力に関する設定を変えることができます。

■ 半角スペースを使う



- [MENU] ボタンを押して、[] タブの [日本語入力設定] を選び、[] を押します (28)。
- [▲] か [▼] を押すか [] ホイールを回して [スペースの設定] を選び、[◀] か [▶] を押して [常に半角を使う] を選びます。

■ 変換履歴を初期化する



- [MENU] ボタンを押して、[] タブの [日本語入力設定] を選び、[] を押します (28)。
- [▲] か [▼] を押すか [] ホイールを回して [変換履歴の初期化] を選び、[◀] か [▶] を押して [OK] を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



ランプの表示

カメラ背面のランプ (4) は、カメラの状態に連動して、点灯／点滅状態が変わります。

色	状態	操作状態
緑	点滅	起動中、カードへの記録／読み出し中、各種通信中、長秒時の撮影中 (83、 84)、パソコン接続時 (155)、Wi-Fi 接続中／データ送受信中、画面消灯時 (ディスプレイオフ) (25、 144、 144)
オレンジ	点灯	コンパクトパワーアダプターによる充電中



- ランプ (背面) が緑色に点滅しているときは、「電源を切る」、「カード／バッテリー収納部のふたを開ける」、「振動や衝撃を与える」ことはしないでください。画像が壊れて表示できなくなったり、カメラやカードが故障する原因になることがあります。

時計機能

現在の時刻を確認できます。



- 【】 を押したままにします。
- 現在の時刻が表示されます。
- 時刻表示中にカメラを縦にすると縦表示になり、【】 か 【】 を押すか 【】 ホイールを回すと表示色を変えることができます。
- もう一度 【】 を押すと時刻表示が消えます。



- 【】 を押したまま電源を入れることで、時刻表示にすることもできます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



オートモード/ プラスムービーオートモード

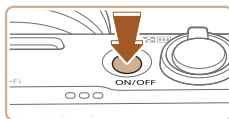
かんたん操作で手軽に撮ったり、いろいろな機能を使ってもう少しこだわった画像を撮る

カメラまかせで撮る

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。

オートモードで撮る（こだわりオート）

▶ 静止画 ▶ 動画



1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- 起動画面が表示されます。



2 [AUTO] モードにする

- モードダイヤルを [AUTO] にします。
- カメラを被写体に向けると、シーンを判別するため動作音（カチカチ）がします。
- 画面の左上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます（[P.36](#)、[P.37](#)）。
- 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

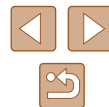
無線機能

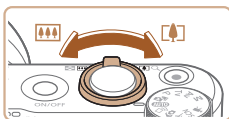
設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





(1)



(2)

3 撮りたいものの大きさを決める

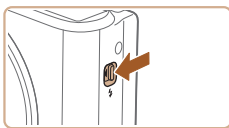
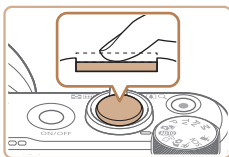
- ズームレバーを [[▲]] 側に押すと撮りたいものが大きくなり、[[■]] 側に押すと小さくなります(ズームの位置を示すズームバー(1)と、ピントの合う範囲(2)が表示されます)。
- ズームレバーを [[▲]] 側、または [[■]] 側へいっぱいまで押したときは速く、少し押したときはゆっくりと、大きさが変わります。

4 撮影する

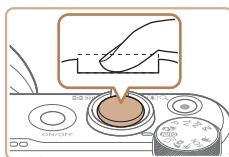
静止画を撮る

1) ピントを合わせる

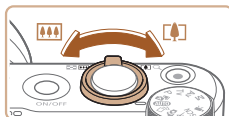
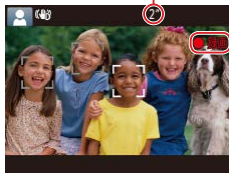
- シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと電子音が「ピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されます。
- 複数の枠が表示されたときは、表示されたすべての枠にピントが合っています。



- [ストロボを上げてください] のメッセージが表示されたときは、[[🔊]] スイッチを動かして、ストロボを上げてください。撮影時にストロボが光ります。ストロボを指で押し下げて収納すると、ストロボは光りません。



(1)



2) 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。
- シャッター音が鳴り、撮影されます(暗いところでストロボを上げているときは、自動的にストロボが光ります)。
- シャッター音が鳴っている間はカメラをしっかり持ってください。
- 撮影した画像が表示されたあと、撮影画面に戻ります。

動画を撮る

1) 撮影をはじめ

- 動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」と1回鳴って撮影がはじまり、[[●録画]] と撮影時間(1)が表示されます。
- 画面上下に黒い帯が表示され、被写体が少し大きく表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影できません。
- 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を放します。

2) 撮りたいものの大きさを変えたり、構図を変える

- 撮りたいものの大きさを変えるときは手順3と同じ操作で変えます。ただし、操作音は録音されます。また、倍率が青く表示されたときは画像が粗くなります。
- 撮影中に構図を変えると、ピント位置、明るさ、色あいが自動的に調整されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

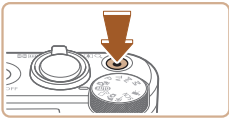
設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





3) 撮影を終える

- もう一度動画ボタンを押すと、電子音が「ビピッ」と2回鳴り、撮影が終わります。
- カード容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終わります。



- 静止画を撮影するとき、ストロボが光ったときは、主被写体と背景の色あいが最適になるように自動補正されます（マルチエリアホワイトバランス）。

プラスムービーオートモードで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

静止画を撮影するだけで、静止画が記録されると同時に撮影直前の約2～4秒のシーンも動画として記録され、1日をまとめた短編動画（ダイジェスト動画）ができます。

作成された動画は、ストーリーハイライト（107）のアルバムの対象になります。



1 [オート] モードにする

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順2（32）の操作で[オート]を選びます。

2 構図を決める

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順3～4（32）の操作で構図を決めてピントを合わせます。
- 静止画を撮影する約4秒前からカメラを被写体に向けておくと、ダイジェスト動画もきれいに撮影できます。



3 撮影する

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順4（32）の操作で静止画を撮影します。
- 静止画と動画が記録されます。動画の1シーンの最後に撮影した静止画がシャッター音と一緒に動画の一部としても記録され、1つのチャプターになります。

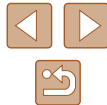


- 静止画と一緒にダイジェスト動画が撮影されるため、[AUTO]モードよりバッテリーの消費が早くなります。
- 電源を入れたり[オート]モードを選ぶなど、カメラを操作した直後に静止画を撮影したときは、ダイジェスト動画が記録されないことがあります。
- ダイジェスト動画には、カメラを操作したときの音と振動が記録されます。



- ダイジェスト動画の画質は、[HD 30P]に固定されます。
- シャッターボタンを半押ししたときやセルフタイマーなどの電子音（142）は鳴りません。
- 次のときは、同じ日に[オート]モードで作成されたダイジェスト動画でも、別ファイルとして保存されます。
 - ダイジェスト動画の容量が約4GBになるか、記録時間が約16分40秒になったとき
 - ダイジェスト動画を保護したとき（95）
 - サマータイムの設定（18）やエリア設定（143）を変えたとき
 - フォルダが新しく作成されたとき（146）
- 記録されるシャッター音は、変えたり消すことはできません。
- 事前に設定すると、静止画なしのダイジェスト動画にすることもできます。MENU（28）で[カメラ]タブの[ダイジェスト形式]を選び、[静止画なし]を選んでください。
- チャプターを使って編集することもできます（106）。

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/ プラスムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
Tv、Av、Mモード
再生モード
無線機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引



■ ダイジェスト動画の再生について

[] モードで撮影した静止画を表示して同じ日に作成されたダイジェスト動画を再生したり、日付を選んで再生することができます (P.89)。

■ 静止画／動画

- **[MENU]** ボタンを押したまま電源を入れると音が鳴らなくなります。音が鳴るようにするには、**[MENU]** ボタンを押して、**[↑]** タブの [消音] を選び、**[◀]** か **[▶]** を押して [しない] を選びます。

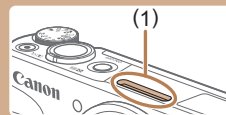
■ 静止画

- **[Q]** が点滅表示したときは手ブレしやすいので、カメラが動かないように三脚などでカメラを固定してください。
- ストロボが光ったのに暗い画像になるときは、被写体までの距離が遠すぎます。ストロボ撮影できる範囲については、「ストロボ」 (P.181) を参照してください。
- シャッターボタンを半押ししたときに、電子音が「ピッ」と1回鳴るときは、撮りたいものが近すぎる可能性があります。ピントが合う範囲 (撮影範囲) は、「レンズ」 (P.180) を参照してください。
- 暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピント合わせのためや人の目が赤く写るのを緩和するため、ランプ (前面) が点灯することがあります。
- 撮影しようとしたときに **[🔋]** が点滅表示したときは、ストロボ充電中のため撮影できません。充電が終わると撮影できますので、シャッターボタンを全押ししたまま待つか、一度シャッターボタンを放してもう一度押してください。
- 「寝顔」「赤ちゃん (寝顔)」のアイコン (P.36) が表示されているときは、撮影時にシャッター音は鳴りません。
- 撮影画面に戻る前でも次の撮影はできますが、ピント、明るさ、色あいは、直前の撮影に固定されることがあります。

- 撮影直後に画像が表示される時間を変えることができます (P.53)。

■ 動画

- **[!]** 動画撮影するときは、マイク (1) をふさがないように注意してください。マイクをふさぐと音声録音されなかったり、こもった音声で録音されることがあります。



- 動画撮影中に動画ボタン以外を操作すると、操作音が録音されるので、注意してください。
- 大きな手ブレを補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。撮影前と同じ大きさで撮影したいときは、「撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮る」 (P.52) の手順で設定してください。

- 音声はステレオで録音されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



シーンのアイコン

▶ 静止画 ▶ 動画

[] [AUTO] モードでは、カメラが判別したシーンを示すアイコンが表示され、ピント合わせや被写体の明るさ、色あいが最適になるよう自動設定されます。また、シーンによっては連続撮影します (P.37)。

被写体	背景				
	通常	逆光	暗い*1	夕景	スポットライト
人	*2	*3		-	
人 (動いているとき)	*3	*3	-	-	-
人 (顔の一部が暗いとき)	*2	-	-	-	-
人 (笑顔)	*3	*3	-	-	-
人 (寝顔)	*2	*3	-	-	-
赤ちゃん	*3	*3	-	-	-
赤ちゃん (笑顔)	*3	*3	-	-	-
赤ちゃん (寝顔)	*2	*3	-	-	-
こども (動いているとき)	*3	*3	-	-	-
人以外	*2	*3			
人以外 (動いているとき)	*3	*3	-	-	-
人以外 (近いとき)	*2	*3	-	-	

*1 三脚使用時

*2 アイコンの背景は、シーンの背景が青空のときは水色、背景が暗いときは紺色、その他のときは灰色になります。

*3 アイコンの背景は、シーンの背景が青空のときは水色、その他のときは灰色になります。

- [] [] [] [] の背景は紺色、 の背景はオレンジ色です。
- 動画撮影中、「人」「人以外」「人以外 (近いとき)」以外のアイコンは表示されません。

- [] モードで撮影中は、「人」「人 (顔の一部が暗いとき)」「人以外」「人以外 (近いとき)」以外のアイコンは表示されません。
- セルフタイマー撮影時、「人 (動いているとき)」「人 (笑顔)」「人 (寝顔)」「赤ちゃん (笑顔)」「赤ちゃん (寝顔)」「こども (動いているとき)」「人以外 (動いているとき)」のアイコンは、表示されません。
- ドライブモードを [] 以外に設定しているとき (P.37、P.43) や、[水銀灯自動補正] が [入] で自動補正されるシーン (P.49) では、「人 (笑顔)」「人 (寝顔)」「赤ちゃん (笑顔)」「赤ちゃん (寝顔)」「こども (動いているとき)」のアイコンは、表示されません。
- ストロボを [] に設定しているとき、逆光での「人 (笑顔)」「こども (動いているとき)」は表示されません。
- 「赤ちゃん」「赤ちゃん (笑顔)」「赤ちゃん (寝顔)」「こども (動いているとき)」のアイコンは、[個人認証] を [入] にして、登録されている赤ちゃん (2歳未満)、こども (2歳以上12歳以下) の顔が検出されたときに表示されます (P.45)。なお、あらかじめ日付/時刻が正しく設定されていることを確認してください (P.18)。



• 撮影シーンによっては、実際のシーンと異なるシーンのアイコンが表示されたり、思いどおりの効果、色あい、明るさで撮影できないことがあります。そのときは、[P] モード (P.69) で撮影することをおすすめします。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ




付録

索引



■ 連続撮影されるシーン

次のシーンのアイコンが表示されているときに静止画を撮影すると、連続撮影されます。次のシーンのアイコンが表示されているときにシャッターボタンを半押しすると、連続撮影することを知らせる [📷] [📷] [📷] のいずれかが表示されます。

笑顔 (赤ちゃんを含む)	 連続撮影した画像の中から、顔の表情などを検出して、カメラが最適と判断した 1 枚だけを保存します。
寝顔 (赤ちゃんを含む)	 連続撮影した画像を合成することで、手ブレやノイズを軽減して寝顔をきれいに撮影できます。AF 補助光、ストロボは光りません。また、シャッター音は鳴りません。
こども	 動き回るこどもでもシャッターチャンスを逃さずに撮影できるように、1 回の撮影で 3 枚の画像を連続撮影して保存します。



- シーンによっては、思いどおりの画像が保存されなかったり、思いどおりの効果が得られないことがあります。
- ピント、明るさ、色あいは、1 枚目の撮影で固定されます。











- [📷] を押して、メニュー項目の [A] を選んだあと [] を選ぶと、連続撮影されなくなります。

手ブレ補正アイコン

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定 (マルチシーン IS) され、以下のアイコンが表示されます。

	静止画を撮影するときの手ブレを補正 (通常)
	静止画を流し撮りで撮るときの手ブレを補正 (流し撮り) *
 	マクロ撮影するときの角度ブレとシフトブレを補正 (ハイブリッド IS)。動画では [📷] が表示され、さらに [📷] も加えた手ブレを補正
	動画を撮影するときの手ブレを補正し、歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレも補正 (ダイナミック)
	動画を望遠にして撮影するときなどの、ゆっくりとした手ブレを補正 (パワード)
 	三脚などでカメラを固定したときは、手ブレ補正を停止。ただし、動画撮影中は [📷] が表示され、風などによる振動の影響を低減するブレ補正を実施 (三脚 IS)

* 動く被写体をカメラで追いつながら撮影 (流し撮り) するときに表示されます。左右方向に動く被写体を追うと、上下方向の手ブレだけが補正されて、左右方向の補正は停止します。また、上下方向に動く被写体を追うと、左右方向の手ブレだけが補正されます。



- [手ブレ補正] を [切] に設定 ([📷] 82) すると、手ブレが補正されなくなり、アイコンも表示されなくなります。
- [📷] モードでは [📷] にはなりません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



画面に表示される枠

▶ 静止画 ▶ 動画

〔AUTO〕モードでは、カメラを被写体に向けて被写体を検出すると、画面上にいろいろな枠が表示されます。

- カメラを被写体に向けてと主被写体として検出された顔やものには白の枠、その他の顔には灰色の枠が表示されて、一定の範囲で追尾しピントを合わせ続けます。ただし、被写体が動いていると判別したときは、灰色の枠が消えて、白の枠だけになります。
- シャッターボタンを半押しした状態で被写体が動いていると判別したときは、青色の枠が表示されて、ピントと明るさを合わせ続けます（サーボ AF）。



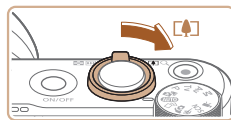
- 撮影シーンや被写体によっては、「枠が表示されない」、「撮りたい被写体に枠が表示されない」、「背景などに枠が表示される」ことがあります。そのときは、〔P〕モード（P.69）で撮影することをおすすめします。

よく使う機能や便利な機能を使う

被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）

▶ 静止画 ▶ 動画

光学ズームで被写体が大きく撮れないときは、デジタルズームを使って最大約 160 倍まで拡大できます。

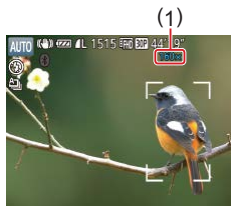


1 ズームレバーを〔Z〕側に押す

- ズームできるところまでレバーを押したままにします。
- 画像の粗さが目立たない最大の倍率になるとズームが止まり、ズーム倍率が表示されます。

2 もう一度〔Z〕側に押す

- さらにズームして、被写体が拡大されます。
- (1) は現在の倍率です。



- ズームレバーを操作するとズーム位置を示すズームバーが表示されて、バーの色はズーム領域によって変わります。
 - 白の領域：画像が粗くならない光学ズーム領域
 - 黄色の領域：画像の粗さが目立たないデジタルズーム領域（プログレッシブファインズーム）
 - 青色の領域：画像が粗くなるデジタルズーム領域
- 設定した記録画素数（P.49）によっては青色の領域がないため、手順 1 の操作で最大倍率までズームできます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



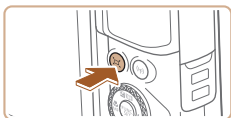


- デジタルズームを使わないようにするには、MENU (📖28) で [📷] タブの [デジタルズーム] を選び、[切] を選びます。

見失った被写体を見つけやすくする (フレーミングアシスト - 探索)

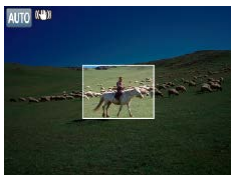
▶ 静止画 ▶ 動画

ズーム中に被写体を見失ったとき、いったんズーム倍率を下げても被写体を見つけやすくなります。



1 見失った被写体を探す

- [ZOOM] ボタンを押したままにします。
- ズーム倍率が下がり、[ZOOM] ボタンを押す前の表示範囲の目安が白い枠で表示されます。



2 被写体をとらえなおす

- 白い枠の中に被写体が入るようにして、[ZOOM] ボタンから指を放します。
- 手順 1 の白い枠内が画面いっぱいになる倍率になります。



- ズーム倍率を下げている間は、一部の撮影情報は非表示になります。
- 動画撮影中に [ZOOM] ボタンを操作しても白い枠は表示されません。また、ズーム倍率の変化や動作音も記録されます。



- 手順 1 の画面でシャッターボタンを押すと、そのときのズーム倍率で撮影されます。
- [ZOOM] ボタンを押したままズームレバーを動かすと、白い枠の大きさが変わり、[ZOOM] ボタンを放したあとのズーム倍率を変えることができます。
- [ZOOM] ボタンを押しているときの表示範囲を変えるときは、MENU (📖28) の [📷] タブの [ZOOM表示範囲] で3段階から選べます。
- セルフタイマー (📖42) でシャッターボタンを全押ししたあとは、[ZOOM] ボタンを押してもズーム倍率は変わりません。

被写体の動きに応じて自動でズームさせる (オートズーム)

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラが人の顔を検出 (📖76) すると、顔が一定の大きさに保たれるよう自動でズームします。人がカメラに近づくとも自動でズーム倍率が下がり、人がカメラから離れるとも自動でズーム倍率が上がります。また、顔の大きさは変えることができます。



1 [ZOOM] オートモードにする

- [ZOOM] ボタンを押して、すぐに指を放します。
- [ZOOM] が表示されます。
- 顔が検出されると白い枠が表示され、被写体となる人が画面の中におさまるよう、自動でズームします。
- 複数の顔が検出されているときは、主被写体の顔には白い枠、その他の顔には灰色の枠が最大2つまで表示され、複数の人が画面の中におさまるよう、自動でズームします。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



2 撮影する

- 撮影後も枠が表示され、自動でズームします。
- もう一度 [ロ] ボタンを押すと、[ロ:オート:切] が表示され、解除されます。



- 顔が横や斜めを向いているときやズーム倍率によっては、画面に対する顔の大きさを一定に保てないことがあります。
- 動画撮影中は、ズーム倍率の変化や動作音も記録されます。
- [ロ:オート:入] にしている間は、一部の撮影情報は非表示になり、一部の撮影機能の設定はできなくなります。
- 動画撮影中は、複数の顔を検出しても複数の人を画面の中におさめるようなオートズームはしません。
- 連続撮影中は、オートズームしません。



- 手順 1 で複数の顔が検出されているときは、[▲] を押してオートズームの対象になる顔を選ぶことができます。
- 検出された人が画面の端に動いて画面から消えそうになると、自動でズーム倍率が下がってフレームアウトすることを防ぎます。
- セルフタイマー (📖42) でシャッターボタンを全押ししたあとは、ズーム倍率は変わりません。
- 被写体の動きや撮影状況によっては、被写体が画面におさまることを優先するため、顔の大きさを一定に保てないことがあります。
- 顔が検出できないときは、所定のズーム位置までズームしたあと、顔が検出されるまでズームを停止します。

■ 画面に対して保たれる顔の大きさを変える



- [ロ:オート:入] の状態で、[◀] か [▶] を押して、目的の項目を選びます。
- 設定した顔の大きさになるよう自動でズームします。

オート	被写体となる人の動きに応じて、画面の中におさまるよう、自動でズームします。 複数の顔が検出されているときは、複数の人が画面の中におさまるよう、自動でズームします。
顔	表情がわかるような顔の大きさに保ちます。
上半身	上半身が入るような顔の大きさに保ちます。
全身	全身が入るような顔の大きさに保ちます。
マニュアル	設定した顔の大きさに保ちます。ズームレバーを操作して画面に対する顔の大きさを決め、ズームレバーを放すと設定されます。



- 画面に対して保たれる顔の大きさは、MENU (📖28) の [📷] タブの [ロ:オート詳細設定] にある [ロ:オートズーム] で変更することもできます。また、この機能は動作させずに、「自動でズームして見失った被写体を見つけやすくする (サーチアシスト)」 (📖41) の機能のみを動作させたいときは、[切] を選びます。
- [顔]、[上半身]、[全身] に設定しているときは、ズームレバーを操作してズーム倍率を変えることはできませんが、ズームレバーから指を放すと数秒でもとの倍率に戻ります。
- 顔の大きさを選んだ状態で動画撮影中に [ロ] ボタンを押すと、設定を解除することができます。
- 動画撮影中は顔の大きさを変えることはできません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



自動でズームして見失った被写体を見つけやすくする (サーチアシスト)

▶ 静止画 ▶ 動画

ズーム中に被写体を見失ってしまい、被写体を探す動きを検知すると、カメラが自動でズーム倍率を下げて被写体を見つけやすくなります。



1 [C] オートモードにする (P39)

2 見失った被写体を探す

- 被写体を探してカメラを動かすと、自動でズーム倍率が下がり、被写体が見つかりやすくなります。



3 被写体をとらえなおす

- 被写体を見つけてカメラの動きを止めると、自動でズーム倍率が上がります。

4 撮影する

- もう一度 [C] ボタンを押すと、[C]オート:切] が表示され、解除されます。



- 検出した顔に [C] が表示されているときは、カメラを動かしても自動でズーム倍率は下がりにません。
- 「被写体の動きに応じて自動でズームさせる (オートズーム)」(P39) の機能を [切] にしたときは、検出した顔に [C] が表示され、カメラを動かすと自動でズーム倍率が下がります。シャッターボタンを半押ししている間は、ズーム倍率が変わりません。
- この機能は動作させずに、「被写体の動きに応じて自動でズームさせる (オートズーム)」(P39) の機能のみを動作させたいときは、MENU (P28) の [C] タブの [C] オート詳細設定] にある [サーチアシスト] を [切] にします。

日付を写し込む

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の右下に撮影したときの日付を写し込むことができます。

なお、写し込まれた日付を消したり、修正することはできませんので、あらかじめ日付/時刻が正しく設定されていることを確認してください (P18)。



1 設定する

- [MENU] ボタンを押して、[C] タブの [日付写し込み] を選び、[◀] か [▶] を押して [日付 + 時刻] または [日付のみ] を選びます (P28)。

2 撮影する

- 撮影した画像の右下に、撮影日または撮影日時が写し込まれます。
- 戻すときは、手順1の操作で [切] を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- 写し込まれた日付を消したり、修正することはできません。



- 日付を写し込まなかった画像でも、次の方法で画像に撮影日を入れて印刷することができます。
ただし、日付を写し込んだ画像を同じ方法で印刷すると、日付が二重に印刷されることがあります。
 - プリンターの機能を使って印刷する (P157)
 - 印刷指定 (DPOF) 機能を使って印刷する (P160)
 - 弊社 Web サイトからダウンロードしたソフトウェア (P154) を使って印刷する

セルフタイマーを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

集合写真などで撮影する人も一緒に写るときは、シャッターボタンを押してから約 10 秒後に撮影されるセルフタイマーを使って撮影します。



1 設定する

- [FUNC] を押して、メニュー項目の [FUNC SET] を選んだあと、項目の [INFO] を選びます。
- 設定されると [INFO] が表示されます。

2 撮影する

- 静止画を撮影するときは、シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを全押しします。
- 動画を撮影するときは、動画ボタンを押します。
- タイマーがはじまるとランプ（前面）が点滅して、電子音が鳴ります。
- 撮影の 2 秒前になると、ランプ（前面）の点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、[MENU] ボタンを押します。
- 戻すときは、手順 1 の操作で [FUNC] を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
ブラスルービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



■ セルフトイマーを使って手ブレを防ぐ

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを押してから約 2 秒後に撮影するため、シャッターボタンを押すときのカメラのブレを防ぐことができます。



- 「セルフトイマーを使う」の手順 1 (42) の操作で [C] を選びます。
- 設定されると [C] が表示されます。
- 「セルフトイマーを使う」の手順 2 (42) の操作で撮影します。

■ セルフトイマーの時間と撮影枚数を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影されるまでのタイマー時間 (0 - 30 秒) と、撮影枚数 (1 - 10 枚) を設定できます。

1 [C] を選ぶ

- 「セルフトイマーを使う」の手順 1 (42) の操作で [C] を選び、[MENU] ボタンを押します。

2 設定する

- [▲] か [▼] を押して時間または枚数を選びます。
- [◀] か [▶] を押すか [DISP] ホイールを回して数値を選び、[OK] を押します。
- 設定されると [C] が表示されます。
- 「セルフトイマーを使う」の手順 2 (42) の操作で撮影します。



- 動画ボタンを押して撮影したときは、設定した時間で撮影がはじまりますが、枚数は反映されません。



- 撮影枚数を 2 枚以上にしたときは、明るさや色あいは 1 枚目の撮影で固定されます。また、ストロボが光るときや撮影枚数が多いときは撮影間隔が長くなったり、カード容量がいっぱいになると自動的に撮影が終わります。
- タイマー時間を 2 秒以上にしたときは、撮影の 2 秒前にランプの点滅 (ストロボ発光時は点灯) と電子音が速くなります。

連続して撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

[AUTO] モードでは、シャッターボタンを全押ししたままにすると、連続撮影ができます。

連続撮影の速度は「撮影関係」(181) を参照してください。



1 設定する

- [DISP] を押して、メニュー項目の [S] を選んだあと、項目の [C] を選びます (27)。
- 設定されると [C] が表示されます。



2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- 連続撮影中はシャッターボタンを半押ししたときのピント位置、露出、色あいで固定されます。
- セルフタイマー (📖42) とは一緒に使えません。
- 撮影シーン、カメラの設定、ズーム位置によっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなる場合があります。
- 撮影枚数が多くなると、連続撮影の速度が遅くなる場合があります。
- ストロボが発光するときは、連続撮影の速度が遅くなる場合があります。
- マルチエリアホワイトバランス (📖32) は動作しません。また、[水銀灯自動補正] (📖49) は [切] に固定されます。

再生したときの表示について

1 回に連続撮影された複数の画像は 1 つのグループにまとめられ(グループ化)、連続撮影の最初に撮影された画像のみが表示されます。また、この画像にはグループ化されていることを示す [SET] 📖 が画面左上に表示されます。



- グループ化された画像を消す (📖97) と、グループ内のすべての画像が消されますので十分注意してください。



- グループ化された画像を 1 枚ずつ見たり (📖91)、グループ化を解除できます (📖91)。
- グループ化された画像を保護 (📖95) すると、グループ内のすべての画像が保護されます。
- 画像の検索 (📖90) や連想再生 (📖94) で、グループ化された画像を表示すると、グループ化が一時的に解除されて 1 枚ずつの表示になります。
- グループ化された画像は、個人認証情報の編集 (📖92)、拡大 (📖93)、お気に入り設定 (📖100)、編集 (📖101)、印刷 (📖156)、1 枚ずつの印刷指定 (📖160)、フォトブック指定 (📖162) はできません。グループ化された画像を 1 枚表示 (📖91) にするか、グループ化を解除 (📖91) してから行ってください。

個人認証機能を使って撮る

カメラに登録した人の顔を検出して、他の人よりも優先的なピント合わせ、明るさ、色あいで撮影できます。[AUTO] モードでは、登録した誕生日から赤ちゃんやこどもを判別し、最適な設定で撮影することができます。また、撮影した多くの画像の中から登録した人の画像を検索するとき (📖90) にも便利です。ストーリーハイライト (📖107) のアルバムで抽出されやすくなるためにも、事前に登録しておくことをおすすめします。

個人情報について

- 個人認証機能で登録した顔の画像 (顔情報) や、設定した個人情報 (名前、誕生日) は、カメラに記録されます。また、撮影した静止画には、検出された人の名前が記録されます。そのため個人認証機能を設定したあとは、カメラや撮影した静止画を他人に渡したり、撮影した静止画をインターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。
- 個人認証機能で顔の登録、名前、誕生日を設定しているカメラを譲渡や廃棄するときは、すべての登録情報を削除 (📖48) してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

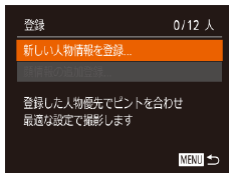
付録

索引



人物情報を登録する

カメラに登録する人の人物情報（顔情報、名前、誕生日）を、最大 12 人まで登録することができます。



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [個人認証設定] を選び、[📷] を押します (📖28)。

- [▲] か [▼] を押すか [🔵] ホイールを回して [登録] を選び、[📷] を押します。

- [▲] か [▼] を押すか [🔵] ホイールを回して [新しい人物情報を登録] を選び、[📷] を押します。

2 顔情報を登録する

- 登録したい人の顔を、画面中央に表示される灰色の枠の中に収めます。
- 顔として認識されると枠が白くなりますので、この状態になったことを確認して撮影します。
- 顔として認識されないときは、登録できません。



- [登録しますか?] が表示されたら [◀] か [▶] を押すか [🔵] ホイールを回して [OK] を選び、[📷] を押します。
- [プロフィール編集] 画面が表示されます。

3 名前と誕生日を登録する

- [📷] を押してキーボードを表示し、名前を入力します (📖29)。

- 誕生日を登録するときには、[プロフィール編集] 画面で [▲] か [▼] を押すか [🔵] ホイールを回して [誕生日] を選び、[📷] を押します。

- [◀] か [▶] を押して項目を選びます。
- [▲] か [▼] を押すか [🔵] ホイールを回して設定します。
- すべての項目を設定したら、[📷] を押します。

4 登録する

- [▲] か [▼] を押すか [🔵] ホイールを回して [保存] を選び、[📷] を押します。
- メッセージが表示されたら、[◀] か [▶] を押すか [🔵] ホイールを回して [はい] を選び、[📷] を押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラススーパーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

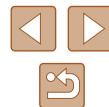
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



5 続けて顔情報を登録する

- 手順2の操作を繰り返して、残り4つの顔情報を登録します。
- 顔情報は正面以外にも、笑顔、少し横を向いたときの顔を、屋内や屋外など撮影条件を変えて登録することで検出されやすくなります。



- 手順2の操作で撮影したときは、ストロボは光りません。
- 手順3で誕生日を登録しないと、[AUTO]モードのときに赤ちゃんや子どものアイコンは表示されません (P.36)。



- 登録されている顔情報を入れ換えたり、5つの顔情報を登録していないときは、あとで追加することができます (P.45)。

撮る

カメラに登録した人の顔を優先的に主被写体と判断して、最適なピント合わせ、明るさ、色あいで撮影できます。



- カメラを人に向けて、検出された人の名前が最大3人まで画面に表示されます。
- 撮影します。
- 表示された人の名前が、静止画に記録されます。さらに画面に表示されていない人でも、検出されると名前が記録されます (合計5人まで)。

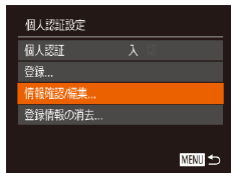


- 登録した顔と特徴が似ている顔を、誤って検出することがあります。



- 登録したときの顔情報と撮影したときの顔や撮影シーンが大きく違うときは、正しく検出されないことがあります。
- 登録した顔が検出されないときや、検出されにくいときは、登録されている顔情報を入れ換えてください。撮影する直前に顔情報を登録すると検出されやすくなります。
- 誤って検出されたまま撮影したときは、再生時に名前を入れ換えたり消したりすることができます (P.92)。
- 赤ちゃんや子どもは成長とともに顔が変わるため、定期的な顔情報の入れ換えをおすすめします (P.45)。
- 記録される静止画に名前を記録したくないときは、[カメラ] タブの [個人認証設定] の [個人認証] を [切] にします。
- 記録された名前は、再生画面 (簡易情報表示) で確認することができます (P.87)。
- [カメラ] モードでは、名前は撮影画面に表示されませんが、静止画には記録されます。
- 連続撮影 (P.43、P.79) すると、名前は1枚目に記録された位置に固定されます。被写体が動いても、2枚目以降も1枚目と同じ位置に記録されます。

登録した情報を確認／編集する



1 [情報確認 / 編集] 画面を表示する

- 「人物情報を登録する」の手順1 (P.45) の操作で [情報確認 / 編集] を選び、[確認] を押します。



2 確認／編集する人を選ぶ

- [上] [下] [左] [右] を押すか [確認] ホイールを回して確認／編集したい人を選び、[確認] を押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

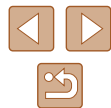
無線機能

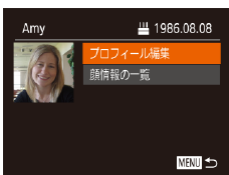
設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





3 確認／編集する

- 名前や誕生日を確認するときは、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [プロフィール編集] を選び、[●] を押します。表示された画面では、「人物情報を登録する」の手順3 (45) の操作で名前や誕生日を変えることもできます。
- 顔情報を確認するときは、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [顔情報の一覧] を選び、[●] を押します。表示された画面で [●] を押したあと、[▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して顔情報を選び、[●] を押すと [消去しますか?] が表示されます。[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選んで [●] を押すと顔情報を消去できます。

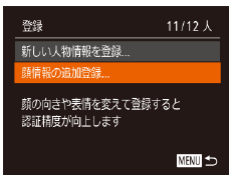


- [プロフィール編集] で名前を変えても、変更前に撮影された静止画に記録されている名前には反映されません。

■ 顔情報を入れ換え／追加する

新しい顔情報に入れ換えることができます。顔が検出されにくいときや、特に赤ちゃんやこどもは成長とともに顔が変わるため、定期的な顔情報の入れ換えをおすすめします。

また、顔情報を5つ登録していないときは、追加で顔情報を登録します。



1 [顔情報の追加登録] 画面を表示する

- 「人物情報を登録する」の手順1 (45) の操作で [顔情報の追加登録] を選び、[●] を押します。



2 入れ換える人の名前を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して入れ換える人の名前を選び、[●] を押します。
- 5つの顔情報が登録されているときは、メッセージが表示されるので、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[●] を押します。
- 登録されている顔情報が4つ以下のときは、手順4に進んで顔情報を追加します。



3 入れ換えたい顔情報を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して入れ換えたい顔情報を選び、[●] を押します。

4 顔情報を登録する

- 「人物情報を登録する」の手順2 (45) の操作で撮影し、新しい顔情報を登録します。
- 顔情報は正面以外にも、笑顔、少し横を向いたときの顔を、屋内や屋外など撮影条件を変えて登録することで検出されやすくなります。



- 顔情報が5つ登録されているときは、追加はできません。上記の操作で顔情報を入れ換えてください。
- 登録している顔情報が4つ以下のときは、上記の操作であらたに顔情報を登録はできますが、入れ換えはできません。いったん顔情報を消して (46) から、新しい顔情報を登録 (45) してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



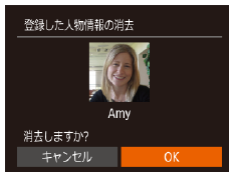
登録した情報を消す

カメラに登録した人物情報（顔情報、名前、誕生日）を消すことができます。なお、撮影した画像に記録されている名前は消えません。



1 [登録情報の消去] 画面を表示する

- 「人物情報を登録する」の手順1 (書245) の操作で [登録情報の消去] を選びます。



2 人物情報を消す人の名前を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して人物情報を消す人の名前を選び、[●] を押します。
- [消去しますか?] が表示されたら、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[●] を押します。



- 登録情報を消すと、名前の表示 (書89) や、入れ換え (書92)、検索 (書90) はできなくなります。



- 画像に記録された名前を消すこともできます (書92)。

自分好みの画像を撮るための機能を使う

縦横比（アスペクト比）を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の縦横の比率を変えられます。



- [●] を押して、メニュー項目の [4:3] を選んだあと、目的の項目を選びます (書27)。
- 設定されると画面の縦横比が変わります。
- 戻すときは、上記の操作で [4:3] を選びます。

16:9	HD（ハイビジョン）対応テレビなどのワイド画面へ表示するときに適しています。
3:2	35mmフィルムと同じ縦横比です。2L判、はがきなどでの印刷に適しています。
4:3	このカメラの画面と同じ縦横比です。HD（ハイビジョン）非対応テレビなどの画面へ表示するときや、L判、A判などでの印刷に適しています。
1:1	正方形です。



- [L/M] モードでは設定できません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



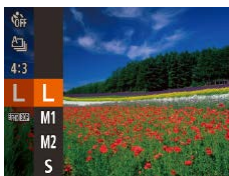
記録画素数（画像の大きさ）を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の記録画素数を4種類から選べます。それぞれの記録画素数で1枚のカードに撮影できる枚数については「記録関係」(P181)を参照してください。



- [MENU] を押して、メニュー項目の [L] を選び、目的の項目を選びます (P27)。
- 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [L] を選びます。



用紙の大きさで選ぶときの目安（縦横比 4:3 のとき）

L	A2 相当
M1	A3 ~ A5 相当
M2	2L 判、はがき、L 判相当
S	電子メールで画像を送るときなど



- [M] モードでは設定できません。

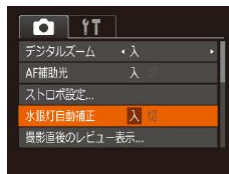
水銀灯で緑がかった部分を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

[AUTO] モードでは、水銀灯の灯りの影響を受ける夜景シーンなどを撮影すると、撮影した画像の被写体や背景全体が緑がかってしまうことがあります。この緑がかることを撮影時に自動補正することができます（マルチエリアホワイトバランス）。



- [MENU] ボタンを押して、[CAM] タブの [水銀灯自動補正] を選んだあと、[入] を選びます (P28)。
- 設定されると [曇] が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [切] を選びます。



- 水銀灯の灯りの影響を受けるシーンでの撮影が終わったあとは、[水銀灯自動補正] を [切] に戻すことをおすすめします。[入] のままにしておくと、水銀灯の影響ではない緑がかった色が誤って補正されることがあります。



- シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがあるので、事前に試し撮りをすることをおすすめします。
- 連続撮影 (P43) では [切] に固定されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



動画の画質を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

3種類の画質から選べます。それぞれの画質で1枚のカードに撮影できる時間については「記録関係」(📖181)を参照してください。



- [MENU] を押して、メニュー項目の [HD 30P] を選んだあと、目的の項目を選びます (📖27)。
- 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [HD 30P] を選びます。



画質	記録画素数	フレーム数	内容
[HD 30P]	1920 x 1080 画素	30 フレーム / 秒	Full HD (フルハイビジョン) 画質で撮影できます。
[HD 30P]	1280 x 720 画素	30 フレーム / 秒	HD (ハイビジョン) 画質で撮影できます。
[VGA 30P]	640 x 480 画素	30 フレーム / 秒	SD (スタンダード) 画質で撮影できます。



- [HD 30P] [HD 30P] では、画面の上下に黒帯が表示されます。この部分は撮影されません。
- [P] モードでは、より滑らかな [HD 30P] も選べます (📖65)。

撮影の手助けとなる機能を使う

グリッドラインを表示する

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影のときに垂直、水平の目安になる格子線を画面上に表示することができます。



- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [グリッドライン] を選び、[入] を選びます (📖28)。
- 設定されると格子線が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [切] を選びます。



- 「グリッドライン」は画像に記録されません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



自動水平補正を使わないようにする

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影時に動画を水平に保つ補正をします。この機能を使わないときは、[しない] を選びます。



- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [🔧 自動水平補正] を選び、[しない] を選びます (📖28)。



- 撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります (📖52)。

手ブレ補正の設定を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

■ 手ブレ補正を使わないようにする

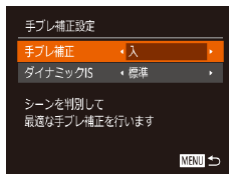
カメラを三脚などで固定して撮影するときは、手ブレ補正機能が動作しないよう [切] にすることをおすすめします。

1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [手ブレ補正設定] を選び、[⊕] を押します (📖28)。

2 設定する

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して [手ブレ補正] を選び、[◀] か [▶] を押して [切] を選びます。



入	撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定 (マルチシーン IS) されます (📖37)。
切	手ブレ補正を切ります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

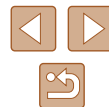
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

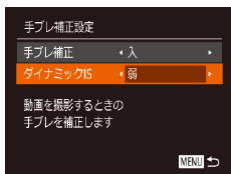


撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

動画撮影では大きな手ブレを補正したり、なるべく水平に保たれるように補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。

手ブレ補正の効果を弱めることと、水平に保つ補正をしないことで、撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影することができます。



- 「自動水平補正を使わないようにする」(p.51) の操作で [自動水平補正] を [しない] にします。
- 「手ブレ補正を使わないようにする」(p.51) の手順 1 の操作で [手ブレ補正設定] 画面を表示します。
- [ダイナミック IS] を選んでから、[弱] を選びます (p.28)。



- [手ブレ補正] が [切] のときも、撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影することができます。
- [手ブレ補正] を [切] にしているとき (p.51) は [ダイナミック IS] は選べません。
- 動画の画質が [EVA 80P] のときは、[標準] に固定されます。

自分好みに機能を変える

MENU の [カメラ] タブで、カメラの撮影機能を好みの設定に変えることができます。

なお、メニュー機能の操作方法は、「MENU (メニュー) の表示と操作方法」(p.28) を参照してください。

AF 補助光 (ランプ) が光らないようにする

▶ 静止画 ▶ 動画

暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピントを合わせるためにランプ (前面) が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。



- [MENU] ボタンを押して、[カメラ] タブの [AF 補助光] を選び、[切] を選びます (p.28)。
- 戻すときは、上記の操作で [入] を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



赤目緩和機能を切る

▶ 静止画 ▶ 動画

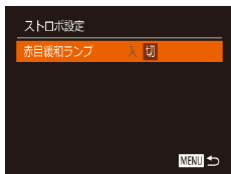
暗いところでのストロボ撮影では、人の目が赤く撮影されることを緩和するため、ランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。

1 [ストロボ設定] 画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [ストロボ設定] を選び、[🔴] を押します (📖28)。

2 設定する

- [切] を選びます (📖28)。
- 戻すときは、上記の操作で [入] を選びます。



撮影直後の画面表示を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影直後に画像が表示される時間を変えたり、画面の表示を変えることができます。

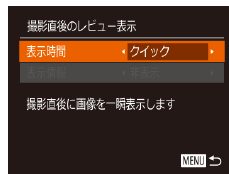
■ 撮影直後の画像表示時間を変える

1 [撮影直後のレビュー表示] 画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [撮影直後のレビュー表示] を選び、[🔴] を押します (📖28)。

2 設定する

- [表示時間] を選び、[◀] か [▶] を押し、目的の項目を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で [クイック] を選びます。



クイック	次の撮影ができるようになるまでの間だけ画像を表示します。
2秒、4秒、8秒	設定した時間だけ画像を表示します。画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影ができます。
ホールド	シャッターボタンを半押しするまで画像を表示します。
切	画像は表示されません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

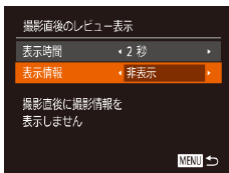
索引



■ 撮影直後に表示される画面を変える

撮影直後の画像表示を変えることができます。

1 [表示時間] を [2 秒]、[4 秒]、[8 秒]
または [ホールド] にする (📖 53)



2 設定する

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [表示情報] を選び、[◀] か [▶] を押して、目的の項目を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で [非表示] を選びます。



非表示	撮影した画像だけを表示します。
詳細表示	詳細情報表示 (📖 170) になります。



- [表示時間] (📖 53) で [クイック] または [切] を選んでいるときは、[非表示] に固定されます。
- 撮影直後に画像が表示されているときに [▼] を押すと、表示情報を切り換えられます。ただし、[表示情報] で設定した内容は変わりません。また、[⏏] ボタンを押して画像を消去したり、[●] を押して保護 (📖 95) やお気に入り設定 (📖 100) することができます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



いろいろな撮影モード

いろいろなシーンをより効果的に撮ったり、ユニークな効果や特殊な機能で演出された画像を撮る



多彩な写真や動画を撮る（クリエイティブショット）

▶ 静止画 ▶ 動画

多彩な写真を撮る

カメラが被写体や撮影状況を判別して、自動で効果をつけたり被写体を切り出して、1回の撮影で6枚の静止画を記録します。カメラまかせで多彩な静止画を撮ることができます。



1 [Creative Shot] モードにする

- モードダイヤルを [Creative Shot] にします。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、シャッター音が3回鳴って撮影されます。
- 6枚の画像が順番に表示されたあと、すべての画像が約2秒間表示されます。
- 画像の表示中に [OK] を押すと、シャッターボタンを半押しするまで画像が表示されるようになります。この状態で [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [DISP] ホイールを回して画像を選び [OK] を押すと、選んだ画像が画面いっぱいに表示されます。
- [MENU] ボタンを押すともとの表示に戻ります。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- ストロボが発光するときは撮影に時間がかかりますが、3回シャッター音が鳴るまでカメラを構え続けてください。
- 撮影した6枚の画像はグループ化 (P.91) されます。
- 6枚の画像が手順2のような並びで表示されるのは、撮影直後だけです。

効果を選ぶ

[Q] モードで記録する画像の効果を選ぶことができます。



- [Q] モードを選んだあと、[▼] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して効果を選び [●] を押します。

📷 オート	すべての効果
📷 レトロ	古い写真のような雰囲気の効果
📷 モノクロ	単色の効果
📷 スペシャル	特殊で大胆な効果
📷 ナチュラル	自然な印象の抑えめな効果

多彩な動画を撮る

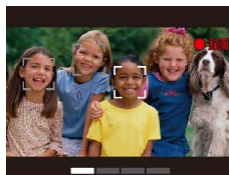
動画を撮影すると、カメラが被写体や撮影シーンを判別して、自動的にスローモーションや早送りなど多彩な効果をつけます。また、最大4回分の動画を自動的にまとめて15～25秒程度の短編動画(クリエイティブショット動画)を記録します。なお、音声は記録されません。

1 [Q] モードにする

- モードダイヤルを [Q] にします。

2 1つ目の動画を撮影する

- 動画ボタンを押すと撮影がはじまり、撮影時間に連動したバーが表示されます。
- 3～6秒の動画が記録されると、自動的に撮影が終わります。



3 2～4つ目の動画を撮影する

- 手順2の操作を3回繰り返して、4つの動画を撮影します。



- 動画の数が4つに達していなくても、日付が変わると別ファイルとして保存されます。



- 動画にかかる効果の傾向は、1～4つ目の動画まで同じになりますが、動画ごとに変えることもできます (P.56)。
- チャプターを使って編集することもできます (P.106)。

クリエイティブショット動画の再生について

[Q] モードで撮影したクリエイティブショット動画を選んで再生することができます (P.88)。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



自分撮りに最適な設定で撮る（自分撮り）

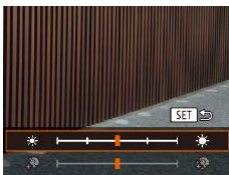
▶ 静止画 ▶ 動画

自分撮りをするとき、画像処理によって肌がなめらかに見えるよう美肌の効果をかけるほか、明るさや背景を自分好みに設定し、自分が浮き立つような画像にすることができます。



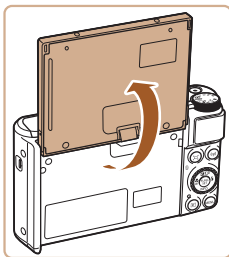
1 [カメラ] モードにする

- モードダイヤルを [カメラ] にします。



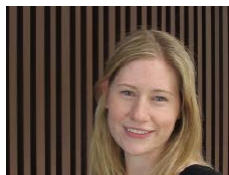
2 設定する

- [▼] を押して美肌効果と明るさの設定画面を表示したあと、[▲] か [▼] を押して項目を選び、画面を見ながら [◀] か [▶] を押すか [ホイール] を回して値を設定します。
- 手順1で [カメラ] を選んだあと、[◀] を押して背景ぼかしの設定を切ることもできます。



3 モニターを開く

- 図のようにモニターを開きます。



4 撮影する

- 背景ぼかしが [オート] のとき、シャッターボタンを全押しすると、2枚連続して撮影されたあと、画像処理されるため、撮影中はカメラをしっかりと構え続けてください。

美肌効果	美肌の効果を3段階から選ぶことができます。なお、美肌の効果は主被写体と判断された人の顔が最適になるようにかかります。
明るさ	明るさを5段階から選ぶことができます。
背景ぼかし	背景をぼかすことができます。



- 撮影シーンによっては、人の肌以外も補正することがあります。
- シーンによっては思い通りの効果が得られないことがあるので、事前に試し撮りをするをお勧めします。



- ストロボモードを [切] にしているときは、背景ぼかしは [切] に固定されます。
- セルフタイマーの [2秒] か [3秒] で3秒以上を選んでいるときは、撮影を開始すると画面の上に撮影までの秒数が表示されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



動きのある被写体を撮る（スポーツ）

▶ 静止画 ▶ 動画

動いている被写体にピント合わせを行いながら連続撮影できます。



1 [S&A] モードにする

- モードダイヤルを [S&A] にします。



2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押ししている間、青色で枠が表示され、ピントと明るさを合わせ続けます。

3 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。



- [S&A] モードでは、撮影シーンによっては ISO 感度 (P.71) が高くなるため、画像が粗くなることがあります。
- [S&A] モードでの撮影範囲は、「レンズ」(P.180) を参照してください。
- 連続撮影をしたあとは、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。また、カードによっては、次の撮影までにさらに時間がかかることがあります。
- 撮影シーンやカメラの設定、ズーム位置によっては、撮影の速度が遅くなることがあります。
- [P] オートモードのとき (P.39) は、連続撮影されません。

いろいろなシーンで撮る

撮影シーンにあったモードを選ぶと、最適な撮影ができるようにカメラが自動的に設定を行います。



1 [SCN] モードにする

- モードダイヤルを [SCN] にします。



2 撮影モードを選ぶ

- [M] を押してメニュー項目の [M] を選び、撮影モードを選びます (P.27)。

3 撮影する

人撮り (ポートレート)

▶ 静止画 ▶ 動画

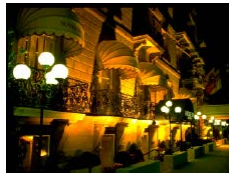
- 人をやわらかい感じで撮影できます。



三脚を使わずに夜景を撮る (手持ち夜景)

▶ 静止画 ▶ 動画

- 三脚などでカメラを固定しなくても夜景や夜景を背景にした人をきれいに撮影できます。
- 連続撮影した画像を 1 枚に合成することで、手ブレやノイズが軽減されます。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





👁️ 暗い場所で撮る (ローライト)

▶ 静止画 ▶ 動画

- 暗い場所でも手ブレや被写体ブレをおさえ、撮影できます。



🎆 花火を撮る (打上げ花火)

▶ 静止画 ▶ 動画

- 打上げ花火を色鮮やかに撮影できます。



- [📷] モードでは、他のモードに比べて被写体が大きく表示されます。
- [📷] モードでは、撮影シーンによってはISO感度(📖71)が高くなるため、画像が粗くなることがあります。
- [📷] モードでは連続撮影するため、撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- [📷] モードでは、ブレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。
- [🎆] モードでは手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正]を[切]にして撮影することをおすすめします(📖82)。



- 三脚を使って夜景を撮影するときは、[📷] モードではなく、[AUTO] モードで撮影することをおすすめします(📖32)。
- [📷] モードでは、記録画素数は [IM] (2592 x 1944 画素) に固定されます。
- [🎆] モードでは、最適なピント位置に設定されますが、シャッターボタンを半押ししても枠は表示されません。

効果をつけて撮る

いろいろな効果をつけて撮影することができます。



1 撮影モードを選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順1～2(📖58)の操作で撮影モードを選びます。

2 撮影する

🌈 鮮烈な色で撮る (極彩色)

▶ 静止画 ▶ 動画



- 色の濃さを強調して、高彩度の鮮烈な色で撮影できます。



🎨 イラスト風の効果をつけて撮る (オールドポスター)

▶ 静止画 ▶ 動画

- 古いポスターのようなイラスト風の効果をつけて撮影できます。



- [🌈] [🎨] モードでは、撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



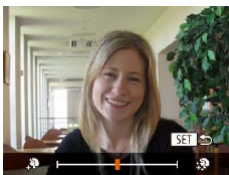
美肌の効果をかけて撮る（美肌）

▶ 静止画 ▶ 動画

画像処理によって肌がなめらかに見えるような効果を加えることができます。

1 [美肌] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1～2 (P58) の操作で [美肌] を選びます。



2 効果を選ぶ

- [▼] を押したあと、[◀] か [▶] を押すか [美肌] ホイールを回して効果のレベルを選び、[SET] を押します。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する



- 撮影シーンによっては、人の肌以外も補正することがあります。
- シーンによっては思い通りの効果が得られないことがあるので、事前に試し撮りをするをお勧めします。

魚眼レンズのような効果をつけて撮る（魚眼風）

▶ 静止画 ▶ 動画

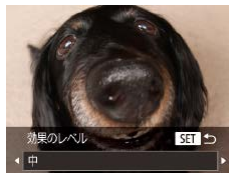
魚眼レンズで撮ったようなデフォルメ効果をつけて撮影します。

1 [魚眼] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1～2 (P58) の操作で [魚眼] を選びます。

2 効果を選ぶ

- [▼] を押したあと、[◀] か [▶] を押すか [魚眼] ホイールを回して効果のレベルを選び、[SET] を押します。
- 設定した効果で画面が表示されます。



3 撮影する



- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがあるので、事前に試し撮りをするをお勧めします。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



ミニチュア模型のように撮る（ジオラマ風）

▶ 静止画 ▶ 動画

指定した範囲の上下をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影します。

また、「再生時の速さ」を選んで動画を撮影すると、再生時には風景の中の人やものが早送りで動くので、ミニチュア模型のように見えます。なお、音声は録音されません。

1 [△] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1～2 (p.58) の操作で [△] を選びます。
- 画面に白い枠（ぼかさない範囲）が表示されます。



2 ピントの合う範囲と位置を指定する

- [▼] を押します。
- ズームレバーを動かして枠の大きさを変えたり、[▲] か [▼] を押して枠の位置を変えます。



3 動画を撮るときは再生時の速さを選ぶ

- [MENU] ボタンを押したあと、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して倍速（速さ）を選びます。

4 撮影画面に戻り、撮影する

- [MENU] ボタンを押して撮影画面に戻り、撮影します。

■ 倍速と再生時間の目安（動画を 1 分間撮影したとき）

倍速	再生時間
5x	約 12 秒
10x	約 6 秒
20x	約 3 秒

30 フレーム / 秒で再生



- 動画の撮影中は、ズームできません。撮影前に倍率を変えてください。
- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。



- 手順 2 の画面で [◀] か [▶] を押すと枠の縦横が変わり、枠を縦にしたときは [◀] か [▶] を押すと枠の位置を変えられます。
- カメラを縦位置で構えると、枠の向きが変わります。
- 動画の画質は、縦横比で [4:3] を選んだときは [EVA] に、[16:9] を選んだときは [HD] に固定されます (p.48)。
- 手順 2、3 の画面の表示中や動画の撮影中は、[□] ボタンを押してもズーム倍率は変わりません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



トイカメラのような効果をつけて撮る（トイカメラ風）

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の四隅を暗くぼかして、全体の色調を変えることで、トイカメラで撮影したような効果をつけて撮影できます。

1 [📷] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1～2 (📖58) の操作で [📷] を選びます。



2 色調を選ぶ

- [▼] を押したあと、[◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して色調を選び、[📷] を押します。
- 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する

標準	トイカメラ風の画像になります。
暖色	[標準] より暖色系のトイカメラ風画像になります。
寒色	[標準] より寒色系のトイカメラ風画像になります。



- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

優しい雰囲気撮る（ソフトフォーカス）

▶ 静止画 ▶ 動画

ソフトフィルターを使ったような効果をつけて、優しい雰囲気の画像を撮影できます。効果の強さを設定できます。

1 [👤] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1～2 (📖58) の操作で [👤] を選びます。



2 効果を選ぶ

- [▼] を押したあと、[◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して効果のレベルを選び、[📷] を押します。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する



- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



単色で撮る（モノクロ）

▶ 静止画 ▶ 動画

画像を白黒、セピア調、青白にして撮影できます。

1 [] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1～2 (P58) の操作で [] を選びます。



2 色調を選ぶ

- [▼] を押したあと、[◀] か [▶] を押すか [] ホイールを回して色調を選び、[] を押します。
- 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する

白黒	白黒で撮影できます。
セピア	セピア調で撮影できます。
青	青白で撮影できます。

特殊なモードでいろいろな画像を撮る

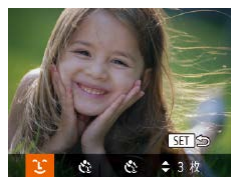
顔を見つけて撮る（オートシャッター）

▶ 静止画 ▶ 動画

■ 笑顔を見つけて撮る（スマイル）

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを押さなくても、カメラが笑顔を検出するたびに、自動で撮影します。



1 [] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1～2 (P58) の操作で [] を選んだあと、[▼] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [] ホイールを回して [] を選び、[] を押します。
- 撮影準備に入り、[笑顔を検出中です] が表示されます。



2 カメラを人に向ける

- カメラが笑顔を検出するたびに、ランプ（前面）が光ったあと撮影されます。
- [◀] を押すと笑顔の検出を中断できます。もう一度 [◀] を押すと笑顔の検出を再開します。



- 笑顔を検出するたびに撮影し続けるので、撮影が終わったら、他の撮影モードに変えることをおすすめします。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- シャッターボタンを押して撮影することもできます。
- カメラの方を向いて、歯が見えるように口を開けて笑うと、笑顔が検出されやすくなります。
- 手順1で [L] を選んだあと、[▲] か [▼] を押すと、撮影枚数を変えることができます。
- [□] ボタンを押しているときは自動撮影されません。

■ ウィンクしたら撮る (ウィンクセルフタイマー)

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラを人に向けてシャッターボタンを押したあと、カメラがウィンクを検出すると、約2秒後に撮影されます。



1 [D] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順1～2 (P58) の操作で [D] を選んだあと、[▼] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [D] ホイールを回して [D] を選び、[SET] を押します。

2 構図を決めてシャッターボタンを半押しする

- ウィンクする人の顔に緑色の枠が表示されていることを確認します。

3 シャッターボタンを全押しする

- 撮影準備に入り、「ウィンクすると撮影します」が表示されます。
- ランプ (前面) が点滅し、電子音が鳴ります。



4 カメラに向かってウィンクする

- 枠が表示された人のウィンクが検出されると、約2秒後に撮影されます。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、[MENU] ボタンを押します。



- ウィンクが検出されないときは、少し長めに、しっかりとウィンクしてください。
- 帽子や髪で目が隠れていたり、眼鏡をかけていたりすると、ウィンクが検出されないことがあります。
- 両目をつむってもウィンクとして検出されます。
- ウィンクが検出されないときは、約15秒後に撮影されます。
- 手順1で [D] を選んだあと、[▲] か [▼] を押すと、撮影枚数を変えることができます。
- 人がいない構図でシャッターボタンを全押ししたときは、あとから構図に入った人のウィンクで撮影がはじまります。
- シャッターボタンを全押ししたあとは、[□] ボタンを押してもズーム倍率は変わりません。

■ 人が増えたら撮る (顔セルフタイマー)

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを押した人が構図に入って顔が検出 (P76) されると、約2秒後に撮影されます。集合写真などで撮影する人も一緒に写りたいときにおすすめです。



1 [D] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順1～2 (P58) の操作で [D] を選んだあと、[▼] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [D] ホイールを回して [D] を選び、[SET] を押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



2 構図を決めてシャッターボタンを半押しする

- ピントが合った顔には緑色、それ以外の顔には白の枠が表示されていることを確認します。

3 シャッターボタンを全押しする

- 撮影準備に入り「顔が増えたら撮影します」が表示されます。
- ランプ（前面）が点滅し、電子音が鳴ります。

4 一緒に写る人が構図に入り顔をカメラに向ける

- 新しい顔が検出されると、ランプの点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなり、約2秒後に撮影されます。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、[MENU] ボタンを押します。



- 一緒に写る人が構図に入っても顔を検出できないときは、約15秒後に撮影されます。
- 手順1で [C] を選んだあと、[▲] か [▼] を押すと撮影枚数を変えることができます。
- シャッターボタンを全押ししたあとは、[C] ボタンを押してもズーム倍率は変わりません。

いろいろな動画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

スタンダードモードで動画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画



1 [Movie] モードにする

- モードダイヤルを [Movie] にします。
- [C] を押してメニュー項目の [Movie] を選び、[Movie] を選びます (書27)。
- 画面上下に黒い帯が表示され、被写体が少し大きく表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影されません。

2 目的に応じて各機能を設定する (書171)

3 撮影する

- 動画ボタンを押します。
- 動画ボタンをもう一度押すと撮影が完了します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



動きがより滑らかな動画を撮る

1秒あたりのフレーム数を約2倍にして、動きがより滑らかな動画を撮影することができます。



- 「動画の画質を変える」(P.50)の手順で「60P」を選びます。

明るさを固定したり変えて撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影前や撮影中に露出を固定したり、露出を1/3段ずつ、-2段から+2段の範囲で変えられます。



1 露出を固定する

- 「▲」を押すと露出が固定されて露出シフトバーが表示されます。
- もう一度「▲」を押すと解除されます。



2 露出を変える

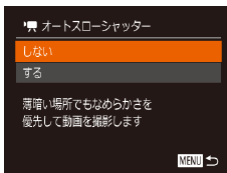
- 画面を見ながら、「●」ホイールを回して露出を変えます。

3 撮影する (P.65)

オートスローシャッターを使わない

▶ 静止画 ▶ 動画

ごちない動きの画像になったときに、オートスローシャッターを使わないようにできます。ただし、暗いシーンを撮影しているときは、画像が暗くなることがあります。



- 「MENU」ボタンを押して、「[📷] タブの「オートスローシャッター」を選んで、「[しない]」を選びます (P.28)。
- 戻すときは、上記の操作で「[する]」を選びます。

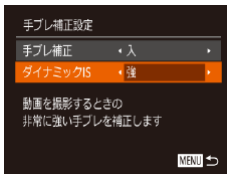


- オートスローシャッターは「60P」でのみ動作します。

非常に強い手ブレを補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

動きながら動画を撮影するときなどの非常に強い手ブレを補正します。「標準」よりも画面に表示される範囲が変わり、さらに被写体が大きくなります。



- 「撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮る」の操作 (P.52) で「強」を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- [手ブレ補正] を [切] にしているとき (P.51) は [ダイナミック IS] は選べません。
- 動画の画質が [VGA 30P] のときは、[標準] に固定されます。

音声を設定する

▶ 静止画 ▶ 動画

■ ウィンドカットを使わない

風が強いときに発生する雑音を低減できます。ただし、風がない場所で録音したときは、不自然な音になることがあります。このとき、ウィンドカットを使わないようにできます。



- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [ウィンドカット] を選んだあと、[切] を選びます (P.28)。

■ アッテネーターを使う

大音響の環境で、音割れを軽減できます。ただし、静かな環境で録音したときは、音が小さくなります。



- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [アッテネーター] を選んだあと、目的の項目を選びます (P.28)。

ショートクリップモードで動画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

数秒間の短編動画に、早送りやスローのほか、リプレイ再生などの効果をつけることができます。作成された動画は、ストーリーハイライト (P.107) のアルバムの対象になります。

1 [🔊] モードにする

- モードダイヤルを [🔊] にします。
- [⊕] を押してメニュー項目の [🔊] を選び、[🔊] を選びます (P.27)。
- 画面上下に黒い帯が表示されます。この部分は撮影されません。

2 撮影時間と再生時の効果を設定する

- [▼] を押します。
- [🕒] ホイールを回して撮影時間 (4 ~ 6 秒) を設定し、[◀] か [▶] を押して効果を設定します。



3 撮影する (P.65)

- 撮影時間に連動したバーが表示されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー





アクセサリ

付録

索引



再生時の効果

 2x	早送り再生されます。
 1x	通常で再生されます。
 1/2x	スロー再生されます。
	通常再生に続いて最後の 2 秒が早戻しされたあとスローで再生されます。



- 撮影された動画に音声は記録されません。
- 動画の画質は [HD 50] (1080) に固定されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

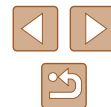
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



Pモード

撮影スタイルにあわせた、ワンランク上の画像を撮る



- モードダイヤルが **[P]** モードになっていることを前提に説明しています。
- **[P]** は、Program AE（プログラムエーイー）の略、AEは、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。
- この章で説明する機能を **[P]** モード以外で使うときは、それぞれの機能がどのモードで使えるか確認してください（[171](#)）。

プログラム AE で撮る（[P] モード）

▶ 静止画 ▶ 動画

いろいろな機能を自分好みに設定して撮影できます。



1 [P] モードにする

- モードダイヤルを **[P]** にします。

2 目的に応じて各機能を設定（[70](#)～[82](#)）し、撮影する



- シャッターボタンを半押ししたときに適正露出が得られないと、シャッタースピードと絞り数値がオレンジ色で表示されます。ISO感度を変えたり（[71](#)）、被写体が暗いときにストロボを発光させる（[80](#)）と、適正露出が得られることがあります。
- **[P]** モードでも、動画ボタンを押すと動画が撮影できます。ただし、FUNC.（[27](#)）やMENU（[28](#)）の一部が動画撮影の設定にあわせて自動的に変わることがあります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

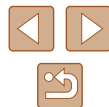
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



明るさ（露出）に関する機能を使う

明るさを変える（露出補正）

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラが決めた標準的な露出を 1/3 段ずつ、- 2 段から + 2 段の範囲で補正できます。



- [▲] を押したあと、画面の表示を見ながら [●] ホイールを回して明るさを補正し、もう一度 [▲] を押します。
- 設定した補正量が表示されます。

明るさ（露出）を固定する（AE ロック）

▶ 静止画 ▶ 動画

露出を固定して撮影したり、ピントと露出を個別に設定して撮影することもできます。



1 露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押ししたまま、[▲] を押します。
- [✳] が表示され、露出が固定されます。
- シャッターボタンから指を放してもう一度 [▲] を押すと、[✳] が消え解除されます。

2 構図を決めて撮影する

- 1 枚撮影すると、[✳] が消え解除されます。



- AE は、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。
- 露出を固定したあとに [●] ホイールを回すと、シャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変えることができます（プログラムシフト）。

測光方式を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンにあわせて、測光方式（明るさを測る特性）を変えられます。



- [●] を押して、メニュー項目の [☉] を選び、目的の項目を選びます（[27](#)）。
- 設定した項目が表示されます。

[☉] 評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。撮影シーンに応じて、被写体が常に適正露出になるように自動補正します。
[□] 中央部重点平均測光	画面中央部に重点をおいて、画面全体を平均的に測光します。
[●] スポット測光	画面中央に表示される []（スポット測光枠）の範囲のみを測光します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

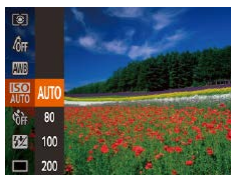
索引



ISO 感度を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

ISO 感度が [AUTO] のときは撮影モードと撮影シーンに応じて自動設定されます。また、設定する ISO 感度の数値が大きいほど感度が高くなり、小さいほど感度が低くなります。



- [MENU] を押して、メニュー項目の [ISO] を選び、目的の項目を選びます (P27)。
- 設定した項目が表示されます。



- ISO 感度が [AUTO] のときは、シャッターボタンを半押しすると自動設定された ISO 感度が画面に表示されます。
- ISO 感度を低くすると粗さが目立たない画像になりますが、撮影シーンによっては被写体ブレや手ブレがおきやすくなる場合があります。
- ISO 感度を高くするとシャッタースピードが速くなるため、被写体ブレや手ブレが軽減されたり、ストロボの光が遠くの被写体まで届くようになりますが、画像が粗くなります。

明るさを補正して撮る (i-コントラスト)

▶ 静止画 ▶ 動画

人の顔や背景など、一部が明るすぎたり暗すぎたりするときは、その部分を検出し、適切な明るさに自動補正して撮影することができます。また、画面全体で明暗差が小さいときは、くっきりした印象となるように自動補正して撮影することができます。



- [MENU] ボタンを押して、[i-] タブの [i-コントラスト] を選び、[オート] を選びます (P28)。
- 設定されると [i-] が表示されます。



- 撮影シーンによっては画像が粗くなったり、正しく補正されないことがあります。



- 撮影した画像を補正することもできます (P103)。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

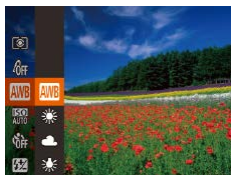


色に関する機能を使う

自然な色あいにする（ホワイトバランス）

▶ 静止画 ▶ 動画

ホワイトバランス（WB）は、撮影シーンにあわせて自然な色あいにする機能です。



- [MENU] を押して、メニュー項目の [WB] を選び、目的の項目を選びます (P.27)。
- 設定した項目が表示されます。

[WB]	オート	撮影シーンに応じて自動設定
[☀]	太陽光	晴天の屋外
[☁]	くもり	曇り空や薄暮
[💡]	電球	電球
[💡]	蛍光灯	白色蛍光灯
[💡]	蛍光灯 H	昼光色蛍光灯
[📷]	マニュアル	マニュアルホワイトバランス（手動設定）(P.72)

マニュアルホワイトバランス

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影場所の光源にあわせてホワイトバランスを変えて、撮影時の光源に適した色あいで撮影できます。撮影場所の光源のもとで設定してください。



- 「自然な色あいにする（ホワイトバランス）」(P.72) の操作で [📷] を選びます。
- 画面いっぱいに白い無地の被写体が入るようにして、[MENU] ボタンを押します。
- 白データが取り込まれて設定されると、画面の色あいが変わります。



- 白データを取り込んだあとにカメラの設定を変えると、適切な色あいにしないことがあります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

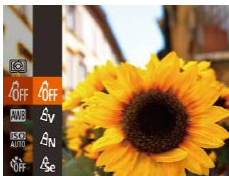
索引



画像の色調を変える（マイカラー）

▶ 静止画 ▶ 動画

通常の撮影画像とは違った印象の画像にしたり、セピア調や白黒画像に変えることができます。



- [MENU] を押して、メニュー項目の [Ac] を選び、目的の項目を選びます (P.27)。
- 設定した項目が表示されます。

[Ac] マイカラー切	-
[Av] くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした印象の色調になります。
[An] すっきりカラー	コントラストと色の濃さをおさえ、すっきりとした印象の色調になります。
[Ase] セピア	セピア調になります。
[Aw] 白黒	白黒になります。
[Ap] ポジフィルムカラー	「あざやかブルー」、「あざやかグリーン」、「あざやかレッド」の効果をあわせたもので、ポジフィルムのように自然で色鮮やかになります。
[Al] 色白肌	人の肌が色白になります。
[Ad] 褐色肌	人の肌が褐色になります。
[Ab] あざやかブルー	青色を強調します。空や海などがより鮮やかになります。
[Ag] あざやかグリーン	緑色を強調します。山や草花などがより鮮やかになります。
[Ar] あざやかレッド	赤色を強調します。赤い被写体がより鮮やかになります。
[Ac] カスタムカラー	画像の色調を自分好みに設定できます (P.73)。



- [Ase] [Aw] では、ホワイトバランス ([W2]) は設定できません。
- [Al] [Ad] では、人の肌の色以外が変わることがあります。肌の色によっては、思いどおりの色にならないことがあります。

カスタムカラー

▶ 静止画 ▶ 動画

画像のコントラスト（明暗差）、シャープネス（鮮鋭度）、色の濃さ、赤、緑、青、肌色を、それぞれ5段階から選んで設定できます。



1 設定画面を表示する

- 「画像の色調を変える（マイカラー）」 (P.73) の操作で [Ac] を選び、[MENU] ボタンを押します。

2 設定する

- [▲] か [▼] を押して項目を選び、[◀] か [▶] を押すか [DISP] ホイールを回して値を設定します。
- 設定値が右側に行くほど強く／濃く／褐色（肌色）になり、左に行くほど弱く／薄く／色白（肌色）になります。
- [MENU] ボタンを押すと設定されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

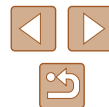
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

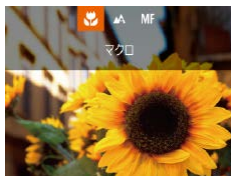


撮影範囲やピント合わせに関する機能を使う

近くの被写体を撮る（マクロ撮影）

▶ 静止画 ▶ 動画

【🌻】に設定すると、近いものだけにピントを合わせます。ピントが合う範囲は「レンズ」(📖180)を参照してください。



- [◀] を押したあと、[▶] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して [🌻] を選び、[📄] を押します。
- 設定されると [🌻] が表示されます。



- ストロボが発光すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。
- ズームバーの下にある黄色のバー表示の範囲は、[🌻] が灰色表示になりピントが合いません。



- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラを固定し、[📷] で撮影することをおすすめします (📖43)。

マニュアルフォーカスで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

オートフォーカスでピントが合わないときは、マニュアルフォーカスを使います。手動でおおよそのピントに合わせてからシャッターボタンを半押しすると、手動で合わせたピント位置の近傍で、もっともピントの合う位置に微調整されます。ピントが合う範囲は「レンズ」(📖180)を参照してください。



1 [MF] を選ぶ

- [◀] を押したあと、[▶] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して [MF] を選び、[📄] を押します。
- [MF] と MF インジケーターが表示されます。



(1)

2 おおよそのピントを合わせる

- MF インジケーター (1) の距離表示とピント位置を示すバーを目安にして、拡大表示を見ながら、[▲] か [▼] を押すか [🔍] ホイールを回しておおよそのピントを合わせ、[📄] を押します。
- [▶] を押すと、拡大倍率を変えることができます。

3 ピントを微調整する

- シャッターボタンを半押しすると、もっともピントが合う位置に微調整されます (セーフティ MF)。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- マニュアルフォーカス中は、AF フレームモード (p.76) は [中央] 固定、AF フレームの大きさ (p.76) は [標準] 固定になります。
- デジタルズーム (p.38)、デジタルテレコンバーター (p.76) を使用しているときは拡大表示されませんが、ピント合わせはできます。



- 正確なピント合わせを行うには、三脚などでカメラを固定することをおすすめします。
- MENU (p.28) で [カメラ] タブの [MF 拡大表示] で拡大倍率をさらに大きくしたり、拡大表示しないようにすることもできます。
- MENU (p.28) で [カメラ] タブの [セーフティ MF] で [切] を選ぶと、シャッターボタンを半押ししてもピントが微調整されなくなります。

■ ピント合わせをしやすい表示にする (MF ピーキング)

▶ 静止画 ▶ 動画

ピントが合った被写体の輪郭を色つきの強調表示にすることで、マニュアルフォーカス時のピント合わせをしやすいことができます。また、輪郭の検出感度 (レベル) や色を変えることもできます。



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[カメラ] タブの [MF ピーキング設定] を選び、[入] を選びます (p.28)。

2 設定する

- 設定するメニュー項目を選び、目的の項目を選びます (p.28)。



- MF ピーキングで表示した色は画像に記録されません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

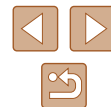
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



デジタルテレコンバーターを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

レンズの焦点距離を 1.6 倍 / 2.0 倍にできます。ズーム操作（デジタルズーム含む）で同じ倍率に拡大したときよりも、シャッタースピードが速くなるため手ブレを軽減できます。



- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [デジタルズーム] を選んだあと、目的の項目を選びます (📖28)。
- 画面が拡大表示されて、倍率が表示されます。



- ズームレバーを [📷] 側に押しきるともっとも望遠側にしたときのシャッタースピードは、「被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）」の手順 2 (📖38) の操作で被写体を同じような大きさに拡大したときのシャッタースピードと同じになることがあります。

AF フレームモードを変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンにあわせて、AF（自動ピント合わせ）フレームモードを変えられます。



- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [AF フレーム] を選び、目的の項目を選びます (📖28)。

■ 中央

▶ 静止画 ▶ 動画

AF フレームが中央 1 点になります。確実なピント合わせに有効です。



- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、黄色の AF フレームと [!] が表示されます。



- AF フレームを小さくしたいときは、[MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [AF フレームサイズ] で [小] を選びます (📖28)。
- デジタルズーム (📖38) やデジタルテレコンバーター (📖76) 使用時、マニュアルフォーカス (📖74) の時は、[標準] に設定されます。
- 被写体が画像の端や隅にくるよう撮影するときは、被写体に AF フレームをあわせてシャッターボタンを半押しし、この状態で構図を変えてシャッターボタンを全押しして撮影します（フォーカスロック撮影）。

■ 顔優先 AiAF

▶ 静止画 ▶ 動画

- 人の顔を検出して、ピント、露出（評価測光時のみ）、色あい（[WB] 時のみ）を合わせます。
- カメラを被写体に向けると、主被写体と判断した顔に白のフレーム、他の顔には最大 2 つの灰色のフレームが表示されます。
- 検出した顔が動いていると判別したときは、一定の範囲で追尾します。
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った顔には緑色のフレーム（最大 9 個）が表示されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- 顔が検出されないときや、白のフレームが表示されず灰色のフレームのみが表示されたときは、シャッターボタンを半押しすると、ピントの合った位置に緑色のフレーム（最大9個）が表示されます。
- サーボ AF (🔍78) が [する] で顔が検出されないときに、シャッターボタンを半押しすると中央にフレームが表示されます。
- 顔として検出できない例
 - 被写体までの距離が遠い、または極端に近い。
 - 被写体が暗い、または明るい。
 - 顔が横や斜めを向いている、または一部が隠れている。
- 人の顔以外を、誤って検出することがあります。
- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、AF フレームは表示されません。



- 被写体が検出されると電子音が鳴り、[🔍] が表示されます（動いていても一定の範囲で追いつけます）。
- 被写体が検出できなくなったときは、[🔍] が表示されます。
- 解除するときは、もう一度 [🔍] を押しします。

3 撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、[🔍] が青色の [🔍] に変わり、被写体を追いつけながら、ピントと露出を合わせ続けます（サーボ AF）(🔍78)。
- シャッターボタンを全押しして撮影します。
- 撮影後も [🔍] が表示され、被写体を追いつけます。

■ ピントを合わせたい被写体を選んで撮る (キャッチ AF)

▶ 静止画 ▶ 動画

ピントを合わせたい被写体を選んで、撮影できます。

1 [キャッチ AF] を選ぶ

- 「AF フレームモードを変える」(🔍76) の操作で [キャッチ AF] を選びます。
- 画面中央に [🔍] が表示されます。



2 ピントを合わせたい被写体を選ぶ

- 被写体に [🔍] が重なるようにカメラを動かして [🔍] を押しします。



- [サーボ AF] (🔍78) は [する] に固定されます。
- 被写体が小さすぎる、動きが速い、被写体と背景との明暗差や色の差が小さいときは、追尾できないことがあります。
- [🔍] は設定できません。



- [🔍] を押さずにシャッターボタンを半押ししても被写体を検出できません。撮影後は、画面中央に [🔍] が表示されます。
- [MF] に設定するとき (🔍74) は、[🔍] を 1 秒以上押しします。
- [個人認証] を [入] にして、登録されている人の顔が検出されたときは、名前は表示されませんが、撮影した静止画には記録されます (🔍44)。ただし、登録されている人を被写体として選んだときは名前が表示されます。

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/ プラスムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
Tv、Av、Mモード
再生モード
無線機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引



サーボ AF で撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを半押ししている間は被写体にピントと露出を合わせ続けるため、動いている被写体のシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。



1 設定する

- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [サーボ AF] を選び、[する] を選びます (📖28)。

2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押ししている間、青色で AF フレームが表示され、ピントと露出を合わせ続けます。



- 撮影シーンによっては、ピントが合わなくなることがあります。
- 暗い場所では、シャッターボタンを半押ししても AF フレームが青色にならないときがあります。そのときは、設定している AF フレームモードでピントと露出を合わせます。
- 適正露出が得られなくなると、シャッタースピードと絞り数値がオレンジ色で表示されます。いったんシャッターボタンから指を放して、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。
- AF ロック撮影はできません。
- セルフタイマー (📖42) 使用時は設定できません。

フォーカス設定を切り換える

▶ 静止画 ▶ 動画

通常は、シャッターボタンを押さなくても、カメラを向けた方向の被写体へ常にピントを合わせますが、シャッターボタンを半押ししたときだけ、ピントを合わせるようにすることができます。



- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [コンティニュアス AF] を選び、[しない] を選びます (📖28)。

する	シャッターボタンを半押しするまで常にピントを合わせ続けるので、とっさのシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。
しない	通常はピント合わせを行わないため、消費電力をおさえることができます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

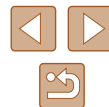
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

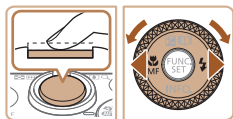
索引



AFロックで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

ピントを固定できます。固定後はシャッターボタンから指を放しても、ピント位置は固定されたままになります。



1 ピントを合わせて固定する

- シャッターボタンを半押ししたまま、[◀] を押します。
- ピントが固定され、[MF] と MF インジケーターが表示されます。
- シャッターボタンから指を放してもう一度 [◀] を押し、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [▲] を選ぶと解除されます。

2 構図を決めて撮影する

ピント合わせしながら連続して撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

ピント合わせをしながら連続撮影できます。連続撮影の速度は「撮影関係」(P181) を参照してください。



1 設定する

- [●] を押し、メニュー項目の [□] を選んだあと、項目の [●] を選びます (P27)。
- 設定されると [●] が表示されます。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。
- 撮影した画像はグループ化されます (P91)。



- [●] モード時 (P58)、マニュアルフォーカス撮影時 (P74)、AFロック撮影時 (P79) は、[●] が [●] になります。
- セルフタイマー (P42) とは一緒に使えません。
- 撮影シーン、カメラの設定、ズーム位置によっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 撮影枚数が増えると、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- ストロボが発光するときは、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- [□] オートモードのとき (P39) は、[●] に設定しても連続撮影できません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

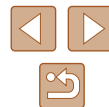
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



ストロボに関する機能を使う

ストロボモードを変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンにあわせて、ストロボモードを変えられます。ストロボ撮影できる範囲は、「ストロボ」(P181)を参照してください。

1 ストロボを上げる

- [Fn] スイッチを動かします。



2 設定する

- [▶] を押したあと、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回してストロボモードを選び、[OK] を押します。
- 設定した項目が表示されます。



- ストロボがカメラに収納されていると、[▶] を押しても設定画面は表示されません。[Fn] スイッチを動かしてストロボを上げて操作してください。

オート

暗いところでは自動的にストロボが光ります。

常時発光

ストロボを常に発光させて撮影できます。

スローシンクロ

人などの主被写体は、ストロボが発光することで明るく撮影され、ストロボの光が届かない背景は、シャッター速度を遅くすることで暗くなるのを軽減することができます。



- [Fn] では、手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (P82)。
- [Fn] では、ストロボが光っても、シャッター音が鳴り終わるまでは主被写体が動かないようにしてください。

発光禁止

ストロボを光らせないで撮影することができます。



- 手ブレしやすい暗い場所でシャッターボタンを半押しすると、画面に [●] が点滅表示されることがあります。そのときはカメラが動かないよう三脚などで固定してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



ストロボの調光量を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボ撮影時の露出を露出補正 (70) と同様に、1/3 段ずつ、- 2 段から + 2 段の範囲で補正できます。



- [] を押して、メニュー項目の [] を選んだあと、[▲] か [▼] を押すか [] ホイールを回して設定します (27)。
- 設定した補正量が表示されます。



- ストロボ発光時に、露出オーバーで適正露出が得られないときは、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変わって白トビを軽減し、適正露出で撮影できます。ただし、MENU (28) の [] タブの [ストロボ設定] で [セーフティFE] を [切] に設定すると、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変わらなくなります。
- ストロボ調光補正は、MENU (28) の [] タブの [ストロボ設定] にある [調光補正] でも設定することができます。
- MENU (28) の [ストロボ設定] 画面は、ストロボを上げているときに [] を押してからすぐに [MENU] ボタンを押すことでも表示できます。

FE ロックで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボ撮影時の露出を、AE ロック撮影 (70) と同様に固定できます。



1 ストロボを上げて、[] にする (80)

2 ストロボ露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押ししたまま、[▲] を押します。
- ストロボが発光し、[] が表示され、ストロボ発光量が記憶されます。
- シャッターボタンから指を放してもう一度 [▲] を押すと、[] が消え解除されます。

3 構図を決めて撮影する

- 1 枚撮影すると、[] が消え解除されます。



- FE は、Flash Exposure (フラッシュエクスポージャー) の略でストロボ露出のことです。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録



索引





撮影スタイルにあわせて機能を変える

圧縮率（画質）を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

圧縮率を2種類から選べます。高画質から順に[]（スーパーファイン）、[]（ファイン）となります。それぞれの圧縮率で1枚のカードに撮影できる枚数については「記録関係」（[書181](#)）を参照してください。

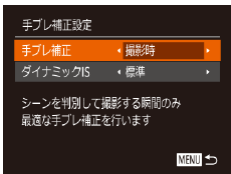


- [] を押して、メニュー項目の [] を選び、目的の項目を選びます（[書27](#)）。

手ブレ補正の設定を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影される瞬間のみ手ブレを補正するように設定できます。



- 「手ブレ補正を使わないようにする」の手順1～2（[書51](#)）の操作で【撮影時】を選びます。



- 手ブレを補正しきれないときは、三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、【切】にすることをおすすめします。
- 動画を撮影するときは、【入】の設定に変わります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

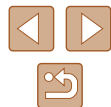
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

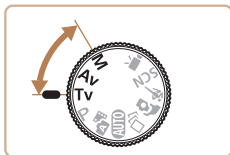
付録

索引



Tv、Av、Mモード

作画を意図したハイレベルな静止画を撮ったり、撮影スタイルにあわせてカメラをカスタマイズする



- それぞれのモードになっていることを前提に説明しています。

シャッタースピードを決めて撮る ([Tv] モード)

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッタースピードを目的の値に設定して撮影できます。設定したシャッタースピードに応じて、カメラが自動的に絞り数値を設定します。設定できるシャッタースピードは「シャッター」(P.180)を参照してください。

1 [Tv] モードにする

- モードダイヤルを [Tv] にします。

2 シャッタースピードを設定する

-  ホイールを回してシャッタースピードを設定します。



- シャッタースピードが遅いときなど撮影条件によっては、撮影後にノイズ低減処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。
- シャッタースピードを遅くしたときに三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (P.82)。
- ストロボ発光時のシャッタースピードの上限は 1/2000 秒です。1/2000 秒より速いシャッタースピードに設定しても、1/2000 秒に自動設定されて撮影されます。
- シャッタースピードが 1.3 秒またはそれより遅いときは、ISO 感度が [80] に固定されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに絞り数値がオレンジ色で表示されるときは、適正露出から外れています。絞り数値が白字で表示されるまで、シャッタースピードを変えます (セーフティシフトも使えます (P.84))。



- [Tv] は、Time value(タイムバリュー)の略で時間量のことで、

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



絞り数値を決めて撮る ([Av] モード)

▶ 静止画 ▶ 動画

絞り数値を目的の値に設定して撮影できます。設定した絞り数値に応じて、カメラが自動的にシャッタースピードを設定します。設定できる絞り数値は「絞り」(P180)を参照してください。

1 [Av] モードにする

- モードダイヤルを [Av] にします。



2 絞り数値を設定する

- ホイールを回して絞り数値を設定します。



- シャッターボタンを半押ししたときにシャッタースピードがオレンジ色で表示されるときは、適正露出から外れています。シャッタースピードが白字で表示されるまで、絞り数値を変えます (セルフティルトも使えます (下記))。



- [Av] は、Aperture value (アパーチャーバリュー) の略でレンズの中に入っている「絞り」の開口量のことです。
- [Tv]、[Av] モードのとき、[MENU] ボタンを押して、[] タブの [セルフティルト] を [入] にする (P28) と、適正露出が得られないときでも、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変更されて、適正露出で撮影できます。ただし、ストロボ発光時は機能しません。

シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る ([M] モード)

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッタースピードと絞り数値を個別に設定して、目的の露出で撮影できます。

設定できるシャッタースピードは「シャッター」(P180)、絞り数値は「絞り」(P180)を参照してください。

1 [M] モードにする

- モードダイヤルを [M] にします。

2 設定する

- [▲] を押して、シャッタースピード (1) または絞り数値 (2) を選び、[] ホイールを回して設定します。
- 設定した値に連動して、露出レベルマーク (4) が移動し、適正露出 (3) からの差が確認できます。
- 適正露出から ± 2 段を超えると、露出レベルマークはオレンジ色で表示されます。



(1) (2)

(3)

(4)

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- 設定後にズーム操作をしたり構図を変えると、露出レベルマークが移動することがあります。
- シャッタースピードと絞り数値の設定により、画面の明るさが変わります。ただし、ストロボを上げてストロボモードを [M] にすると画面の明るさは変わりません。
- シャッターボタンを半押ししながら [▲] を押すと、シャッタースピードまたは絞り数値のうち手順2で選んでいない方が自動設定されて適正露出になります（設定によっては適正露出にならないことがあります）。
- シャッタースピードが 1.3 秒またはそれより遅いときは、ISO 感度が [80] に固定されます。
- [M] モードでは、[□] オートモードは使用できません。



- [M] は、Manual（マニュアル）の略です。
- 適正露出は設定している測光方式（M70）で算出されます。

ストロボ発光量を設定する

▶ 静止画 ▶ 動画

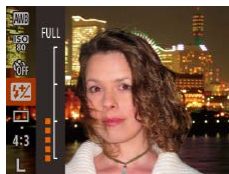
[M] モードでは、ストロボの発光量を 3 段階から選べます。

1 [M] モードにする

- モードダイヤルを [M] にします。

2 設定する

- [☉] を押して、メニュー項目の [27] を選んだあと、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して設定します（M27）。
- 設定されると発光量が表示されます。
[27] : 小、[27] : 中、[27] : 大



- ストロボ発光量は、MENU（M28）の [📷] タブの [ストロボ設定] にある [発光量] でも設定することができます。
- [Tv] モードや [Av] モードでも、MENU（M28）の [📷] タブの [ストロボ設定] で [発光モード] を [マニュアル] に設定するとストロボ発光量が設定できます。
- MENU（M28）の [ストロボ設定] 画面は、ストロボを上げているときに [▶] を押してからすぐに [MENU] ボタンを押すことでも表示できます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



再生モード

撮った画像を見て楽しんだり、いろいろな機能を使って画像の検索や編集をする

- [▶] ボタンを押して、再生モードにしてから操作してください。

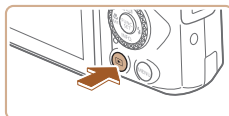


- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、再生や編集ができないことがあります。

見る

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像を画面で見ることができます。



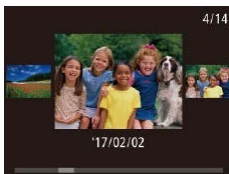
1 再生モードにする

- [▶] ボタンを押します。
- 最後に撮影した画像が表示されます。



2 画像を選ぶ

- [◀] を押すか [●] ホイールを反時計方向に回すと前の画像が表示され、[▶] を押すか [●] ホイールを時計方向に回すと次の画像が表示されます。
- [◀] か [▶] を押したままにすると、画像が速く切り換わります。
- [●] ホイールを速く回すとこの画面が表示されます (スクロール再生)。この状態で [●] ホイールを回して画像を選びます。
- [⊞] を押すと 1 枚表示に戻ります。
- スクロール再生中に [▲] か [▼] を押すと、日付ごとにジャンプして画像を探せます。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

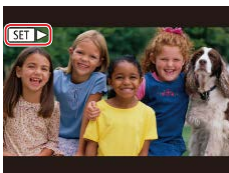
設定メニュー

アクセサリ

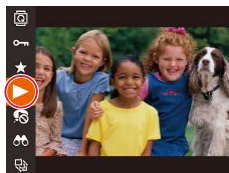
付録

索引





- 動画では、[SET▶] が表示されます。動画を再生するときは手順 3 に進みます。



3 動画を再生する

- [⏏] を押したあと、[▲] か [▼] を押すか [⏪] ホイールを回して [▶] を選び、もう一度 [⏏] を押すと再生がはじまります。



4 音量を調整する

- [▲] か [▼] を押して調節します。
- 音量バー (1) が消えても、[▲] か [▼] を押して調節することができます。

5 一時停止する

- [⏏] を押すたびに、一時停止/再開できます。
- 再生が終わると [SET▶] が表示されます。

(1)



- 再生モードの状態ではシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。
- スクロール再生を使わないようにするには、MENU (📖28) で [▶] タブの [スクロール再生] を選び、[切] を選びます。
- 再生モードにしたときに表示される画像を最新の撮影画像からにしたときは、MENU (📖28) で [▶] タブの [再生開始位置] を選び、[最新の画像] を選びます。
- 画像を切り換えたときの効果を変えるには、MENU (📖28) で [▶] タブの [画像切り換え効果] を選び、目的の効果を選びます。

表示を切り換える

▶ 静止画 ▶ 動画

画面表示は、[▼] を押して切り換えます。画面に表示される情報の詳細については、「再生時 (詳細情報表示)」(📖170) を参照してください。

	情報表示なし
	簡易情報表示
	詳細情報表示
	GPS 情報表示

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



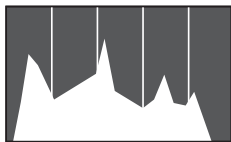
■ 高輝度（ハイライト）警告

▶ 静止画 ▶ 動画

「詳細情報表示」(87) にすると、画像上の白トビした部分が点滅表示されます。

■ ヒストグラム

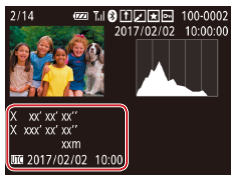
▶ 静止画 ▶ 動画



- 「詳細情報表示」(87) のグラフは、画像中の明るさの分布を示したヒストグラムというグラフです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの量を示していて、露出の傾向を確認できます。

■ GPS 情報表示

▶ 静止画 ▶ 動画



- 撮影する静止画や動画に、Bluetooth に対応しているスマートフォンの GPS 情報（緯度 / 経度 / 標高など）を記録することができます (135)。「GPS 情報表示」は、この記録した情報を確認できます。
- 表示内容は上から順に緯度、経度、標高、[UTC]（撮影日時）です。



- GPS 情報が記録されていない画像では、「GPS 情報表示」は表示できません。
- お使いのスマートフォンにない項目や正しく記録できなかった項目の数値には「--」が表示されます。

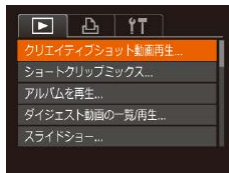


- [UTC] は Coordinated Universal Time の略で、協定世界時であるグリニッジ標準時とほぼ同じ日時です。

クリエイティブショットモードで記録した短編動画（クリエイティブショット動画）を見る

▶ 静止画 ▶ 動画

[] モード (55) で記録したクリエイティブショット動画を選んで見ることができます。



1 再生する動画を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[] タブの [クリエイティブショット動画再生] を選びます (28)。



2 再生する

- 動画を選んで [] を押すと、動画が再生されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



静止画を撮影したときに作成された短編動画（ダイジェスト動画）を見る

▶ 静止画 ▶ 動画

[MENU] モード (P.34) で静止画を撮影した日に作成されたダイジェスト動画を見ることができます。



1 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [RECALL] ホイールを回して [SET] が表示された静止画を選びます。



2 ダイジェスト動画を再生する

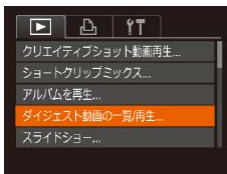
- [MENU] を押して、メニュー項目の [MENU] を選びます (P.27)。
- 静止画を撮影した日に作成されたダイジェスト動画が先頭から再生されます。



- 情報表示なし (P.87) にしているときは、一定時間で [SET] が消えます。

日付ごとに選んで見る

ダイジェスト動画を、日付で選んで見ることができます。



1 再生する動画を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [ダイジェスト動画の一覧 / 再生] を選び、目的の日付を選びます (P.28)。

2 再生する

- [▶] を押すと、動画が再生されます。

個人認証機能で検出された人を確認する

▶ 静止画 ▶ 動画

簡易情報表示 (P.87) にすると、個人認証機能 (P.44) に登録している人として検出された最大5人までの名前が表示されます。



- [▼] を何回か押して簡易情報表示にしたあと、[◀] か [▶] を押すか [RECALL] ホイールを回して画像を選びます。
- 検出された人に名前が表示されます。



- 個人認証機能で撮影した画像に名前を表示させたくないときは、MENU (P.28) で [▶] タブの [認証情報] から [名前表示] を選び、[切] を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

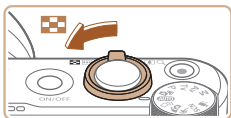


画像を探したり、特定の画像だけを見る

一覧表示（インデックス表示）で画像を探す

▶ 静止画 ▶ 動画

複数の画像を一覧で表示して、目的の画像を素早く探せます。



1 一覧表示にする

- ズームレバーを [] 側に押すと一覧表示になり、さらに押すと表示される画像の数が増えます。
- ズームレバーを [Q] 側に押すごとに、表示される画像の数が減ります。



2 画像を選ぶ

- [] ホイールを回して表示画像を切り換えます。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して画像を選びます。
- 選ばれている画像にはオレンジ色の枠が表示されます。
- [] を押すと選ばれている画像が1枚表示になります。



- [▲] か [▼] を押したままにするか [] ホイールを速く回すと、奥行きのある表示になりますが、MENU () で [] タブの「一覧表示の効果を」を「切」にすると、この効果をつけずに表示することができます。

指定した条件で画像を探す

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内に多くの画像があるときは、指定した条件で画像を検索して、目的の画像を素早く探せます。また、検索した画像だけをまとめて保護したり ()、消したり () することもできます。

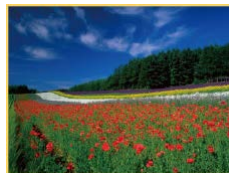
名前	登録した人の画像 () を表示
人物	顔が検出された画像を表示
日付	指定した撮影日の画像を表示
★ お気に入り	お気に入り設定した画像 () を表示
静止画/動画	静止画、動画、[] モード () で作成された動画のいずれかを表示

1 検索条件を選ぶ

- [] を押して、メニュー項目の [] を選び、条件を選びます ()。
- [] [] [] を選んだときは、表示された画面で [▲] [▼] [◀] [▶] を押して条件を選び、[] を押します。

2 検索した画像を見る

- 検索した画像が黄色の枠つきで表示され、[◀] か [▶] を押すか [] ホイールを回すと検索した画像だけを見ることができます。
- 検索した画像の表示を解除するときは、手順 1 の操作で [] を選びます。



- 目的の条件と一致する画像がないときは、条件を選ぶことはできません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- 手順2で[▼]を押すと、情報の非表示/表示を切り換えられます。
- 検索した画像を表示しているとき(手順2)は、「一覧表示(インデックス表示)で画像を探す」(㉒90)、「拡大して見る」(㉒93)、「スライドショーで見る」(㉒93)などの操作で画像を見ることもできます。また、「保護する」(㉒95)で「検索した全画像を保護」、「まとめて消す」(㉒97)、「印刷指定(DPOF)」(㉒160)、「フォトブック指定」(㉒162)で「検索したすべての画像を指定」を選ぶと、検索した画像だけをまとめて操作することができます。
- 画像を編集して新規保存(㉒101～㉒105)などを行うとメッセージが表示されて、検索した画像の表示が解除されます。

グループ化された画像を1枚ずつ見る

▶ 静止画 ▶ 動画

連続撮影(㉒43、㉒58、㉒79)された画像、[📷]モード(㉒55)で撮影された画像はグループ化されて表示されますが、グループ内の画像を1枚ずつ見ることもできます。



1 グループ化された画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [SET] が表示された画像を選びます。



2 [📷] を選ぶ

- [🌀] を押して、メニュー項目の [📷] を選びます(㉒27)。



3 グループ内の画像を1枚ずつ見る

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回すとグループ内の画像のみが表示されます。
- [🌀] を押して、メニュー項目の [📷] を選び、もう一度 [🌀] を押すとグループ再生が解除されます(㉒27)。



- グループ再生の状態(手順3)で「一覧表示(インデックス表示)で画像を探す」(㉒90)ことや、「拡大して見る」(㉒93)ことができます。また、「保護する」(㉒95)で「グループ内の全画像を保護」、「まとめて消す」(㉒97)で「グループ内の全画像」、印刷指定(DPOF)(㉒160)で「グループ内の全画像を指定」、「フォトブック指定」(㉒162)で「グループ内の全画像を指定」を選ぶと、グループ内のすべての画像をまとめて操作することができます。
- グループ化を解除して、1枚ずつの画像として表示したいときは、MENU(㉒28)で [📷] タブの [グループ表示] を選び、[切] を選びます。ただし、グループ化された画像を1枚ずつ見ているときは、グループ化を解除できません。
- [📷] モードで「多彩な写真を撮る」の手順2(㉒55)のような並びで表示されるのは、撮影直後だけです。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

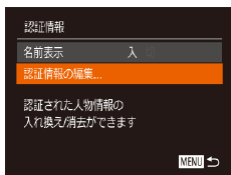


個人認証情報を編集する

再生時に画面に表示された名前が誤っているときは、正しい名前に入れ換えたり、消したりすることもできます。

ただし、検出されず名前が表示されなかった人や名前を消した人に、あとから名前を付けることはできません。

名前を入れ換える



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの「認証情報」を選びます (書28)。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して「認証情報の編集」を選び、[●] を押します。



2 画像を選ぶ

- 「個人認証機能で検出された人を確認する」(書89) の操作で画像を選び、[●] を押します。
- 選択された顔にオレンジ色の枠が表示されるので、複数の名前が表示されているときは、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して入れ換えたい顔を選び、[●] を押します。



3 編集内容を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して「入れ換え」を選び、[●] を押します。

4 入れ換える人の名前を選ぶ

- 「顔情報を入れ換え／追加する」の手順2 (書47) の操作で入れ換える人の名前を選びます。

名前を消す

- 「名前を入れ換える」の手順3 (書92) で表示された画面で「消去」を選び、[●] を押します。
- 「消去しますか？」が表示されたら、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して「OK」を選び、[●] を押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

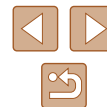
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

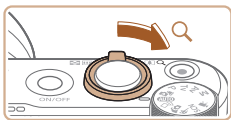
索引



いろいろな方法で画像を見る

拡大して見る

▶ 静止画 ▶ 動画



(1)

1 拡大する

- ズームレバーを [Q] 側に押しと拡大表示になり、押したままにすると最大約 10 倍まで拡大できます。
- 画面には表示位置の目安 (1) が表示されます。
- ズームレバーを [R] 側に押しと縮小表示になり、押したままにすると 1 枚表示に戻ります。

2 表示位置を移動したり、画像を切り換える

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押しと、表示位置が移動します。
- [●] ホイールを回すと拡大したまま画像を切り換えられます。



- 拡大表示のときに [MENU] ボタンを押しと、1 枚表示に戻すことができます。

スライドショーで見る

▶ 静止画 ▶ 動画

カードに記録されている画像を自動的に再生します。画像 1 枚あたりの表示時間は約 3 秒です。



- [●] を押し、メニュー項目の [◀] を選び、目的の項目を選びます (書27)。
- [画像読み込み中] が数秒間表示されたあと、スライドショーがはじまります。
- [MENU] ボタンを押しと終わります。



- スライドショー中に節電機能 (書25) は働きません。



- 再生中に [●] を押しと一時停止/再開ができます。
- 再生中に [◀] か [▶] を押しか [●] ホイールを回すと画像を切り換えられ、[◀] か [▶] を押ししたままにすると早送りできます。
- 検索 (書90) しているときは、対象の画像のみが再生されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



設定を変える

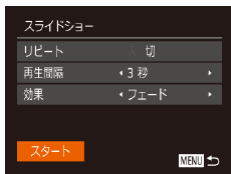
スライドショーの繰り返しや再生画像 1 枚あたりの表示時間、切り換わる時の効果（再生効果）を変えられます。

1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[] タブの [スライドショー] を選びます (28)。

2 設定する

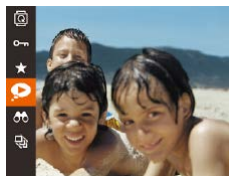
- 設定するメニュー項目を選び、目的の項目を選びます (28)。
- [スタート] を選んで [] を押すと、設定した内容でスライドショーがはじまります。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



いろいろな画像を表示する（連想再生）

▶ 静止画 ▶ 動画

表示している画像をもとに、4 つの画像をカメラが選んで表示します。その中から 1 つ選ぶとさらに 4 つの画像が表示されるので、思いがけない順番の再生が楽しめます。いろいろなシーンの画像をたくさん撮ったあとなどにおすすめです。

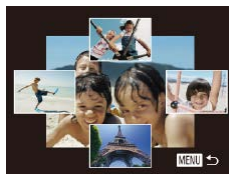


1 連想再生にする

- [] を押して、メニュー項目の [] を選びます (27)。
- 4 枚の画像が候補として表示されます。

2 画像を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して次に見たい画像を選びます。
- 選んだ画像が画面中央に表示され、次の 4 枚の候補が表示されます。
- [] を押すと画面中央の画像が画面いっぱいに表示されます。もう一度 [] を押すともとの表示に戻ります。
- [MENU] ボタンを押すと 1 枚表示に戻ります。



- 次のときは連想再生を使えません。
 - このカメラで撮影した静止画が 50 枚に満たないとき
 - 対象の画像以外を表示しているとき
 - 検索した画像を表示しているとき (90)
 - グループ再生しているとき (91)

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

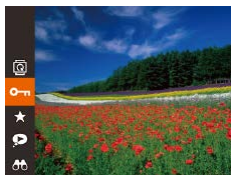
索引



保護する

▶ 静止画 ▶ 動画

大切な画像をカメラの消去機能 (97) で誤って消さないよう、保護することができます。



- [MENU] を押して、メニュー項目の [O-m] を選ぶ (27) と、[保護しました] が表示されます。
- 解除するときは、上記の操作でもう一度 [O-m] を選び、[MENU] を押します。

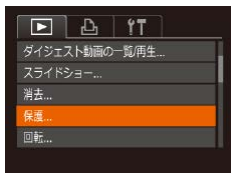


- カードを初期化 (145) すると、保護された画像も消えます。



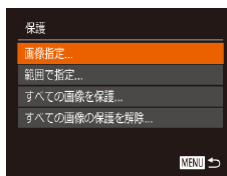
- 保護された画像は、カメラの消去機能では消えません。画像を消すときは、保護を解除してください。

メニューから操作する



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [保護] を選びます (28) 。



1 枚ずつ指定する



- 手順 3 の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、保護されません。

2 指定方法を選ぶ

- 目的の項目を選びます (28) 。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

1 [画像指定] を選ぶ

- 「メニューから操作する」の手順 2 (95) の操作で [画像指定] を選び、[MENU] を押します。

2 画像を選び指定する

- [◀] か [▶] を押すか [MENU] ホイールを回して画像を選び、[MENU] を押すと [O-m] が表示されます。
- もう一度 [MENU] を押すと [O-m] が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。

3 保護する

- [MENU] ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- [◀] か [▶] を押すか [MENU] ホイールを回して [OK] を選び、[MENU] を押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



範囲で指定する

1 [範囲で指定] を選ぶ

- 「メニューから操作する」の手順2 (95) の操作で [範囲で指定] を選び、[OK] を押します。



2 始点の画像を指定する

- [OK] を押します。



- [◀] か [▶] を押すか [OK] ホイールを回して画像を選び、[OK] を押します。

3 終点の画像を指定する

- [▶] を押して [終点選択] にし、[OK] を押します。



- [◀] か [▶] を押すか [OK] ホイールを回して画像を選び、[OK] を押します。
- 始点より前の画像は選べません。



4 保護する

- [▼] を押して [保護] を選び、[OK] を押します。



- 手順2、3の上側の画面では、[OK] ホイールを回して、始点、終点の画像を選ぶこともできます。
- 手順4で [解除] を選ぶと、選んだ画像の保護をまとめて解除することができます。

すべての画像を保護する

1 [すべての画像を保護] を選ぶ

- 「メニューから操作する」の手順2 (95) の操作で [すべての画像を保護] を選び、[OK] を押します。



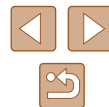
2 保護する

- [◀] か [▶] を押すか [OK] ホイールを回して [OK] を選び、[OK] を押します。

すべての画像の保護を解除する

すべての画像の保護をまとめて解除することができます。解除するときは、「すべての画像を保護する」の手順1の操作で [すべての画像の保護を解除] を選び、手順2の操作を行います。

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/ プラスムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
Tv、Av、Mモード
再生モード
無線機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引



消す

▶ 静止画 ▶ 動画

不要な画像を1枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻せないのので十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像(🔒95)は消えません。

1 消したい画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して画像を選びます。



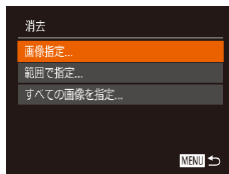
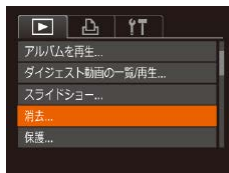
2 消す

- [⏪] ボタンを押します。
- [消去しますか?] が表示されたら、[◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して [消去] を選び、[🔍] を押します。
- 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、[◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して [キャンセル] を選び、[🔍] を押します。

まとめて消す

画像を選んでまとめて消すことができます。消した画像はもとに戻せないのので十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像(🔒95)は消えません。

指定方法を選ぶ



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [消去] を選びます (🔖28)。

2 指定方法を選ぶ

- 目的の項目を選びます (🔖28)。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

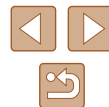
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



1 枚ずつ指定する

1 「画像指定」を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順2 (📖97)の操作で「画像指定」を選び、[OK]を押します。

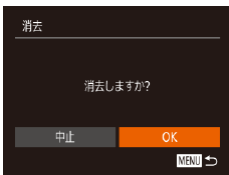


2 画像を選ぶ

- 「1 枚ずつ指定する」の手順2 (📖95)の操作で画像を選ぶと、[✓]が表示されます。
- もう一度 [OK] を押すと [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。

3 消す

- [MENU] ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- [◀] か [▶] を押すか [OK] ホイールを回して [OK] を選び、[OK] を押します。



範囲で指定する

1 「範囲で指定」を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順2 (📖97)の操作で「範囲で指定」を選び、[OK]を押します。

2 画像を指定する

- 「範囲で指定する」の手順2～3 (📖96)の操作で指定します。

3 消す

- [▼] を押して [消去] を選び、[OK] を押します。



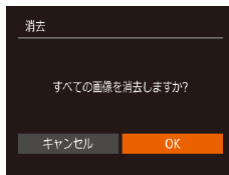
すべての画像を指定する

1 「すべての画像を指定」を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順2 (📖97)の操作で「すべての画像を指定」を選び、[OK]を押します。

2 消す

- [◀] か [▶] を押すか [OK] ホイールを回して [OK] を選び、[OK] を押します。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

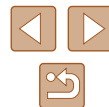
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

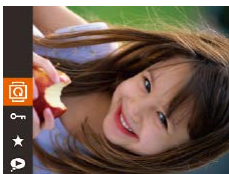
索引



回転する

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の向きを変えて保存することができます。



1 [回転] を選ぶ

- [MENU] を押して、メニュー項目の [回転] を選びます (P.27)。



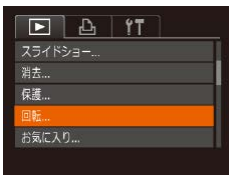
2 回転する

- [◀] か [▶] を押すと指定した方向に90度単位で回転し、[OK] を押すと設定されます。



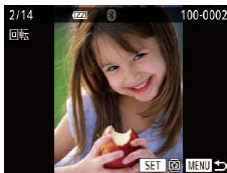
- [縦横自動回転] が [切] のときは回転できません (P.99)。

メニューから操作する



1 [回転] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [回転] を選びます (P.28)。



2 回転する

- [◀] か [▶] を押すか [回転] ホイールを回して画像を選びます。
- [MENU] を押すたびに90度単位で回転します。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

自動回転機能を切る

カメラの向きに応じて画像を自動回転する機能を使わないようにすることができます。



- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [縦横自動回転] を選び、項目の [切] を選びます (P.28)。



- [切] にすると、画像の回転 (P.99) はできません。また、すでに回転させていた画像も、もとの向きで表示されます。
- 連想再生 (P.94) では、[切] に設定しても、縦位置で撮影された画像は縦位置で、撮影後に回転させた画像は回転した状態で表示されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

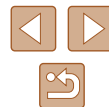
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

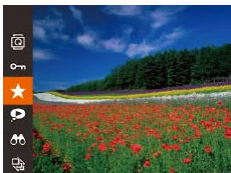


お気に入り設定をする

▶ 静止画 ▶ 動画

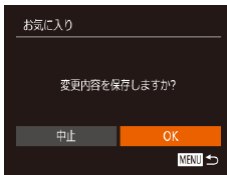
お気に入りを設定して、撮影した画像を分類できます。設定した画像だけを検索して、次の操作をすることができます。

- 「見る」(P86)、「スライドショーで見る」(P93)、「保護する」(P95)、「消す」(P97)、「印刷指定 (DPOF)」(P160)、「フォトブック指定」(P162)



- [MENU] を押して、メニュー項目の [★] を選びます (P27)。
- [お気に入り指定しました] が表示されます。
- 解除するときは、上記の操作でもう一度 [★] を選び、[MENU] を押します。

メニューから操作する



1 [お気に入り] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [お気に入り] を選びます (P28)。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [DISP] ホイールを回して画像を選び、[MENU] を押すと [★] が表示されます。
- もう一度 [MENU] を押すと [★] が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。

3 設定する

- [MENU] ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- [◀] か [▶] を押すか [DISP] ホイールを回して [OK] を選び、[MENU] を押します。



- 手順3の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、お気に入りが設定されません。



- お気に入りに設定した画像は、アルバム (P107) を作成するときに抽出されやすくなります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

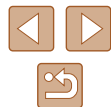
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



静止画を編集する

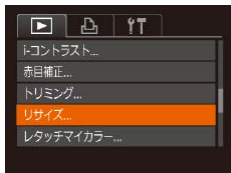


- 静止画の編集機能 (📖101 ~ 📖103) は、カードに空き容量がないと使えません。

画像を小さくする (リサイズ)

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像を小さな記録画素数にして、別画像として保存できます。



1 [リサイズ] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [リサイズ] を選びます (📖28)。

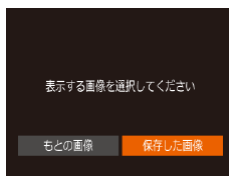
2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して画像を選び、[📁] を押します。



3 大きさを選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して大きさを選び、[📁] を押します。
- [新規保存しますか?] が表示されます。



4 新規保存する

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [OK] を選び、[📁] を押します。
- 別画像として保存されます。

5 画像を確認する

- [MENU] ボタンを押します。
- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [保存した画像] を選び、[📁] を押します。
- 保存した画像が表示されます。



- 記録画素数 (📖49) が [S] の画像は、編集できません。



- 撮影した画像の記録画素数よりも大きくはできません。
- 手順5で [もとの画像] を選ぶと、もとの画像が表示されます。

画像を切り抜く (トリミング)

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像の必要な部分を切り抜き、別画像として保存できます。



1 [トリミング] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [トリミング] を選びます (📖28)。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

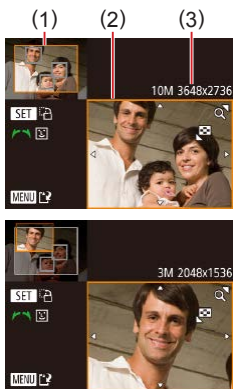
付録

索引



2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して画像を選び、[📁] を押します。



3 切り抜く範囲を調整する

- 画像を切り抜く範囲 (1) が枠で表示されます。
- 左上にもと画像、右下に切り抜き後の画像 (2) が表示されます。また、切り抜き後の記録画素数 (3) も確認できます。
- ズームレバーを動かすと枠の大きさが変わられます。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すと枠の位置が移動できます。
- [📁] を押すと枠の縦横が変わられます。
- 顔が検出された画像では、左上の画面の顔の位置に灰色の枠が表示されます。[🔍] ホイールを回すと別の枠に切り換わり、枠を中心にトリミングできます。
- [MENU] ボタンを押します。

4 新規保存して画像を確認する

- 「画像を小さくする (リサイズ)」の手順 4～5 (📖 101) の操作を行います。



- 記録画素数が [S] の画像 (📖 49) や、リサイズした [S] の画像 (📖 101) は、編集できません。



- トリミングできる画像の縦横比率は編集前と同じです。
- トリミングした画像の記録画素数は、トリミング前の画像より小さくなります。
- 個人認証機能 (📖 44) で撮影した静止画をトリミングしたときは、トリミング後に表示されている人の名前だけが残ります。

画像の色調を変える (レタッチマイカラー)

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の色調を変え、別画像として保存できます。各項目の内容は「画像の色調を変える (マイカラー)」(📖 73) を参照してください。



1 「レタッチマイカラー」を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [レタッチマイカラー] を選びます (📖 28)。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して画像を選び、[📁] を押します。

3 項目を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して項目を選び、[📁] を押します。



4 新規保存して画像を確認する

- 「画像を小さくする (リサイズ)」の手順 4～5 (📖 101) の操作を行います。



- 同じ画像に対して色調を繰り返し変えると、画質が徐々に低下したり、思いどおりの色にならないことがあります。



- 撮影時のマイカラー (📖 73) と色調が若干異なることがあります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

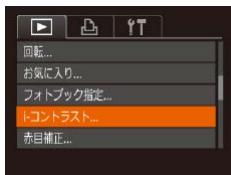
索引



明るさを補正する (i-コントラスト)

▶ 静止画 ▶ 動画

人の顔や背景など、一部が暗く撮影された画像は、その部分を検出し、最適な明るさに自動補正します。また、画像全体で明暗差が小さい画像は、くっきりした印象となるように自動補正します。補正方法は4種類から選べ、別画像として保存できます。



1 [i-コントラスト] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [i-コントラスト] を選びます (📖28)。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して画像を選び、[📄] を押します。

3 項目を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して項目を選び、[📄] を押します。

4 新規保存して画像を確認する

- 「画像を小さくする (リサイズ)」の手順4～5 (📖101) の操作を行います。



- 画像によっては、画像が粗くなったり、正しく補正されないことがあります。
- 同じ画像に対して補正を繰り返すと、画像が粗くなる場合があります。

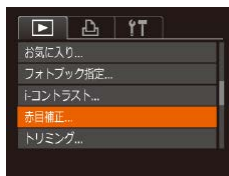


- [オート] で思いどおりに補正されないときは、[弱] [中] [強] のいずれかを選んで補正します。

赤目を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正して、別画像として保存できます。



1 [赤目補正] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [赤目補正] を選びます (📖28)。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して画像を選びます。

3 補正する

- [📄] を押します。
- 検出された赤目部分が補正され、補正した部分に枠が表示されます。
- 「拡大して見る」(📖93) の操作で画像を拡大/縮小できます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





4 新規保存して画像を確認する

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [新規保存] を選び、[●] を押します。
- 別画像として保存されます。
- 「画像を小さくする (リサイズ)」の手順 5 (101) の操作を行います。

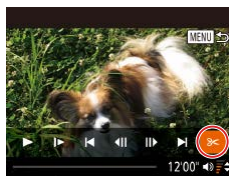


- 画像によっては、正しく補正されないことがあります。
- 手順 4 で [上書き保存] を選んだときは、補正内容で上書きされるため、補正前の画像は残りません。
- 保護されている画像は上書き保存できません。

動画を編集する

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した動画の前後を削除できます (ダイジェスト動画 (134) を除く)。



1 [X] を選ぶ

- 「見る」の手順 1 ~ 5 (86) の操作で [X] を選び、[●] を押します。
- 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。



(2)

2 編集範囲を指定する

- (1) は動画編集パネル、(2) は動画編集バーです。
- [▲] か [▼] を押して [X] または [Y] を選びます。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [■] を動かすと、編集できるところで [X] が表示されます。[X] を選ぶと [X] 位置より前部、[Y] を選ぶと後部が削除されます。
- [■] を [X] 以外の位置に指定しても、[X] では 1 つ左側の [X] 位置よりも前部、[Y] では 1 つ右側の [X] 位置よりも後部が削除されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



3 編集した動画を確認する

- [▲]か[▼]を押して[▶]を選び、[⏻]を押すと、編集した動画が再生されます。
- もう一度編集するときは手順2の操作を行います。
- 編集を中止するときは、[MENU] ボタンを押したあと、[◀]か[▶]を押すか[⌂] ホイールを回して [OK] を選び、[⏻] を押します。



4 編集した動画を保存する

- [▲]か[▼]を押して[▶]を選び、[⏻]を押します。
- [▲][▼][◀][▶]を押すか[⌂]ホイールを回して[新規保存]を選び、[⏻]を押します。
- [圧縮せず新規保存]を選び、[⏻]を押します。
- 別動画として保存されます。



- 手順4で[上書き保存]を選んだときは、編集内容が上書きされるため、編集前の動画は残りません。
- カードの空き容量が足りないときは、[上書き保存]しか選べません。
- 動画の保存中にバッテリーがなくなると、保存できないことがあります。
- 編集するときは、フル充電されたバッテリーを使うことをおすすめします。

ファイルサイズを小さくする

動画を圧縮して保存することで、ファイルサイズを小さくできます。



- 「動画を編集する」の手順2の画面で[▶]を選んだあと[新規保存]を選び、[⏻]を押します。
- [圧縮して新規保存]を選び、[⏻]を押します。



- 圧縮した動画は、[HD 60P]で保存されます。
- [VGA 60P]の動画は、圧縮できません。
- 編集した動画を保存するときに[上書き保存]を選ぶと、圧縮できません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



短編動画を編集する

▶ 静止画 ▶ 動画

[🔍] モードや [📷] モードで作成されたチャプター (📖34、📖56) を1つずつ選んで消すことができます。消したチャプターはもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。

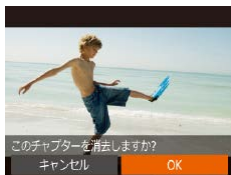


1 チャプターを選ぶ

- 「クリエイティブショットモードで記録した短編動画 (クリエイティブショット動画) を見る」の手順1～2 (📖88) の操作、または「静止画を撮影したときに作成された短編動画 (ダイジェスト動画) を見る」の手順1～2 (📖89) の操作で短編動画を再生し、[🔍] を押して動画操作パネルを表示します。
- [◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して [◀] か [▶] を選び、[🔍] を押してチャプターを選びます。

2 [🔍] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して [🔍] を選び、[🔍] を押します。
- 選んだチャプターが繰り返し再生されます。



3 確認して消す

- [◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して [OK] を選び、[🔍] を押します。
- チャプターが消去され、上書き保存されます。



- BGMをつけたアルバム (📖108) は編集できません。
- プリンターとつないだときは、チャプターを選んでも [🔍] は表示されません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

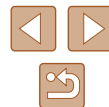
無線機能

設定メニュー

アクセサリー

付録

索引



アルバムを見る(ストーリーハイライト)

▶ 静止画 ▶ 動画

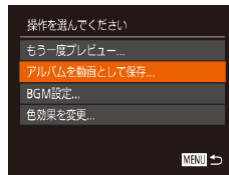
日付や人物の名前などの条件を選ぶとカメラが条件にあった画像を自動で抽出し、それらをスライドショーのようにつなぎあわせたアルバムにして、2～3分程度の短編動画として保存できます。

なお、バッテリーはフル充電してからお使いください。また、アルバムの作成にはカードの空き容量が必要となるため、目安として16GB以上のカードを使用し、1GB以上の空き容量を残してください。

■ アルバムを作成するときに選べる抽出条件

[▲] を押してホーム画面を表示すると、カメラに抽出させる画像の条件を選ぶことができます。なお、お気に入りに設定 (📖 100) した画像は、抽出されやすくなります。

日付	ある1日に撮った画像の中から抽出して、アルバムにします。ホーム画面を表示する前に選んだ1枚の静止画と同じ撮影日に撮った画像から抽出します。
人物の名前	こどものアルバムを毎月作って成長記録とするなど、月ごとの記録としてアルバムにまとめることができます。個人認証登録をしてから撮影した画像が対象になります。ホーム画面を表示する前に選んだ1枚の静止画に含まれる人物を中心とした、同じ撮影月に撮った画像から抽出します。
イベント	旅行やパーティーのアルバムを作りたいときにおすすめです。ホーム画面を表示する前に選んだ1枚の静止画の撮影日直後のイベントに含まれる画像から抽出します。
カスタム	指定した画像や日付、個人認証登録された人物に関連する画像から抽出します。



1 画像を選ぶ

- 画像を選び、1枚表示にします。
- 画像の撮影日時や人物情報によって、手順3で選べる抽出条件が変わります。

2 ホーム画面を表示する

- [▲] を押します。
- [処理中] が表示されたあと、ホーム画面が表示されます。

3 プレビュー再生する

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [日付]、[人物の名前]、[イベント] から抽出条件を選び、[📖] を押します。
- [読み込み中] が数秒間表示されたあと、アルバムがプレビュー再生されます。

4 アルバムを保存する

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して [アルバムを動画として保存] を選び、[📖] を押します。
- 保存が完了すると、[保存しました] が表示されます。

5 再生する (📖 86)

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- アルバムの対象となるのはこのカメラで撮影した次の画像です。
 - 静止画
 - ダイジェスト動画 (134)
 - 再生時間が2秒以上のショートクリップ動画 (167) とクリエイティブショット動画 (156) (圧縮した動画は除く)



- カード残量が足りないときは、アルバムを保存できません。
- プレビュー再生中に、[▶] を押すと次のチャプターへジャンプし、[◀] を押すと前のチャプターへジャンプします。
- 手順4の操作で「色効果を変更」を選んでから [⊕] を押すと、色効果を選べます。[◀] か [▶] を押して色効果を選び [⊕] を押したあと、手順4の画面で「もう一度プレビュー」を選ぶと、選んだ色効果でアルバムがプレビュー再生されます。
- 保存したアルバムは、ストーリーハイライトのホーム画面で「アルバム一覧」を選び、[⊕] を押したあと、アルバム一覧画面からアルバムを選び、[⊕] を押して再生することができます。

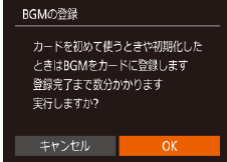
アルバムにBGMをつける

▶ 静止画 ▶ 動画

アルバムを再生したときに流れるBGMを、7種類から選ぶことができます。

1 BGMをカードに登録する

- 「アルバムを見る (ストーリーハイライト)」 (107) の手順1～4の操作で「BGM設定」を選び、[⊕] を押します。
- 初めて使うカードや初期化したときは、左の画面が表示されるので、[OK] を選び、[⊕] を押すと約4分で7種類のBGMがカードに登録されます。
- BGMに登録したカードをお使いのときは、手順2から操作してください。



2 アルバムを作成する

- 「アルバムを見る (ストーリーハイライト)」 (107) の手順1～3の操作でアルバムを作成します。



3 BGMを設定する

- 目的の項目を選び [⊕] を押したあと、内容を選びます (28)。

4 保存する

- 「アルバムを見る (ストーリーハイライト)」 (107) の手順4の操作で保存します。



- 一度保存したアルバムに、あとからBGMをつけることはできません。また、アルバムに登録したBGMは、消したり変えることはできません。
- BGMをつけたアルバムは、チャプター編集できません (106)。



- BGMをつけないときは、手順3の画面で「BGMの使用」を [しない] にしてください。
- 動画の音声を入れずにBGMのみにするときは、手順3の画面で「音の選択」を「BGMのみ」にします。
- 手順3の画面で「BGMの試聴」を選んで [⊕] を押すと、「選曲」で選んだBGMを試聴することができます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

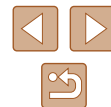
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



自分好みのアルバムを作る

▶ 静止画 ▶ 動画

自分で画像を選んでアルバムを作ることができます。

1 カスタムを選ぶ

- 「アルバムを見る（ストーリーハイライト）」（107）の手順 1～3 の操作で [カスタム] を選び、 を押します。

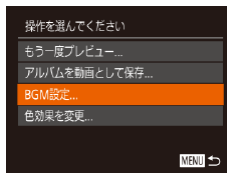


2 指定方法を選ぶ

- [画像指定]、[日付指定] または [人物指定] を選び、 を押します。

3 対象を指定する

- アルバムにしたい項目を選び を押すと、選ばれた項目には [✓] が表示されます。
- [画像指定] で静止画、ショートクリップ動画またはクリエイティブショット動画、[日付指定] または [人物指定] で日付または人物を選んだあと、[MENU] ボタンを押します。
- [◀] か [▶] を押すか ホイールを回して [プレビュー] を選び、 を押します。



4 BGM を選ぶ

- 左の画面が表示されたら [BGM 設定] を選び、「アルバムに BGM をつける」（108）の操作で BGM をつけたあと、[MENU] ボタンを押します。

5 色効果を選ぶ

- 「アルバムを見る（ストーリーハイライト）」（107）の手順 4 の画面で [色効果を変更] を選びます。
- [◀] か [▶] を押して色効果を選び、 を押します。

6 保存する

- 「アルバムを見る（ストーリーハイライト）」（107）の手順 4 の操作で保存します。



- [画像指定] を選んだときは、最大 40 ファイル（動画は 10 ファイル）まで指定できます。なお、2 回目以降は [前回の内容をもとにして編集しますか?] が表示され、[はい] を選ぶと前回選んだ静止画、ショートクリップ動画またはクリエイティブショット動画に [✓] が入った状態でマルチ再生画面が表示されます。
- [日付指定] を選んだときは、最大 15 日間の日付を指定できます。
- 画像によっては、色効果がかからないことがあります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

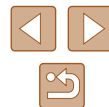
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

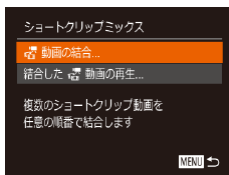


ショートクリップ動画を結合して動画作品を作る

▶ 静止画 ▶ 動画

複数のショートクリップ動画を結合して、動画作品を作ることができます。

ただし、結合した動画はストーリーハイライト (P.107) のアルバムの対象になりません。



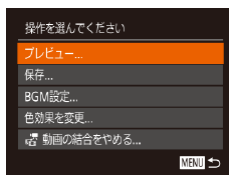
1 編集画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [ショートクリップミックス] を選んだあと、[動画の結合] を選びます (P.28)。



2 結合する動画を指定する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して、画面の上半分に表示されている動画から結合したい動画を選んだあと、[●] を押します。
- 指定した動画が画面の下半分に表示されます。
- もう一度 [●] を押すと、指定が解除されます。
- 上記の操作を繰り返して、結合したい動画を指定します。
- 動画の指定が終わったら、[MENU] ボタンを押します。



3 プレビュー再生する

- [プレビュー] を選び、[●] を押します。
- [読み込み中] が数秒間表示されたあと、結合された動画がプレビュー再生されます。



4 保存する

- [保存] を選び、[●] を押します。
- 保存が完了すると、[保存しました] が表示されます。

5 再生する

- 手順1の画面で [結合した動画の再生] を選ぶと、作成した動画が一覧で表示されます。
- 再生したい動画を選んで、[●] を押します。



- 手順2の画面でズームレバーを [●] 側に押すと、選ばれている動画が再生されます。
- 手順2の画面で [▼] を押したあと、動画を選び [●] を押してから [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回してもう一度 [●] を押すと、動画の順番を並べ換えられます。
- 手順3の画面で [色効果を変更] を選ぶと、色効果をつけられます。
- 手順3の画面で [BGM設定] を選ぶと、BGMをつけることができます (P.108)。
- 保存される動画の画質は、[HD] になります。
- フル充電されたバッテリーを使うことをおすすめします。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

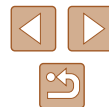
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



無線機能

カメラで撮影した画像を無線でいろいろな無線対応機器へ送ったり、Web サービスを利用する



- 無線機能を使う前に「無線機能(Wi-Fi/Bluetooth など)について」(P.187) を必ずお読みください。

無線機能でできること

Wi-Fi 機能を使う

このカメラは、以下の機器やサービスと Wi-Fi で接続して、画像の送受信やカメラの操作ができます。

- スマートフォン、タブレット端末
Wi-Fi 機能を持つスマートフォンやタブレット端末に画像を送信できます。また、スマートフォンやタブレット端末を使ってリモートライブビュー撮影することができます。
なお、以降、スマートフォンとタブレット端末をあわせて「スマートフォン」と記載しています。
- パソコン
カメラとパソコンを Wi-Fi で接続し、ソフトウェアを使ってカメラの画像を取り込むことができます。
- Web サービス
キヤノンのオンラインフォトサービス CANON iMAGE GATEWAY や、いろいろな Web サービスをカメラに登録して、カメラ内の画像を送信できます。また、カメラ内の未転送画像を CANON iMAGE GATEWAY 経由でパソコンや Web サービスに送ることもできます。
- プリンター
Wi-Fi で使える PictBridge (DPS over IP) に対応したプリンターに画像を送って印刷できます。
- 別のカメラ
キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラ同士で画像を送信できます。

Bluetooth[®] 機能を使う

Bluetooth low energy technology* に対応しているスマートフォンと簡単に接続することができます。また、スマートフォンをリモコン代わりにして撮影や再生の操作をしたり、撮影する画像に位置情報を記録することができます。

* 以降は「Bluetooth」と記載しています。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

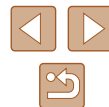
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



スマートフォンに画像を送る

カメラとスマートフォンを接続して画像を送るにはいくつかの方法があります。

- Bluetooth 機能を使って接続する
Bluetooth に対応しているスマートフォンとペアリングをするだけでかんたんに接続できます。スマートフォンから画像取り込みの操作をするときにおすすめです。
- NFC 機能を使って接続する (📖 114)
Android で NFC に対応しているスマートフォンをタッチするだけでかんたんに接続できます。
- Wi-Fi メニューを使って接続する (📖 116)
パソコンなどほかの接続先と同様の操作で接続できます。また、複数のスマートフォンを登録できます。

カメラと接続する前に、お使いのスマートフォンに専用のアプリケーション「Camera Connect」(無料)をインストールする必要があります。アプリケーションの詳細(対応するスマートフォンや機能など)については、弊社 Web サイトで確認してください。



- キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラをお持ちで、「CameraWindow」を使ってカメラとスマートフォンを Wi-Fi 接続されているかたは、スマートフォン用のアプリケーションを「Camera Connect」に変えることをおすすめします。

Bluetooth 対応のスマートフォンに画像を送る

Bluetooth 機能を使ってスマートフォンと接続すると、次回からはスマートフォンを操作するだけでカメラ内の画像を見たり取り込んだりできるようになります。

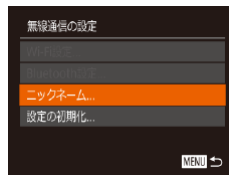


1 Camera Connect をインストールする

- Android のスマートフォンでは、Google Play から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。
- iPhone や iPad では、App Store から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。

2 ニックネームを登録する

- 電源ボタンを押します。
- [MENU] ボタンを押して、[↑] タブの [無線通信の設定] を選んだあと、[ニックネーム] を選びます。
- [Ⓜ] を押して表示されたキーボード (📖 29) でニックネームを入力します。
- [MENU] ボタンを押したあと、もう一度 [MENU] ボタンを押すと [無線通信の設定] に戻ります。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

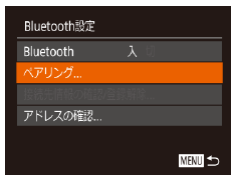
設定メニュー

アクセサリ

付録

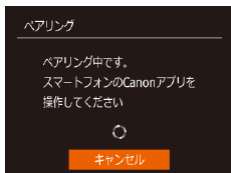
索引





3 ペアリングができる状態にする

- [Bluetooth 設定] を選んだあと、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [ペアリング] を選び、[●] を押します。



- 画面が接続待機の状態になります。



4 Camera Connect を起動する

- スマートフォンの Bluetooth 機能を有効にしたあと、スマートフォンを操作して Camera Connect を起動します。
- カメラを認識すると、カメラを選択する画面が表示されます。



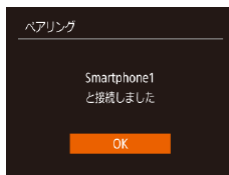
5 接続するカメラを選ぶ

- カメラのニックネームを選びます。
- スマートフォンを操作してペアリングを完了させます。



6 ペアリングを完了する

- カメラに確認画面が表示されるので、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[●] を押します。



- この画面が表示されたら、[●] を押します。



7 画像を取り込む

- Camera Connect の [カメラ内の画像一覧] を選択すると、自動で Wi-Fi 接続に切り換ります。
- iPhone や iPad では、OS の Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選択して接続します。
- スマートフォンを操作してカメラ内の画像をスマートフォンに取り込みます。
- スマートフォンを操作して Wi-Fi 接続を切断すると、Bluetooth 接続に切り換ります。



- ペアリングしたあとは、カメラの電源が切れている状態でもバッテリーを消費するため、カメラを使うときにバッテリーの残量が少なくなることがあります。
- カメラの電源を切っても Bluetooth で通信ができる状態になっているため、電子機器の使用が制限されている場所では、[Bluetooth] を [切] にしてください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- 画面にある以下のアイコンで Bluetooth の通信状態を確認できます。
- 【📶】 接続中、【📵】 未接続
- 手順 7 にある Wi-Fi 接続の切断は、カメラでも操作できます。
- Bluetooth で接続しているスマートフォンの情報は、MENU (📖 28) の [📶] タブにある [無線通信の設定] の [Bluetooth 設定] を選んだあと、[接続先情報の確認 / 登録解除] で確認することができます。また、[アドレスの確認] を選ぶと、カメラの Bluetooth アドレスを確認できます。

NFC 対応のスマートフォンに画像を送る

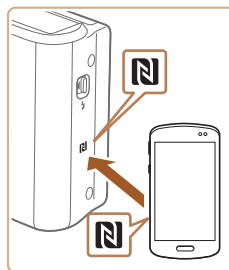
Android で NFC に対応しているスマートフォンでは、NFC 機能を使って、Camera Connect のインストールやカメラへの接続をかんたんにすることができます。

NFC 機能でスマートフォンと接続するときは、タッチする前のカメラの状態によって動作が異なります。

- 撮影モードまたは電源を切っているときにスマートフォンをタッチすると、画像を選択する画面で画像を選んで送信できます。また、接続後にスマートフォンで撮影画面を見ながら撮影することもできます (📖 135)。また、最近接続した接続先名として履歴が残るので、次回以降、Wi-Fi メニューからでもかんたんに接続できます。
- 再生モードでスマートフォンをタッチすると、送信する画像を選ぶ画面が一覧表示されるので、画像を選んで送信できます。

ここでは、まず、撮影モードまたは電源を切っているときの接続について説明します。

■ 撮影モード / 電源を切っているときの NFC 接続

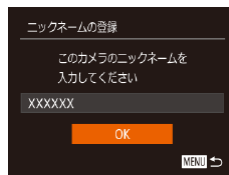


1 Camera Connect をインストールする

- スマートフォンの使用説明書で (N マーク) の位置を確認します。
- スマートフォンの NFC 機能を有効にしたあと、スマートフォンとカメラの (N マーク) 同士をタッチすると、スマートフォンで Google Play が自動的に起動します。Camera Connect のダウンロード画面が表示されたら、ダウンロードしてインストールします。

2 接続する

- カメラの電源が切れているか、撮影モードであることを確認します。
- Camera Connect がインストールされたスマートフォンとカメラの (N マーク) 同士をタッチします。
- カメラの画面が自動で変わります。
- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[▲] か [▼] を押すか [🔴] ホイールを回して [OK] を選び [🔴] を押します。



- スマートフォンで Camera Connect が起動します。
- スマートフォンとカメラが自動で接続します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

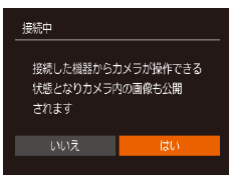
設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





3 公開設定する

- この画面が表示されたときは、[◀] か [▶] を押すか [OK] ホイールを回して [はい] を選び、[OK] を押します。
- スマートフォンの操作で、カメラ内の画像の閲覧や取り込み、リモートライブビュー撮影ができるようになります。



4 画像を送る

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [この画像を送信] を選び、[OK] を押します。
- 送信が完了すると、[送信が完了しました] と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。
- 接続を切断するには、[MENU] を押して表示される確認画面で [◀] か [▶] を押すか [OK] ホイールを回して [OK] を選び [OK] を押します。また、スマートフォンを操作して接続を切断することもできます。



- NFC 機能をお使いになるときは、次のことに注意してください。
 - スマートフォンをカメラに強く当てないでください。スマートフォンやカメラに傷がつくことがあります。
 - スマートフォンによっては、認識されにくいことがあるので、位置をずらすなどしてゆっくりタッチしてください。接続できないときはカメラの画面が変わるまでタッチしたままにしてください。
 - 電源を切っているときに接続しようとする、カメラの電源を入れるよう、スマートフォンにメッセージが表示されることがあります。このときは、カメラの電源を入れてからタッチしないでおいてください。
 - カメラとスマートフォンの間にものを置かないでください。また、カメラやスマートフォンにケースなどをつけていると、通信できないことがあります。
- 手順3で [はい] を選ぶと、接続したスマートフォンから、カメラ内のすべての画像を見ることができるようになります。スマートフォンにカメラ内の画像を表示したくないときは、手順3の操作で [いいえ] を選んでください。
- 登録済みのスマートフォンに対する画像の公開設定を変更することもできます (138)。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- 手順2の画面でカメラのニックネームを変えることもできます (139)。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズを変えて送ったりすることができます (131)。
- MENU (28) の [🔗] タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選び、[NFC 接続] を [切] にすると NFC 接続しないようにできます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

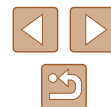
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



再生モードでの NFC 接続



- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- Camera Connect がインストールされたスマートフォン (114) とカメラの [N] (N マーク) 同士をタッチします。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して送信したい画像を選び、[◎] を押すと [✓] が表示されます。
- もう一度 [◎] を押すと [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。
- 画像の選択が終わったら、[MENU] ボタンを押します。
- [◀] か [▶] を押して [OK] を選び、[◎] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [送信] を選び、[◎] を押します。
- 画像が送信されます。



- 接続中、カメラの画面にニックネームの入力を促す画面が表示されたら「NFC 対応のスマートフォンに画像を送る」(114) の手順 2 の操作で入力してください。
- 再生モードのときに NFC 機能で接続したスマートフォンの履歴はカメラには残りません。
- 送信される画像のサイズをあらかじめ設定しておくことができます (131)。

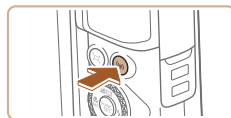
Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する

ここではカメラをアクセスポイントにして接続する手順を説明しますが、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます (118)。



1 Camera Connect をインストールする

- Android のスマートフォンでは、Google Play から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。
- iPhone や iPad では、App Store から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。



2 Wi-Fi メニューを表示する

- [Ⓜ] ボタンを押します。
- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[OK] を選びます (114)。

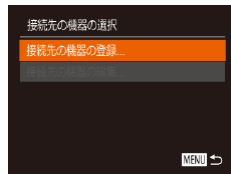
3 [☑] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [☑] を選び、[◎] を押します。



4 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [接続先の機器の登録] を選び、[◎] を押します。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

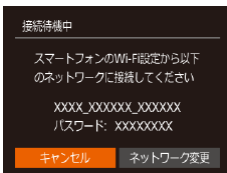
設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- 画面にカメラのSSIDとパスワードが表示されます。

5 スマートフォンをネットワークに接続する

- スマートフォンのWi-Fiに関する設定メニューから、カメラに表示されたSSID(ネットワーク名)を選択して接続します。
- パスワード欄にはカメラに表示されたパスワードを入力します。



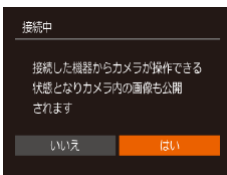
6 Camera Connect を起動する

- スマートフォンを操作してCamera Connectを起動します。



7 接続するカメラを選ぶ

- スマートフォンで接続先のカメラを選ぶ画面が表示されたら、カメラを選んでペアリングを行います。



8 公開設定する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [はい] を選び、[●] を押します。
- スマートフォンの操作で、カメラ内の画像の閲覧や取り込み、リモートライブビュー撮影ができるようになります。



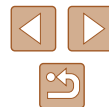
9 画像を送る

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [選んで送信] を選び、[●] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [画像指定] を選び [●] を押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して送信したい画像を選び、[●] を押して [✓] を表示させ、[MENU] ボタンを押します。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[●] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [送信] を選び、[●] を押します。
- 送信が完了すると、[送信が完了しました] と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。
- 接続を切断するには、[MENU] を押して表示される確認画面で [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び [●] を押します。また、スマートフォンを操作して接続を切断することもできます。
- 複数のスマートフォンを登録するときは、手順1から繰り返します。



- 手順8で [はい] を選ぶと、接続したスマートフォンから、カメラ内のすべての画像を見ることができるようになります。スマートフォンにカメラ内の画像を表示したくないときは、手順8の操作で [いいえ] を選んでください。
- 登録済みのスマートフォンに対する画像の公開設定を変更することもできます (138)。

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/ プラスムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
Tv、Av、Mモード
再生モード
無線機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引

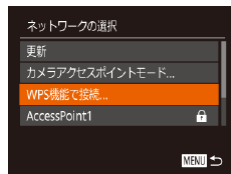
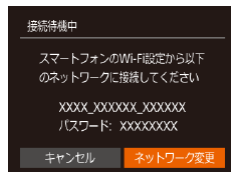




- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示され、[▲] か [▼] を押して項目を選び [⊕] を押すだけで簡単に接続することができます。新しく接続先を登録するときは [◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (📖28) の [📶] タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選んだあと、[接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- MENU (📖28) の [📶] タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選んだあと、[パスワード] を [切] にすると、SSID の表示画面 (手順 4) に [パスワード] が表示されなくなり、手順 5 でパスワードを入力しなくても接続できるようになります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズを変えて送ったりすることができます (📖131)。
- 手順 9 の画面で [この画像を送信] を選ぶと、表示している画像を送信できます。

ほかのアクセスポイントを使う

Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンとカメラを接続するときは、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます。



1 接続待機の状態にする

- [Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する] (📖116) の手順 1～4 の操作で接続待機中の画面を表示します。

2 スマートフォンをアクセスポイントに接続する

3 [ネットワーク変更] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [⊕] ホイールを回して [ネットワーク変更] を選び、[⊕] を押します。
- 検索されたアクセスポイントの一覧が表示されます。

4 アクセスポイントに接続する

- WPS に対応したアクセスポイントでは、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(📖121) の手順 5～8 の操作でアクセスポイントに接続します。
- WPS に対応していないアクセスポイントでは、「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」(📖123) の手順 2～4 の操作でアクセスポイントに接続します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





5 接続するカメラを選ぶ

- スマートフォンで接続先のカメラを選ぶ画面が表示されたら、カメラを選んでペアリングを行います。

6 公開設定して画像を送る

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(116) の手順 8～9 の操作で公開設定して、画像を送ります。

接続したことのあるアクセスポイントがあるとき

接続したことのあるアクセスポイントがあるときは、「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(116) の手順 4 の操作で、カメラが自動でそのアクセスポイントに接続します。

- カメラをアクセスポイントにするときは、接続の最中に表示される画面の「ネットワーク変更」を選び、表示された画面で「カメラアクセスポイントモード」を選びます。
- 別のアクセスポイントを使うときは、接続の最中に表示される画面の「ネットワーク変更」を選んだあと、「ほかのアクセスポイントを使う」(118) の手順 4 から操作してください。

パソコンに画像を取り込む

パソコンを登録するための準備をする

カメラと Wi-Fi 接続できるパソコンなど、詳細なシステム構成や最新の OS を含む対応状況については、弊社 Web サイトを確認してください。



- Windows 7 Starter / Home Basic には対応していません。
- Windows 7 N (欧州版) / KN (韓国版) では、Windows Media Feature Pack を別途マイクロソフトのサポートページからダウンロードしてインストールする必要があります。詳しくは、次の Web サイトで確認してください。
<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=159730>

CameraWindow をインストールする

1 ソフトウェアをダウンロードする

- パソコンからインターネットへ接続し、以下のサイトを表示します。

<http://cweb.canon.jp/e-support/software/index.html>

2 画面の指示にしたがって操作する

- ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてインストールします。



- インターネットに接続できる環境が必要なため、プロバイダーとの接続料金や通信料金が別途かかります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- ソフトウェアをアンインストール（削除）するときには以下の操作を行います。
 - Windows のときは、[スタート] メニュー ▶ [すべてのプログラム] ▶ [Canon Utilities] のあと、アンインストールしたいソフトウェアを選びます。

■ Wi-Fi 接続するための設定をする（Windows のみ）

お使いのパソコンが Windows のときは、カメラと Wi-Fi で接続するために、次の手順で Windows の設定を行ってください。



1 パソコンがアクセスポイントに接続していることを確認する

- 確認方法はパソコンの使用説明書を参照してください。

2 設定する

- [スタート] メニュー ▶ [すべてのプログラム] ▶ [Canon Utilities] ▶ [CameraWindow] ▶ [Wi-Fi 接続のための設定] の順にクリックします。
- 起動したアプリケーションの画面にしたがって、設定してください。



- 手順 2 のアプリケーションを実行すると、Windows に次の設定が行われます。
 - メディアストリーミングを有効にする
Wi-Fi で接続するパソコンをカメラが参照（検索）できるようになります。
 - ネットワーク探索を有効にする
パソコンがカメラを参照（検索）できるようになります。
 - ICMP (Internet Control Message Protocol) を有効にする
ネットワーク接続の通信状態を確認できるようになります。
 - UPnP (Universal Plug & Play) を有効にする
ネットワーク機器を自動認識できるようになります。
- パソコンにインストールされているセキュリティソフトによっては、上記の操作を行っても設定できないことがあります。セキュリティソフトの設定を確認してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



カメラとパソコンを接続して画像を取り込む

既存のアクセスポイントにカメラを Wi-Fi 接続します。
お使いのアクセスポイントの使用説明書もあわせて参照してください。

■ アクセスポイントを確認する

アクセスポイントとなる Wi-Fi 親機 (Wi-Fi ルーターなど) は、「インターフェース」(182) に記載している Wi-Fi 規格に対応しているものをお使いください。

アクセスポイントが WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応しているとき (121) と対応していないとき (123) で、接続方法は異なります。また、WPS に対応していないアクセスポイントでは、次の項目を確認してください。

- ネットワーク名 (SSID/ESSID)
お使いのアクセスポイントの SSID または ESSID です。「アクセスポイント名」や「ネットワーク名」とも呼ばれることもあります。
- ネットワークの認証 / データの暗号化 (暗号化方式 / 暗号化モード)
無線通信時のデータを暗号化する方式です。「WPA2-PSK (AES)」「WPA2-PSK (TKIP)」「WPA-PSK (AES)」「WPA-PSK (TKIP)」「WEP (オープンシステム認証)」「なし」のいずれであるかを確認してください。
- パスワード (暗号化キー / ネットワークキー)
無線通信時のデータを暗号化するために使われるキー (鍵) です。「暗号化キー」や「ネットワークキー」と呼ばれることもあります。
- キーのインデックス (送信キー)
「ネットワークの認証 / データの暗号化」が「WEP」のときに設定するキーです。「1」にしてください。



- システム管理者がいるネットワーク内で設定するときは、ネットワーク管理者にネットワーク設定の詳細をお問い合わせください。
- これらの情報はセキュリティ上大変重要なものです。お取り扱いには十分ご注意ください。



- アクセスポイントが WPS に対応しているかどうかや、設定の確認方法は、お使いのアクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- ルーターとは、複数のパソコンなどを接続して、ネットワーク (LAN) を構築するときに使われる機器です。さらに、Wi-Fi 機能を内蔵しているルーターを「Wi-Fi ルーター」と呼びます。
- 本書では、Wi-Fi ルーターなどの Wi-Fi 親機すべてを「アクセスポイント」と呼びます。
- お使いの Wi-Fi で MAC アドレスをフィルタリングしているときは、アクセスポイントにカメラの MAC アドレスを登録してください。カメラの MAC アドレスは、MENU (28) の [↑] タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選んだあと、[MAC アドレスの確認] を選ぶと確認できます。

■ WPS に対応したアクセスポイントを使う

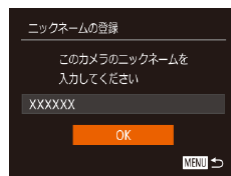
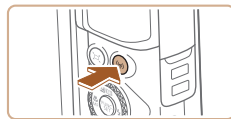
WPS とは、Wi-Fi 機器同士を接続する際の各種設定をかたんに行う仕組みです。WPS に対応した機器では、設定方式としてプッシュボタン方式と PIN コード方式を使用できます。

1 パソコンがアクセスポイントに接続されていることを確認する

- 確認方法はそれぞれの機器およびアクセスポイントの使用説明書を参照してください。

2 Wi-Fi メニューを表示する

- [↑] ボタンを押します。
- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[●] を押します。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





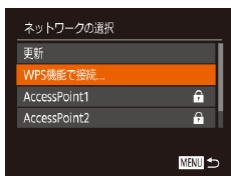
3 [パソコン] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [パソコン] を選び、[📷] を押します。



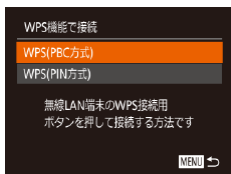
4 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して [接続先の機器の登録] を選び、[📷] を押します。



5 [WPS 機能で接続] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して [WPS 機能で接続] を選び、[📷] を押します。



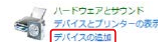
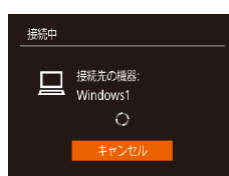
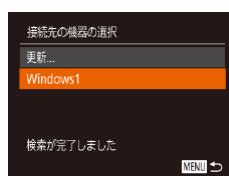
6 [WPS(PBC方式)] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して [WPS(PBC方式)] を選び、[📷] を押します。



7 接続をはじめる

- アクセスポイントにある WPS 接続用のボタンを数秒間押したままにします。



- カメラの [📷] を押して次に進みます。
- カメラがアクセスポイントに接続し、そのアクセスポイントに接続している機器の一覧が [接続先の機器の選択] 画面に表示されます。

8 接続先の機器を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して接続先の機器の名前を選び、[📷] を押します。

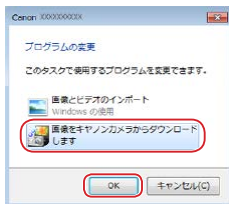
9 ドライバーをインストールする (Windows の初回接続時のみ)

- カメラにこの画面が表示されたら、パソコンのスタートメニューから [コントロールパネル] をクリックし、[デバイスの追加] をクリックします。

- 接続したカメラのアイコンをダブルクリックします。
- ドライバーのインストールがはじまります。
- ドライバーのインストールが終わってカメラとパソコンの接続が完了すると、[自動再生] 画面が表示されます。このとき、カメラの画面には何も表示されなくなります。

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/ プラスムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
Tv、Av、Mモード
再生モード
無線機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引





10 CameraWindow を表示する

- Windows では、[画像をキヤノンカメラからダウンロードします] をクリックすると、CameraWindow が表示されます。

11 画像を取り込む

- [カメラ内の画像の取り込み] をクリックしたあと、[未転送画像を取り込む] をクリックします。
- 画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されます。
- 取り込みの完了画面で、[OK] をクリックします。
- パソコンに取り込んだ画像を見るときは、カメラで撮影した画像に対応したソフトウェア（パソコンに標準でインストールされているソフトウェアや汎用のソフトウェア）をお使いください。



- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示され、[▲] か [▼] を押して項目を選び [●] を押すだけで簡単に接続することができます。新しく接続先を登録するときは [◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (28) の [🔍] タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選んだあと、[接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- 手順 2 の画面でカメラのニックネームを変えることもできます (140)。
- パソコンとの接続中、カメラの画面には何も表示されません。
- カメラとの接続を切断するには、カメラの電源を切ってください。
- 手順 6 で [WPS(PIN 方式)] を選択したときは、画面に表示された PIN コードをアクセスポイントに設定します。次に [接続先の機器の選択] 画面で接続する機器を選びます。詳しくは、お使いのアクセスポイントの使用説明書を参照してください。

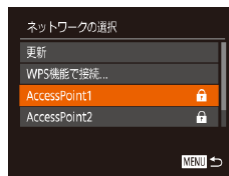
■ 一覧に表示されたアクセスポイントを使う

1 アクセスポイントの一覧を表示する

- [WPS に対応したアクセスポイントを使う] (121) の手順 1～4 の操作で、ネットワーク (アクセスポイント) の一覧を表示します。

2 アクセスポイントを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回してネットワーク (アクセスポイント) を選び、[●] を押します。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

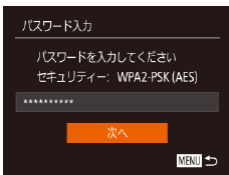
設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





3 アクセスポイントのパスワードを入力する

- [F4] を押してキーボードを表示し、パスワードを入力します (図29)。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [次へ] を選び、[F4] を押します。



4 [自動] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [自動] を選び、[F4] を押します。
- 「WPS に対応したアクセスポイントを使う」 (図121) の手順 8 以降の操作で、パソコンと接続して画像を取り込みます。



- アクセスポイントのパスワードについては、アクセスポイントの本体あるいは使用説明書を参照してください。
- 手順 2 で [更新] を選んで一覧を更新してもアクセスポイントが検出されないときは、手順 2 で [手動設定] を選ぶと、アクセスポイントを手動で設定できます。画面の指示にしたがって SSID の入力、セキュリティ設定、パスワードの入力を行ってください。
- 接続したことがあるアクセスポイントを使って他の機器に接続するときは、手順 3 でパスワードが「*」で表示されます。同じパスワードを使うときは、そのまま、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [次へ] を選び、[F4] を押します。

■ 接続したことがあるアクセスポイントがあるとき

接続したことがあるアクセスポイントがあるときは、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」 (図121) の手順 4 の操作で、カメラが自動でそのアクセスポイントに接続します。

- そのアクセスポイントを使って接続するときは、接続先の機器がそのアクセスポイントに接続されていることを確認し、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」 (図121) の手順 8 から操作してください。
- 別のアクセスポイントを使うときは、接続の最中に表示される画面の [ネットワーク変更] を選んだあと、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」 (図121) の手順 5 または「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」 (図123) の手順 2 から操作してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



Web サービスを登録して画像を送る

利用する Web サービスの情報を登録する

パソコンまたはスマートフォンを使って、利用する Web サービスの情報をカメラに登録します。

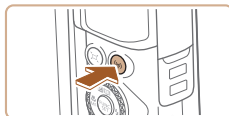
- CANON iIMAGE GATEWAY をはじめとする各種 Web サービスの設定には、インターネットに接続できるパソコンまたはスマートフォンおよびブラウザが必要です。
- CANON iIMAGE GATEWAY に接続する際にお使いいただくブラウザ（Microsoft Internet Explorer など）のバージョンや設定条件については、CANON iIMAGE GATEWAY のサイトで確認してください。
- CANON iIMAGE GATEWAY のサービスに対応している国 / 地域の情報は、弊社 Web サイト（<http://www.canon.com/cig/>）で確認してください。
- CANON iIMAGE GATEWAY 以外の Web サービスも利用するときは、その Web サービスのアカウントが必要です。詳しくは、各 Web サービスの Web サイトを確認してください。
- プロバイダーとの接続料金、およびプロバイダーのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。



- CANON iIMAGE GATEWAY から使用説明書をダウンロードすることができます。

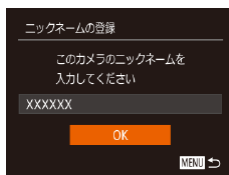
CANON iIMAGE GATEWAY を登録する

CANON iIMAGE GATEWAY とカメラを連携できるように、CANON iIMAGE GATEWAY をカメラに登録します。なお、この設定では、カメラ連携設定をするための通知メールを送りますので、お使いのパソコンやスマートフォンのメールアドレスが必要になります。



1 Wi-Fi メニューを表示する

- [Wi-Fi] ボタンを押します。

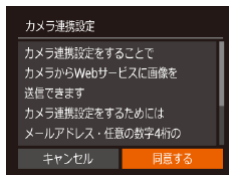


- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び [●] を押します。



2 [☁] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [☁] を選び、[●] を押します。



3 メールアドレス入力許諾に同意する

- 表示される記載を読み [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [同意する] を選び、[●] を押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

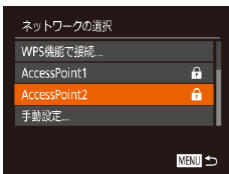
設定メニュー

アクセサリ

付録

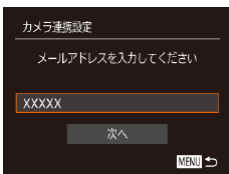
索引





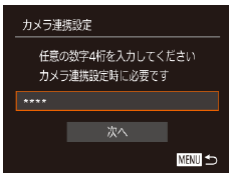
4 アクセスポイントへの接続をはじめ

- 「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(図 121) の手順 5～7 または「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」(図 123) の手順 2～4 の操作でアクセスポイントへの接続を行います。



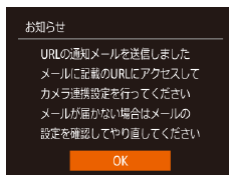
5 メールアドレスを入力する

- カメラがアクセスポイントを経由して CANON iIMAGE GATEWAY に接続するとメールアドレスを入力する画面が表示されます。
- メールアドレスを入力し、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [次へ] を選び、[Ⓢ] を押します。



6 4桁の数字を入力する

- 任意の数字 4 桁を入力し、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [次へ] を選び、[Ⓢ] を押します。
- この 4 桁の数字は、手順 8 の CANON iIMAGE GATEWAY でカメラ連携の設定をするときに必要になります。



7 通知メールが送信されたことを確認する

- CANON iIMAGE GATEWAY に情報が送られると、手順 5 で入力したメールアドレスに通知メールが送信されます。
- 通知メールを送信したお知らせの画面が表示されるので、[Ⓢ] を押します。
- [☁] が [☁] になります。



8 受信した通知メールの URL にアクセスしてカメラ連携の設定をする

- パソコンまたはスマートフォンから通知メールに記載してある URL にアクセスします。
- カメラ連携設定ページの案内にしたがって設定します。



9 カメラに CANON iIMAGE GATEWAY を設定する

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [☁] を選び、[Ⓢ] を押します。
- [☁] (図 133) と CANON iIMAGE GATEWAY が送信先として追加されます。
- 続けて Web サービスを追加することもできます。このときは、「他の Web サービスを登録する」(図 127) の手順 2 から操作してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

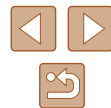
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- お使いのパソコンまたはスマートフォンのメール設定が、特定ドメインのメールを受信拒否するようになっていると、通知メールを受信できないことがありますので事前に確認してください。



- 手順 1 の画面でカメラのニックネームを変えることもできます (P.125)。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示されるので、[◀]か[▶]で機器の選択画面を表示して設定します。

■ 他の Web サービスを登録する

CANON iMAGE GATEWAY 以外の Web サービスをカメラに登録します。



1 CANON iMAGE GATEWAY にアクセスして、カメラ連携設定のページを表示する

- パソコンまたはスマートフォンを操作して、インターネットで CANON iMAGE GATEWAY サイト [http://www.canon.com/cig/] へアクセスします。



2 利用する Web サービスの設定をする

- パソコンまたはスマートフォンを操作し、Web サービスの設定画面を表示します。
- 画面の指示にしたがって、利用する Web サービスの設定をします。



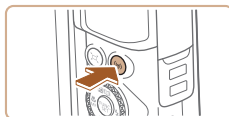
3 [☁] を選ぶ

- [☁] ボタンを押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [⦿] ホイールを回して [☁] を選び、[⏏] を押します。
- Web サービスの設定が更新されます。



- 一度設定した内容を変更するときも同じ操作でカメラの設定を更新してください。

Web サービスに画像を送る



1 Wi-Fi メニューを表示する

- [☁] ボタンを押します。



2 接続先を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [⦿] ホイールを回して接続先の Web サービスのアイコンを選び [⏏] を押します。
- 同じ Web サービスに複数の送信先や公開範囲などがあるときは、[送信先の選択] 画面が表示されるので、[▲] か [▼] を押すか [⦿] ホイールを回して項目を選び [⏏] を押します。



3 画像を送る

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [選んで送信] を選び、[⏏] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [⦿] ホイールを回して [画像指定] を選び [⏏] を押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [⦿] ホイールを回して送信したい画像を選び、[⏏] を押して [✓] を表示させ、[MENU] ボタンを押します。
- [◀] か [▶] を押すか [⦿] ホイールを回して [OK] を選び、[⏏] を押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



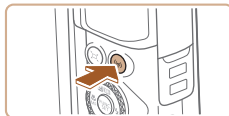
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [送信] を選び、[●] を押します。
- YouTube へ送信するときは、続いて表示される利用規約を読み [同意する] を選んで、[●] を押します。
- 送信が完了したら表示される画面で [OK] が表示され、[●] を押すと再生モードの画面に戻ります。



- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズの変更やコメントの追加をして送ったりすることができます (P131)。
- 手順3の画面で [この画像を送信] を選ぶと、表示している画像を送信できます。
- スマートフォンで CANON IMAGE GATEWAY に送信した画像を見るときは、専用のアプリケーション「Canon Online Photo Album」を使うことおすすめします。iPhone や iPad では App Store から、Android のスマートフォンでは Google Play から、Canon Online Photo Album を検索してダウンロードし、インストールしてください。

プリンターにつないで画像を印刷する

Wi-Fi 機能を持つプリンターとカメラを接続して印刷します。なお、ここではカメラをアクセスポイントにして接続する手順を説明しますが、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます (P118)。



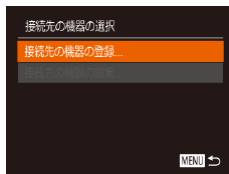
1 Wi-Fi メニューを表示する

- [⏏] ボタンを押します。



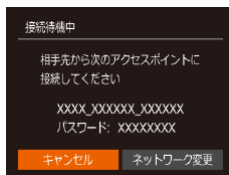
2 [凸] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [凸] を選び、[●] を押します。



3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [接続先の機器の登録] を選び、[●] を押します。



- 画面にカメラの SSID とパスワードが表示されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

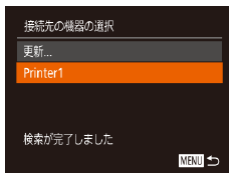
索引





4 プリンターをネットワークに接続する

- プリンターの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選択して接続します。
- パスワード欄にはカメラに表示されたパスワードを入力します。



5 プリンターを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回してプリンターの名前を選び、[●] を押します。

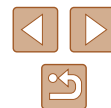
6 画像を選んで印刷する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選びます。
- [●] を押したあと、[凸] を選び、もう一度 [●] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [印刷] を選び、[●] を押します。
- 詳しい印刷方法については「印刷する」(156) を参照してください。
- 接続を切断するには、[Ⓜ] を押して表示された確認画面で [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び [●] を押します。



- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとする、最近接続した接続先名が最初に表示され、[▲] か [▼] を押して項目を選び [●] を押すだけで簡単に接続することができます。新しく接続先を登録するときは [◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (128) の [🔍] タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選んだあと、[接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- MENU (128) の [🔍] タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選んだあと、[パスワード] を [切] にすると、SSID の表示画面 (手順 3) に [パスワード] が表示されなくなり、手順 4 でパスワードを入力しなくても接続できるようになります。
- ほかのアクセスポイントを使うときは、「ほかのアクセスポイントを使う」(118) の手順 3 ~ 4 を参照してください。

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/ プラスムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
Tv、Av、Mモード
再生モード
無線機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引



別のカメラに画像を送る

2台のカメラ同士でWi-Fi接続して画像を送信できます。

- Wi-Fi接続できるのは、キヤノン製のWi-Fi対応カメラのみです。FlashAir/Eye-Fiカードに対応していてもWi-Fiに対応していないキヤノン製カメラへは接続できません。



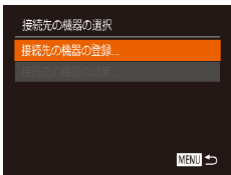
1 Wi-Fiメニューを表示する

- [**Wi-Fi**] ボタンを押します。



2 [カメラ] を選ぶ

- [**上**] [**下**] [**左**] [**右**] を押すか [ホイール] を回して [カメラ] を選び、[OK] を押します。



3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [**上**] か [**下**] を押すか [ホイール] を回して [接続先の機器の登録] を選び、[OK] を押します。
- 相手のカメラも手順1～3を行います。
- 両方のカメラで [接続先のカメラでも通信を開始してください] 画面が表示されると登録がはじまります。



4 画像を送る

- [**上**] [**下**] [**左**] [**右**] を押して [選んで送信] を選び、[OK] を押します。
- [**上**] か [**下**] を押すか [ホイール] を回して [画像指定] を選び [OK] を押します。
- [**上**] [**下**] [**左**] [**右**] を押すか [ホイール] を回して送信したい画像を選び、[OK] を押して [✓] を表示させ、[MENU] ボタンを押します。
- [**左**] か [**右**] を押すか [ホイール] を回して [OK] を選び、[OK] を押します。
- [**左**] か [**右**] を押すか [ホイール] を回して [送信] を選び、[OK] を押します。
- 送信が完了すると、[送信が完了しました] と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。
- 接続を切断するには、[MENU] を押して表示される確認画面で [**左**] か [**右**] を押すか [ホイール] を回して [OK] を選び [OK] を押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

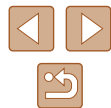
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





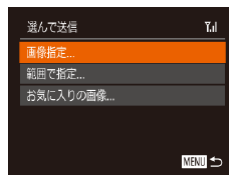
- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとする、最近接続した接続先名が最初に表示され、[▲] か [▼] を押して項目を選び [●] を押すだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは [◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (28) の [↑] タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選んだあと、[接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズを変えて送ったりすることができます (131)。
- 手順 4 の画面で [この画像を送信] を選ぶと、表示している画像を送信できます。

画像送信について

複数の画像を選んで同時に送ったり、記録画素数（画像の大きさ）を変えて送ることができます。また、Web サービスによっては、コメントをつけて画像を送信することができます。

複数の画像を送信する

画像送信画面で、送信する画像を範囲で指定したり、お気に入り設定した画像をまとめて送ることができます。



1 [選んで送信] を選ぶ

- 画像送信の画面で、[◀]か[▶]を押して[選んで送信] を選び、[●] を押します。

2 指定方法を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して指定方法を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



■ 範囲で指定する

1 【範囲で指定】を選ぶ

- 「複数の画像を送信する」の手順2 (131) の操作で【範囲で指定】を選び、[OK] を押します。



2 画像を指定する

- 「範囲で指定する」の手順2～3 (96) の操作で指定します。
- 動画も送信するときは、[▲][▼][◀][▶] を押して【動画含む】を選び、[OK] を押して[✓]を付けます。
- [▲][▼][◀][▶] を押して [OK] を選び、[OK] を押します。

3 送信する

- [◀] か [▶] を押すか [OK] ホイールを回して【送信】を選び、[OK] を押します。

■ お気に入り設定した画像を送る

お気に入り設定 (100) した画像をまとめて送ることができます。

1 【お気に入りの画像】を選ぶ

- 「複数の画像を送信する」の手順2 (131) の操作で【お気に入りの画像】を選び、[OK] を押します。
- お気に入り設定した画像だけの画像選択画面が表示されます。画像を選んでから [OK] を押して [✓] を外し、送信しないようにすることもできます。
- [MENU] ボタンを押します。

- [◀] か [▶] を押すか [OK] ホイールを回して [OK] を選び、[OK] を押します。

2 送信する

- [◀] か [▶] を押すか [OK] ホイールを回して【送信】を選び、[OK] を押します。

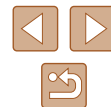


- お気に入り設定された画像がないときは、手順1で【お気に入りの画像】は選べません。

画像送信時の注意事項

- お使いの通信環境によっては、動画の送信に非常に時間がかかります。バッテリー残量にご注意ください。
- Web サービスによっては送信できる画像の数や動画の時間が制限されます。
- 圧縮 (105) していない動画は、再圧縮されてもとの動画とは別の動画として送信されます。また、この処理に時間がかかることや、カード容量の不足で送信できないことがあります。
- スマートフォンに送信するとき、スマートフォンによっては、送信できる動画の画質に制限があります。詳しくは、お使いのスマートフォンの使用説明書などを参照してください。
- 画面には電波の状態を示す以下のアイコンが表示されます。
[信号] 強、[信号] 中、[信号] 弱、[信号] 微弱
- Web サービスに送信するとき、一度、送信したことがある画像では、CANON iIMAGE GATEWAY のサーバーにある画像が再利用されるので送信時間は短くなります。

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/ プラスムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
Tv、Av、Mモード
再生モード
無線機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引



記録画素数（画像の大きさ）を選ぶ

画像を送信する画面で、[▲]か[▼]を押して[]を選んだあと、[]を押します。表示された画面で[▲]か[▼]を押して、送信する画像の記録画素数（画像の大きさ）を選び、[]を押します。

- [しない]を選ぶと、リサイズされずもとの画像の大きさのままです。
- [M2]を選ぶと、選んだ記録画素数より大きい画像がリサイズされて送信されます。
- 動画はリサイズできません。



- MENU () 28) で [] タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選び、[送信時のリサイズ設定] でも設定できます。

コメントを入力して送信する

SNS やメールなどに画像を送信するとき、カメラでコメントを入力することができます。なお、送信先の Web サービスによって入力できる文字数は異なります。



1 コメント入力画面を表示する

- 画像を送信する画面で [▲][▼][◀][▶] を押して [] を選び、[] を押します。

2 コメントを入力する () 29)

3 送信する



- コメントを入力しなかったときは、CANON iIMAGE GATEWAY で設定したコメントが自動で送信されます。
- 複数の画像を送信するときにもコメントを入力できます。同時に送るすべての画像で同じコメントになります。

画像を自動で送る（クラウドシンクロ）

カード内の未転送の画像を CANON iIMAGE GATEWAY 経由でパソコンや Web サービスに送信することができます。

なお、Web サービスだけに送信することはできません。

準備する

■ カメラの準備をする

接続先として [] を登録します。送信先のパソコンに、クラウドシンクロ用のソフトウェア「Image Transfer Utility (イメージ トランスファーユーティリティ)」(無料) をインストールして設定します。



1 [] を登録する

- 「CANON iIMAGE GATEWAY を登録する」() 125) の操作で、カメラに送信先として [] を登録します。
- Web サービスにも画像を送信するとき、CANON iIMAGE GATEWAY にログインし () 125)、カメラの機種を選んでから、Web サービス設定の画面を表示して、クラウドシンクロの設定で、送信したい Web サービスを選んでください。詳しくは、CANON iIMAGE GATEWAY のヘルプをご確認ください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



2 送信する画像の種類を選択する（動画も一緒に送信するときのみ）

- [MENU] ボタンを押して、[F7] タブの [無線通信の設定] を選んだあと、[Wi-Fi 設定] を選びます (128)。
- [▲] か [▼] を押して [クラウドシンクロ] を選んだあと、[◀] か [▶] を押して [静止画 + 動画] を選びます。

■ パソコンの準備をする

送信先のパソコンにソフトウェアをインストールして設定します。



1 Image Transfer Utility をインストールする

- インターネットに接続したパソコンに Image Transfer Utility を「CameraWindow をインストールする」の手順 1 ~ 2 (119) の操作でインストールします (154)。
- Image Transfer Utility は CANON iMAGE GATEWAY のクラウドシンクロ設定画面 (125) からダウンロードできます。

2 カメラを登録する

- Windows では、タスクバー（画面下部に表示されるバー）で [📷] を右クリックして [新しいカメラの追加] をクリックします。
- Mac OS では、メニューバー（画面上部に表示されるバー）で [📷] をクリックして [新しいカメラの追加] をクリックします。

- CANON iMAGE GATEWAY と連携しているカメラの一覧が表示されるので、送信元になるカメラを選びます。
- カメラが登録されて画像を受信できるようになると、アイコンが [📷] に変わります。

画像を送る

カメラを操作して画像を送信すると、パソコンに自動で保存されます。なお、転送先に設定したパソコンが起動していないときは CANON iMAGE GATEWAY のサーバーに一時的に画像を保存しています。一定期間で削除されるのでパソコンを起動して画像を保存してください。

1 画像を送る

- 「Web サービスに画像を送る」(127) の手順 1 ~ 2 の操作で [📷] を選びます。
- 送信された画像には [↑] が表示されます。

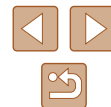
2 パソコンに保存する

- パソコンを起動すると、自動で画像が保存されます。
- Web サービスには、パソコンを起動しなくても、CANON iMAGE GATEWAY のサーバーから画像が自動で転送されます。



- 画像を送信するときは、フル充電されたバッテリーを使うことをおすすめします。

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/ プラスムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
Tv、Av、Mモード
再生モード
無線機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引





- 他の方法でパソコンに取り込んだ画像でも、CANON iMAGE GATEWAY 経由で未転送のときは送信されます。
- カメラと同じネットワークに送信先のパソコンが接続されているときは、CANON iMAGE GATEWAY を経由しないで、アクセスポイント経由で画像が送信されるので、送信時間が短くなります。なお、パソコンに保存された画像は、パソコンから CANON iMAGE GATEWAY に送信されるので、パソコンがインターネットに接続している必要があります。

■ クラウドシンクロで送信した画像をスマートフォンで見る

スマートフォンに「Canon Online Photo Album (Canon OPA)」をインストールすると、クラウドシンクロで送信して CANON iMAGE GATEWAY に一時的に保存されている画像を、スマートフォンで見たりダウンロードすることができます。なお、事前に次の準備が必要です。

- 「パソコンの準備をする」(134) の設定が終わっている必要があります。
- iPhone や iPad では App Store から、Android のスマートフォンでは Google Play から、Canon Online Photo Album を検索してダウンロードし、インストールしてください。
- CANON iMAGE GATEWAY にログインし(125)、カメラの機種を選んでから、Web サービス設定の画面を表示して、クラウドシンクロの設定で、スマートフォンで閲覧・ダウンロードできるように設定を変えてください。詳しくは、CANON iMAGE GATEWAY のヘルプをご確認ください。



- 一定期間を過ぎて CANON iMAGE GATEWAY から削除された画像は見るできません。
- クラウドシンクロの設定で、スマートフォンで閲覧・ダウンロードできるように設定する前に送信した画像は見るできません。



- Canon Online Photo Album の操作については、Canon Online Photo Album のヘルプを参照してください。

スマートフォンでカメラ内の画像やカメラを操作する

スマートフォンの専用アプリケーション Camera Connect を使うと次の操作が行えます。

- カメラ内の画像を一覧で表示したり、スマートフォンに保存したりする
- 撮影する画像に GPS 情報を記録する (135)
- スマートフォンをリモコン代わりにしてカメラを操作する (137)



- 操作するスマートフォンに対して画像を公開する設定にしておく必要があります (116、138)。

撮影する画像に GPS 情報を記録する

撮影する静止画や動画に、Bluetooth に対応しているスマートフォンの GPS 情報(緯度/経度/標高など)を記録することができます。記録された GPS 情報はカメラで確認(88)したり、ソフトウェア(154)を使うと地図上に表示しながら静止画や動画と一緒に確認することもできます。

1 カメラとスマートフォンを Bluetooth で接続する (112)

2 [GPS の設定] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[F1] タブの [GPS の設定] を選び、[OK] を押します。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
ブラスルービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

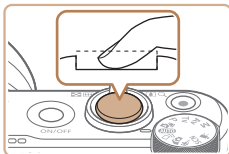
索引





3 設定する

- [スマートフォン連携] を選び、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [する] を選びます。



4 撮影する

- 撮影した静止画や動画に、スマートフォンの GPS 情報が記録され、「GPS 情報表示」(88) で確認できます。
- 次回以降、スマートフォンを操作して Camera Connect を起動したあと、カメラとスマートフォンが Bluetooth で接続していることを確認してから撮影してください。



- Camera Connect が起動していないときは、撮影した画像に GPS 情報は記録されません。
- 動画には撮影をはじめたときの GPS 情報が記録されます。
- Wi-Fi 接続しているときは、GPS 情報は更新されません。
- リモートライブビュー撮影した画像には、Wi-Fi 接続に切り換えたとときの GPS 情報が記録されます。
- カメラの電源が切れた状態から NFC 機能や Bluetooth 機能を使って接続したときは、GPS 情報は記録されないことがあります。
- GPS 情報を記録した静止画や動画は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのため、GPS 情報が記録されている静止画や動画を他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。



- スマートフォンから取得した GPS 情報は、MENU (28) の [📄] タブにある [GPS の設定] を選んだあと、[GPS 情報の表示] を選ぶと確認できます。
- 画面にある以下のアイコンで GPS 情報取得状態を確認できます。[GPS] 取得中、[GPS] 未取得

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/ プラスムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
Tv、Av、Mモード
再生モード
無線機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引



スマートフォンをリモコン代わりにしてカメラを操作する

■ Wi-Fi 機能を使ってカメラを操作する

スマートフォンで撮影画面を見ながら撮影することができます。

- ❗ 操作するスマートフォンに対してすべての画像を公開する設定にしておく必要があります (📖116)。

1 カメラを固定する

- 三脚に取り付けるなどしてカメラを安定させてください。

2 カメラとスマートフォンを接続する (📖116)

- 画像の公開設定では [はい] を選んでください。

3 リモートライブビュー撮影を選ぶ

- スマートフォンを操作して、CameraConnect で [リモートライブビュー撮影] を選びます。
- リモートライブビュー撮影の準備ができると、スマートフォンの画面にカメラからの映像が表示されます。
- カメラの画面にはメッセージが表示され、電源ボタン以外は操作できなくなります。

4 撮影する

- スマートフォンを操作して撮影します。



- 動画は撮影できません。
- ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- 通信状態によっては、映像の表示が遅れたり、撮影のタイミングが遅れることがあります。



- 接続環境によっては、スマートフォンに表示されるカメラからの映像がややぎこちなくなることがありますが、記録される画像に影響はありません。
- 撮影した画像はスマートフォンには転送されません。スマートフォンを操作して、カメラ内の画像を表示して保存してください。

■ Bluetooth 機能を使ってカメラを操作する

Bluetooth に対応しているスマートフォンをリモコン代わりに操作して、撮影したり再生する画像を切り換えたりすることができます。撮影時に素早く接続することができたり、テレビに接続して再生の操作をするときなどに便利です。

1 カメラの準備をする

- カメラで撮影モードや撮影機能を設定します。
- 撮影するときは、三脚に取り付けるなどしてカメラを安定させてください。

2 カメラとスマートフォンを接続する (📖112)

- Bluetooth で接続していることを確認してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



3 Bluetooth リモートコントローラーを選ぶ

- スマートフォンを操作して、Camera Connect で [Bluetooth リモートコントローラー] を選びます。
- スマートフォンの画面が Bluetooth リモートコントローラーの操作画面に切り換わります。

4 撮影したり画像を切り換えたりする

- スマートフォンを操作して、撮影モードで撮影したり再生モードで画像を切り換えたりします。

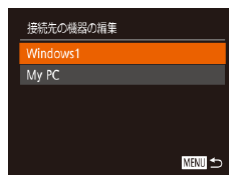
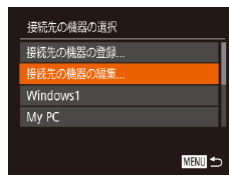
! • Wi-Fi 接続中は、[Bluetooth リモートコントローラー] を選べません。

✎ • Bluetooth の接続状態は、カメラの画面に表示されているアイコンで確認できます (112)。

Wi-Fi の設定を編集 / 消去する

Wi-Fi に関する、設定の編集 / 消去方法について説明します。

接続情報を編集する



1 Wi-Fi メニューを表示し、編集する機器を選ぶ

- [⏏] ボタンを押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して編集したい機器のアイコンを選び、[⏏] を押します。

2 [接続先の機器の編集] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して [接続先の機器の編集] を選び、[⏏] を押します。

3 編集する接続先を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して編集したい接続先を選び、[⏏] を押します。

4 編集する項目を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して編集する項目を選び、[⏏] を押します。
- 編集できる項目は、接続先によって異なります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

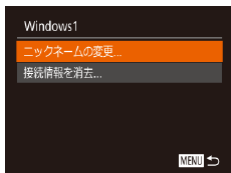


編集できる項目	接続先				
					Webサービス
【ニックネームの変更】 (📖139)	○	○	○	○	-
【画像の公開設定】 (📖116)	-	○	-	-	-
【接続情報を消去】 (📖139)	○	○	○	○	-

○：設定可 -：設定不可

■ 接続先のニックネームを変更する

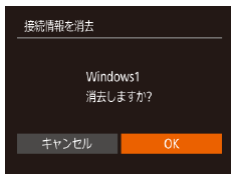
カメラに表示させる接続先のニックネーム（表示名）を変更できます。



- 「接続情報を編集する」(📖138)の手順4の操作で「ニックネームの変更」を選び、**[OK]**を押します。
- 入力欄を選んで**[OK]**を押し、表示されたキーボードでニックネームを入力しなおします(📖29)。

■ 接続情報を消去する

接続情報（接続先の機器の情報）を消去できます。



- 「接続情報を編集する」(📖138)の手順4の操作で「接続情報を消去」を選び、**[OK]**を押します。
- 「削除しますか?」が表示されたら、**[◀]**か**[▶]**を押すか**[OK]**ホイールを回して**[OK]**を選び、**[OK]**を押します。
- 接続情報が消去されます。

■ スマートフォンに公開する画像を設定する

スマートフォンとカメラを接続したときに、カメラのカード内にあるすべての画像をスマートフォンで表示するかを設定できます。



- 「接続情報を編集する」(📖138)の手順4の操作で「画像の公開設定」を選び、目的の項目を選びます。



- リモートライブビュー撮影をするときは、**[入]**を選んでください。

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/ プラスムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
Tv、Av、Mモード
再生モード
無線機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引



カメラのニックネームを変える

接続先の機器に表示されるカメラのニックネームを変えることができます。



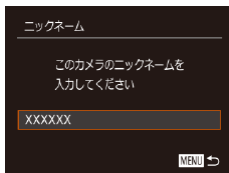
1 [無線通信の設定] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [無線通信の設定] を選びます (📖28)。



2 [ニックネーム] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して [ニックネーム] を選び [📄] を押します (📖28)。



3 ニックネームを変更する

- [📄] を押して表示されたキーボード [📖29] でニックネームを入力します。



- ニックネームの 1 文字目に記号やスペースを入力しようとするとメッセージが表示されます。[📄] を押してから入力しなおしてください。
- はじめて Wi-Fi 機能を使うときに表示される [ニックネームの登録] 画面で、入力欄を選んで [📄] を押してキーボードを表示させて、ニックネームを変えることもできます。

Wi-Fi の設定を初期化する

カメラを譲渡したり廃棄したりするときは、Wi-Fi の設定を初期化します。Wi-Fi の設定を初期化すると、Web サービスの設定内容もすべて消去されます。十分に確認してから初期化してください。



1 [無線通信の設定] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [無線通信の設定] を選びます (📖28)。



2 [設定の初期化] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して [設定の初期化] を選び、[📄] を押します。

3 初期化する

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [OK] を選び、[📄] を押します。
- Wi-Fi の設定が初期化されます。



- Wi-Fi 以外の設定を初期化するときは、[📷] タブの [カメラの初期化] を選びます (📖147)。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



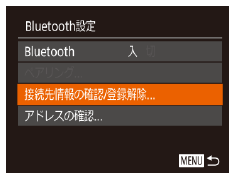
Bluetooth でペアリングしている機器の登録を解除する

他のスマートフォンとペアリングするときは、接続しているスマートフォンの登録を解除します。



1 [Bluetooth 設定] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[F1] タブにある [無線通信の設定] の [Bluetooth 設定] を選びます。



2 [接続先情報の確認 / 登録解除] を選ぶ

- [接続先情報の確認 / 登録解除] を選び、[F2] を押します。



3 登録を解除する

- 接続先情報の確認画面で [F2] を押します。
- [接続先の登録を解除します] が表示されたら、[◀] か [▶] を押すか [F3] ホイールを回して [OK] を選び、[F2] を押します。



4 カメラの登録を解除する

- スマートフォンを操作して、OS の Bluetooth 設定画面からカメラの登録を解除します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

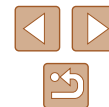
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



設定メニュー

カメラの基本機能を変えて使いやすくなる

カメラの基本機能を変える

MENU (28) の [] タブで設定します。ふだん使う上での便利な機能を自分好みに設定することができます。

音を鳴らさない

カメラの各種動作音や動画再生時の音声を鳴らさないようにできます。



- [消音] を選び、[する] を選びます。



- [MENU] ボタンを押したまま電源を入れても、音を鳴らさないようにできます。
- 音を鳴らさないようにしたときは、動画を再生したとき (86) の音声も鳴らなくなります。動画再生中に [▲] を押すと音声も鳴り、[▲] か [▼] を押すと音量を調整できます。

音量を変える

カメラの各種動作音の音量を変えられます。



- [音量] を選び、[] を押します。
- 項目を選び、[◀] か [▶] を押して音量を変えます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



機能の説明を表示しない

FUNC. (📖27) や MENU (📖28) で項目を選ぶと、機能の説明が表示されます。この説明を表示しないようにすることができます。



- [機能ガイド] を選び、[切] を選びます。

日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。



- [日付／時刻] を選び [⊙] を押します。
- [◀] か [▶] を押して項目を選び、[▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して設定します。

世界時計を使う

海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先(旅行先)のエリアを登録しておく、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付／時刻を設定しなおす必要がなく便利です。なお、世界時計を使うには、あらかじめ「日付／時刻を設定する」(📖18) で日付／時刻と自宅エリアを設定してください。



1 訪問先のエリアを設定する

- [エリア設定] を選び、[⊙] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して [📍訪問先] を選び、[⊙] を押します。
- [◀] か [▶] を押して訪問先エリアを選びます。
- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して [📍] を選び、[◀] か [▶] を押して [🌞] にすると、サマータイム(1時間プラスされます)に設定されます。
- [⊙] を押します。

2 訪問先のエリアに切り換える

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して [📍訪問先] を選び、[MENU] ボタンを押します。
- 撮影画面(📖169)に [📍] が表示されます。



- [📍] の状態で日付／時刻を変える(📖19)と、[🏠自宅]の日時も自動的に変わります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

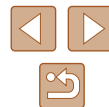
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



レンズ収納時間を変える

撮影状態から [] ボタンを押して約 1 分経過すると、安全のためレンズが収納されます (124)。[] ボタンを押すとすぐにレンズが収納されるようにしたいときは、収納時間を [0 秒] に設定します。



- [レンズ収納時間] を選び、[0 秒] を選びます。

エコモードを使う

撮影モードでのバッテリーの消費をおさえる機能です。カメラを操作していないときに、素早く画面を暗くして消費電力をおさえることができます。



1 設定する

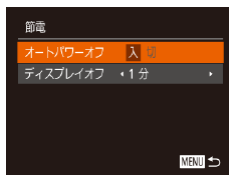
- [エコモード] を選び、[入] を選びます。
- 撮影画面 (169) に [ECO] が表示されます。
- カメラを操作しないと約 2 秒後に画面が暗くなり、その約 10 秒後に画面が消えます。約 3 分後には電源が切れます。

2 撮影する

- 画面が消えている状態でもレンズが出ているときは、シャッターボタンを半押しすると画面が表示され、撮影できます。

節電機能 (オートパワーオフ) の設定を変える

節電機能 (オートパワーオフ) を切ったり、画面が消えるまでの時間 (ディスプレイオフ) を変えたりできます (25)。



- [節電] を選び [] を押します。
- 項目を選んだあと、[] か [] を押して設定を変えます。



- バッテリーの消費を防ぐため、通常は、[オートパワーオフ] を [入] にし、[ディスプレイオフ] を [1 分] 以下にすることをおすすめします。



- [ディスプレイオフ] は、[オートパワーオフ] が [切] のときも働きます。
- エコモード (144) を [入] にしているときは、節電機能は使えません。

画面の明るさを変える

画面の明るさを変えられます。



- [画面の明るさ] を選び、[] か [] を押して明るさを変えます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- 撮影画面や再生モードで1枚表示のときに[▼]を1秒以上押し続けたままにすると、画面が最高の明るさになります（[↑] タブの「画面の明るさ」設定は無効になります）。もう一度[▼]を1秒以上押し続けたままにするか、電源を入れなおすと、もとの明るさに戻ります。

起動画面を表示しない

電源を入れたときに、起動画面を表示しないようにできます。



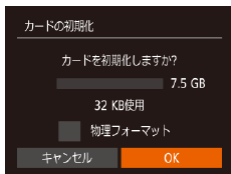
- 「起動画面」を選び、[切]を選びます。

カードを初期化する

新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）することをおすすめします。初期化するとカード内のすべてのデータは消され、もとの戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから初期化をしてください。

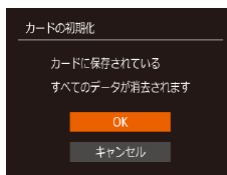
1 「カードの初期化」画面を表示する

- 「カードの初期化」を選び[⊕]を押します。



2 [OK] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか、[⊕] ホイールを回して [OK] を選び、[⊕] を押します。



3 初期化する

- [▲] か [▼] を押すか [⊕] ホイールを回して [OK] を選び、[⊕] を押すと初期化がはじまります。
- 初期化が終わると「カードの初期化が完了しました」が表示されるので、[⊕] を押します。



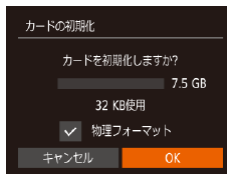
- カード内のデータは、初期化や消去をしてもファイル管理情報が変わるだけで、完全には消えません。カードを譲渡や廃棄するときは注意してください。廃棄するときはカードを破壊するなどして、個人情報の流出を防いでください。



- 初期化の画面で表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量よりも少なくなることがあります。

■ カードを物理フォーマット（初期化）する

「カードが異常です」のメッセージが表示されたとき、カメラが正しく動作しない、カードへの画像記録／再生時の読み出しや連続撮影速度が遅くなった、動画撮影が途中で止まるなどのときに行います。物理フォーマットをすると、カード内のすべてのデータは消され、もとの戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから物理フォーマットをしてください。



- 「カードを初期化する」の手順2（📖 145）の画面で、[▲] か [▼] を押すか [⊕] ホイールを回して【物理フォーマット】を選び、[◀] か [▶] を押して [✓] を表示します。
- 「カードを初期化する」の手順2～3（📖 145）の操作で、初期化（物理フォーマット）します。

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/ プラスムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
Tv、Av、Mモード
再生モード
無線機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引





- 物理フォーマットはカード内の全記憶領域を初期化するため、「カードを初期化する」(P145) よりも時間がかかります。
- 物理フォーマット中に [中止] を選ぶと、初期化を中止できます。中止してもデータはすべて消去されますが、カードは問題なく使えます。

画像番号のつけかたを変える

撮影した画像には、撮影した順に 0001 ~ 9999 の番号がつけられ、1 つのフォルダに 2000 枚ずつ保存されます。この画像番号のつけかたを変えることができます。



- [画像番号] を選び、目的の項目を選びます。

通し番号	画像番号 9999 の画像が撮影／保存されるまでは、カードを変えて撮影しても連番になります。
オートリセット	カードを変えたり、フォルダが新しく作られたときは、画像番号が 0001 に戻ります。



- [通し番号] [オートリセット] とも、変えるカードに画像が入っているときは、その画像番号の続き番号になることがあります。画像番号 0001 の画像から順に保存したいときは、初期化 (P145) したカードをお使いください。

フォルダを撮影日ごとに作る

撮影した画像を保存するフォルダは月ごとに作成されますが、撮影日ごとに作成することもできます。



- [フォルダ作成] を選び、[毎日] を選びます。
- 撮影日ごとに新しいフォルダが作られ、撮影した画像が保存されます。

距離表示の単位を変える

ズームバー (P32)、MF インジケーター (P74) などの表示単位を、m/cm から ft/in (フィート/インチ) に変えることができます。



- [単位] を選び、[ft/in] を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

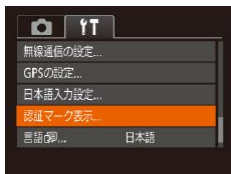
付録

索引



認証マークを確認する

このカメラが対応している認証マークの一部は、画面に表示して確認できます。また、その他の認証マークは、本ガイドやカメラ本体、カメラが入っていた箱にも表記されています。



- [認証マーク表示] を選び、[OK] を押します。

表示言語を変える

画面に表示される言語を変えられます。



- [言語] を選び [OK] を押します。
- [◀] [▶] を押して言語を選び、[OK] を押します。



- 再生モードにして、[OK] を押したまま、すぐに [MENU] ボタンを押すことでも言語画面を表示できます。

その他の基本機能を変える

次の機能も [F1] タブで設定できます。

- [ビデオ出力方式] (151)
- [無線通信の設定] (111)
- [GPS の設定] (135)
- [日本語入力設定] (29)

カメラの設定を初期状態に戻す

カメラの設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます。

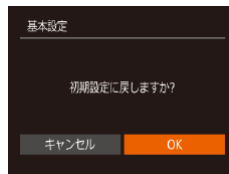
基本設定を初期化する

1 [基本設定] 画面を表示する

- [F1] タブの [カメラの初期化] を選び、[OK] を押します。
- [基本設定] を選び、[OK] を押します。

2 初期状態に戻す

- [◀] か [▶] を押すか [OK] ホイールを回して [OK] を選び、[OK] を押します。
- カメラの基本設定が初期状態に戻ります。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

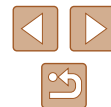
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- 次の機能は初期状態に戻りません。
 - 個人認証機能で登録した内容 (144)
 - [📷] タブの [日付/時刻] (143)、[エリア設定] (143)、[言語] (147)、[日本語入力設定] (29)、[ビデオ出力方式] (151)
 - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ (72)
 - [SCN] (58) モードで設定した撮影モード
 - 動画モード (65)
 - [無線通信の設定] で登録した内容 (111)

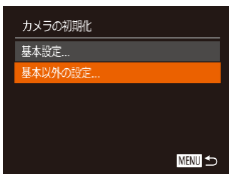
機能ごとに初期化する

次の機能の設定を初期化することができます。

- 日本語入力変換履歴
- 個人認証登録情報
- 無線通信の設定

1 [基本以外の設定] 画面を表示する

- [📷] タブの [カメラの初期化] を選び、[⏏] を押します。
- [基本以外の設定] を選び、[⏏] を押します。



2 初期化する機能を選ぶ

- 初期化する機能を選び、[⏏] を押します。

3 初期状態に戻す

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [OK] を選び、[⏏] を押します。
- 機能の設定が初期状態に戻ります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

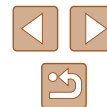
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

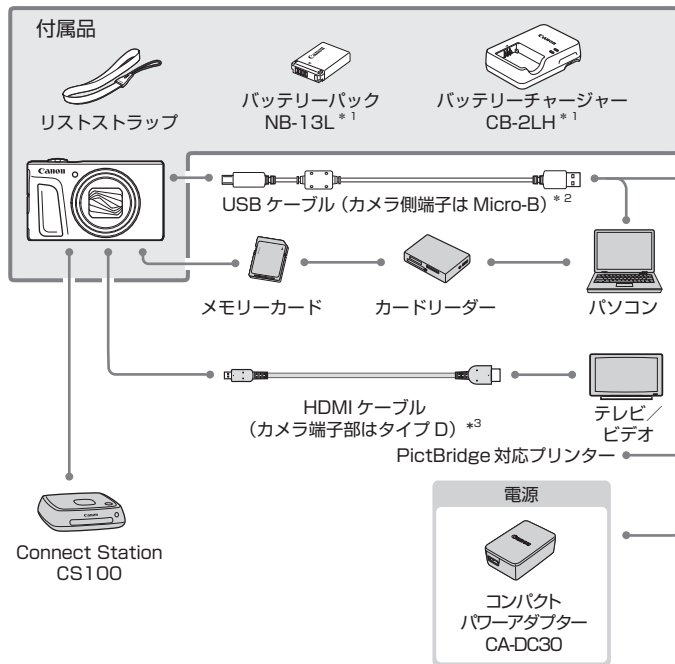
索引



アクセサリ

別売アクセサリや市販の対応機器を使って楽しみかたを広げる

システムマップ



*1 別売りも用意されています。

*2 キヤノン純正品 (インターフェースケーブル IFC-600PCU) もあります。

*3 長さ 2.5m 以下の市販品をお使いください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



アクセサリはキヤノン純正品のご使用をおすすめします

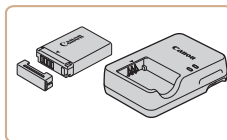
本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリと組み合わせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

別売アクセサリ

必要に応じてお買い求めの上、ご利用ください。なお、アクセサリは、諸事情により予告なく販売を終了することがあります。また、地域によってはお取り扱いがないことがあります。

電源



バッテリーパック NB-13L

- 充電式のリチウムイオン電池です。

バッテリーチャージャー CB-2LH

- バッテリーパック NB-13L 用のバッテリーチャージャーです。



- バッテリーチャージャーは、AC 100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。
- プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。なお、海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。
- このカメラでキヤノン純正以外のバッテリーをお使いになると、[バッテリー通信エラー] のメッセージが表示され、所定の操作が必要となります。なお、純正以外のバッテリーに起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。



- バッテリーには、カバーがついているので、充電したバッテリーは▲が見えるように、充電前のバッテリーは▲が隠れるようにカバーを取り付けると、充電状態を見分けることができます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

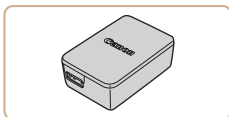
設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

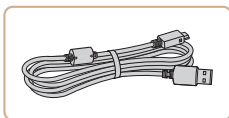




コンパクトパワーアダプター CA-DC30

- 付属のバッテリーをカメラに入れて充電します。カメラとつなぐには、インターフェースケーブル IFC-600PCU (別売)が必要です。

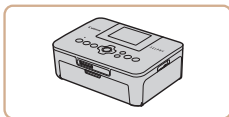
その他



インターフェースケーブル IFC-600PCU

- パソコンやプリンターとカメラをつなぐケーブルです。

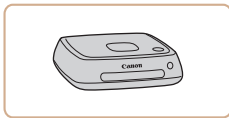
プリンター



キヤノン製 PictBridge 対応プリンター

- プリンターをつなぐと、パソコンを使わずに、撮影した画像を印刷できます。製品の詳細については、ホームページやカタログで確認していただくか、お客様相談センターへお問い合わせください。

フォトストレージ



Connect Station CS100

- カメラで撮影した画像の保存やテレビでの観賞のほか、Wi-Fi 対応プリンターでの印刷やインターネットを活用した画像共有などが楽しめる機器です。

別売アクセサリーの使いかた

▶ 静止画 ▶ 動画

テレビで見る

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラとテレビをつなぐと、撮影した画像をテレビで見ることができま
す。
なお、お使いになるテレビとのつなぎかたや入力の切り換えかたについ
ては、テレビの使用説明書を参照してください。



- テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことが
あります (P.170)。

HD (ハイビジョン) 対応テレビで見る

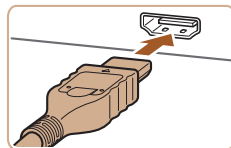
▶ 静止画 ▶ 動画

市販の HDMI ケーブル (長さ 2.5m 以下、カメラ側端子はタイプ D) で
カメラと HD 対応テレビをつないでカメラを操作すると、撮影した画像
をテレビで見ることができます。また、**[FHD 60P]** **[FHD 30P]** **[FHD 24P]** で撮
影した動画は HD (ハイビジョン) 画質で見ることができます。

1 カメラとテレビの電源を切る

2 カメラとテレビをつなぐ

- ケーブルのプラグを、図のようにテレビの HDMI 入力端子へしっかりと差し込みます。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

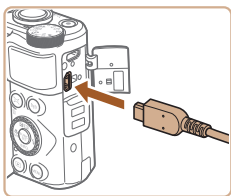
設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

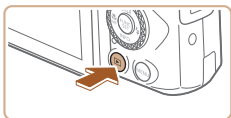




- ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラの端子へしっかりと差し込みます。

3 テレビの電源を入れて、外部入力に切り換える

- テレビの入力を、手順 2 の操作でつないだ外部入力に切り換えます。



4 カメラの電源を入れる

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- 画像がテレビに表示されます (カメラの画面には何も表示されません)。
- 見終わったらカメラとテレビの電源を切ってから、ケーブルを抜きます。



- HD 対応テレビにつないだときは、操作音は鳴りません。

バッテリーを入れて充電する

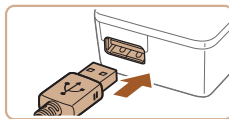
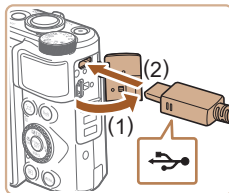
付属のバッテリーとコンパクトパワーアダプター CA-DC30 (別売)、インターフェースケーブル IFC-600PCU (別売) を使ってバッテリーを充電します。

1 バッテリーを入れる

- 「バッテリーとカード (市販品) を入れる」の手順 1 (📖 17) の操作でふたを開きます。
- 「バッテリーとカード (市販品) を入れる」の手順 2 (📖 17) のバッテリーを入れる方法と同じ操作でバッテリーを入れます。
- 「バッテリーとカード (市販品) を入れる」の手順 4 (📖 18) の操作でふたを閉めます。

2 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

- カメラの電源が切れた状態でふたを開き (1)、インターフェースケーブル (別売) の小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます (2)。
- インターフェースケーブルの大きい方のプラグをコンパクトパワーアダプターに差し込みます。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

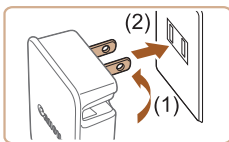
設定メニュー

アクセサリ

付録

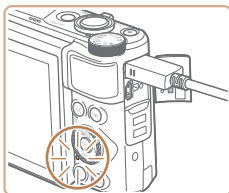
索引





3 充電する

- プラグを(1)の方向へおこして、(2)コンセントに差し込みます。



- 充電がはじまり、USB 充電ランプが点灯します。
- 充電が完了すると、ランプは消灯します。
- コンパクトパワーアダプターをコンセントから抜き、カメラからインターフェースケーブルを外します。



- バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。
- 別のバッテリーを充電するときは、必ずカメラからインターフェースケーブルを外した状態でバッテリーを交換し充電してください。



- 充電に必要な時間、フル充電したバッテリーで撮影できる枚数と時間については、「電源」(P182)を参照してください。
- 充電中でもカメラの電源を入れると、充電しながら、再生モードで画像を見ることができます (P22)。ただし、撮影はできません。
- USB 充電ランプが点灯しないときは、インターフェースケーブルを一度抜いてから差しなおしてください。
- 充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって少しずつ残量が減るため、充電は使う前日が当日にしてください。
- バッテリーチャージャーは、AC100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。プラグの形状が合わないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

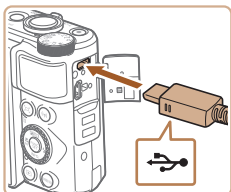
付録

索引

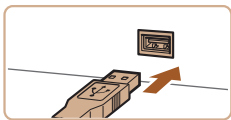


パソコンを使って充電する

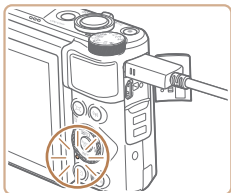
「バッテリーを入れて充電する」の手順 2 (152) で、インターフェースケーブルの大きいほうのプラグをパソコンの USB 端子につないで充電することもできます。パソコンの USB 端子については、パソコンの使用説明書を参照してください。なお、インターフェースケーブル IFC-600PCU (別売) を使うことをおすすめします。



- カメラの電源が切れた状態でふたを開き、ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます。



- ケーブルの大きい方のプラグをパソコンに差し込みます。パソコンとのつながりかたについては、パソコンの使用説明書を参照してください。



- ランプ (背面) が緑色に点滅して充電が始まり、約 4 時間たつと充電が完了します。
- ただし、「パソコンに画像を取り込む」 (155) の操作でカメラからパソコンへのデータ転送しているときは、さらに時間がかかることがあります。
- 充電が完了したあとも、カメラとパソコンを接続しているとランプ (背面) は緑色に点滅し続けます。



- 上記の操作で充電を開始したあとにカメラの電源ボタンを押して電源を切るとカメラのランプ (背面) が消え、充電が停止されます。
- パソコンによってはカードを入れていないと充電できないことがあります。カメラにカードを入れてから (17)、パソコンの USB 端子につないでください。

ソフトウェアを使う

お使いのパソコンに、弊社 Web サイトからソフトウェアをダウンロードしてインストールすると、次のようなことができます。

- CameraWindow (カメラウィンドウ)
 - パソコンへの画像取り込み
- Image Transfer Utility (イメージトランスファーユーティリティ)
 - クラウドシンクロ (133) の設定、画像受信
- Map Utility (マップ ユーティリティ)
 - 画像に記録されている GPS 情報を地図上で表示



- パソコンで画像を見たり編集するときは、カメラで撮影した画像に対応したソフトウェア (パソコンに標準でインストールされているソフトウェアや汎用のソフトウェア) をお使いください。



- Image Transfer Utility は CANON IMAGE GATEWAY のクラウドシンクロ設定画面からもダウンロードできます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



ケーブルを使ってパソコンと接続する

パソコンの環境を確認する

ソフトウェアがお使いになれるパソコンの詳細なシステム構成や最新のOSを含む対応状況については、弊社 Web サイトを確認してください。

インストールする

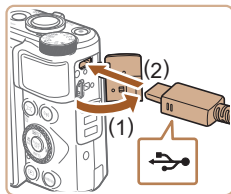
ソフトウェアは「CameraWindow をインストールする」(119) の手順 1～2 の操作でインストールしてください。



- Mac OS でソフトウェアをアンインストール (削除) するときは、[アプリケーション] フォルダ ▶ [Canon Utilities] フォルダを選んだあと、アンインストールしたいソフトウェアのフォルダをゴミ箱に移動し、ゴミ箱を空にします。

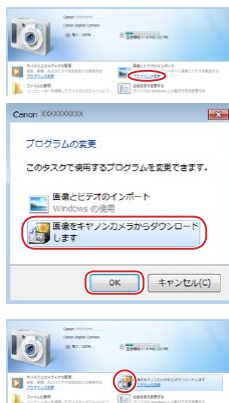
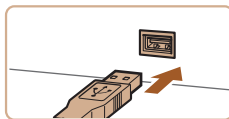
パソコンに画像を取り込む

パソコンに市販の USB ケーブル (カメラ側端子は Micro-B) でカメラをつなぐと、撮影した画像をパソコンへ取り込むことができます。



1 カメラとパソコンをつなぐ

- カメラの電源が切れた状態でふたを開き (1)、USB ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます (2)。



- ケーブルの大きい方のプラグをパソコンに差し込みます。パソコンとのつながり方については、パソコンの使用説明書を参照してください。
- カメラとパソコンがつながると、自動でカメラの電源が入ります。

2 CameraWindow (カメラウィンドウ) を表示する

- Mac OS では、カメラとパソコンが通信できる状態になると、CameraWindow が表示されます。
- Windows では、以下の操作を行います。
- 表示された画面で [] のプログラムを変更するためのリンクをクリックします。
- [画像をキヤノンカメラからダウンロードします] を選び、[OK] をクリックします。

- [] をダブルクリックします。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





3 画像を取り込む

- [カメラ内の画像の取り込み] をクリックしたあと、[未転送画像を取り込む] をクリックします。
- 画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されます。
- 取り込みが完了したら CameraWindow を閉じ、カメラの [▶] ボタンを押して電源を切ってからケーブルを抜きます。
- パソコンに取り込んだ画像を見るときは、カメラで撮影した画像に対応したソフトウェア（パソコンに標準でインストールされているソフトウェアや汎用のソフトウェア）をお使いください。



- Windows 7 で手順 2 の画面が表示されないときは、タスクバーの [カメラ] をクリックします。
- Mac OS で手順 2 の操作をしても CameraWindow が表示されないときは、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の [CameraWindow] アイコンをクリックします。
- ソフトウェアの画像取り込み機能を使わなくても、カメラとパソコンをつなぐだけで画像を取り込むことができますが、次のような制限事項があります。
 - カメラとパソコンをつないでから操作できるようになるまで、数分かかることがあります。
 - 縦位置で撮影した画像が横位置になって取り込まれることがあります。
 - 保護した画像が、パソコン側で解除されることがあります。
 - OS のバージョンや使用するソフトウェア、ファイルサイズによっては、画像や画像に付属する情報が正しく取り込まれないことがあります。

印刷する

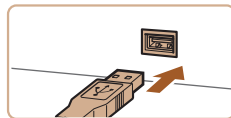
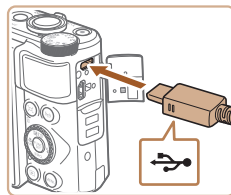
▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像は、カメラとプリンターをつないで印刷することができます。また、カメラで画像を指定しておき、一括印刷、写真店への印刷注文、フォトブックの注文や印刷をすることができます。なお、ここでは、キヤノン製コンパクトフォトプリンター SELPHY CP シリーズを使って説明しています。プリンターによっては表示される画面やできることが異なります。プリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

かんたん印刷

▶ 静止画 ▶ 動画

PictBridge（ピクトブリッジ）対応プリンターに市販の USB ケーブル（カメラ側端子は Micro-B）でカメラをつなぐと、撮影した画像を印刷することができます。



1 カメラとプリンターの電源を切る

2 カメラとプリンターをつなぐ

- ふたを開き、ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます。
- ケーブルの大きい方のプラグをプリンターに差し込みます。プリンターとのつながりかたについては、プリンターの使用説明書を参照してください。

3 プリンターの電源を入れる

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

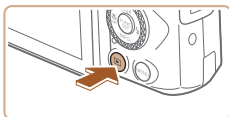
設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





4 カメラの電源を入れる

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。

5 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選びます。

6 印刷画面を表示する

- [●] を押したあと、[凸] を選び、もう一度 [●] を押します。

7 印刷する

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [印刷] を選び、[●] を押します。
- 印刷がはじまります。
- 別の画像を印刷するときには、印刷が終わったあと、手順 5 からの操作を繰り返します。
- 印刷が終わったらカメラとプリンターの電源を切り、ケーブルを抜きます。



- キヤノン製 PictBridge 対応プリンター（別売）については、「プリンター」(P151) を参照してください。



印刷設定をする

▶ 静止画 ▶ 動画



1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」の手順 1 ~ 6 (P156) の操作でこの画面を表示します。

2 設定する

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して項目を選び、[◀] か [▶] を押し内容を選びます。

🗨️	標準設定	プリンターの設定にしたいがいます。
	日付	日付を入れて印刷します。
	画像番号	画像番号を入れて印刷します。
	両方	日付と画像番号の両方を印刷します。
📄	切	-
	標準設定	プリンターの設定にしたいがいます。
	切	-
	入	撮影時の情報を使って最適な設定で印刷します。
🔍	赤目 1	赤く写った目を補正します。
	印刷枚数	印刷枚数を指定します。
トリミング	-	印刷する範囲を指定します (P158)。
用紙設定	-	用紙サイズやレイアウトなどを指定します (P158)。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



■ 画像を切り抜いて印刷する（トリミング）

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の一部分を切り抜いて印刷することができます。



1 「トリミング」を選ぶ

- 「印刷設定をする」の手順1（[157](#)）の操作で印刷画面を表示したあと、「トリミング」を選び、**[OK]**を押します。
- 切り抜く範囲を示す枠が表示されます。



2 切り抜く範囲を指定する

- ズームレバーを動かして枠の大きさを変えます。
- [▲]** **[▼]** **[◀]** **[▶]** を押して枠の位置を変えます。
- [●]** ホイールを回すと枠が回転します。
- [OK]** を押して設定します。

3 印刷する

- 「かんたん印刷」の手順7（[156](#)）の操作で印刷します。



- 画像が小さすぎたり、縦横比によっては、トリミングできないことがあります。
- カメラで「日付写し込み」の指定をして撮影した画像をトリミングすると、日付が正しく印刷されないことがあります。

■ 用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 「用紙設定」を選ぶ

- 「印刷設定をする」の手順1（[157](#)）の操作で印刷画面を表示したあと、「用紙設定」を選び、**[OK]**を押します。



2 用紙サイズを選ぶ

- [▲]** か **[▼]** を押すか **[●]** ホイールを回して内容を選び、**[OK]**を押します。



3 用紙タイプを選ぶ

- [▲]** か **[▼]** を押すか **[●]** ホイールを回して内容を選び、**[OK]**を押します。



4 レイアウトを選ぶ

- [▲]** か **[▼]** を押すか **[●]** ホイールを回して内容を選びます。
- [複数画像]** を選んだときは、**[◀]** か **[▶]** を押して印刷枚数を選びます。
- [OK]** を押します。

5 印刷する

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



レイアウトで設定できる項目

標準設定	プリンターの設定にしています。
フチあり	フチをつけて印刷します。
フチなし	フチなしで印刷します。
複数画像	1枚の用紙に印刷する画像の枚数を選びます。
ID フォト	証明写真用の画像を印刷します。 記録画素数がLで、縦横比が4:3の画像にのみ指定できます。
固定サイズ	印刷する大きさを指定します。 L判、はがき、ワイドサイズでのみ指定できます。

証明写真を印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画

1 [ID フォト] を選ぶ

- 「用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する」の手順 1～4 (📖 158) の操作で [ID フォト] を選び、[OK] を押します。



2 長辺と短辺の長さを選ぶ

- 「▲」か「▼」を押すか [ホイール] を回して項目を選んだあと、「◀」か「▶」を押して長さを選び、「OK」を押します。

3 印刷する範囲を選ぶ

- 「画像を切り抜いて印刷する (トリミング)」の手順 2 (📖 158) の操作で印刷する範囲を選びます。

4 印刷する



動画を印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」の手順 1～6 (📖 156) の操作で動画を選び、左の画面を表示します。

2 印刷方法を選ぶ

- 「▲」か「▼」を押すか [ホイール] を回して [印刷] を選び、「◀」か「▶」を押して印刷方法を選びます。

3 印刷する

動画の印刷方法

1 コマ	表示されているシーンを静止画として印刷します。
連続コマ	動画から一定の間隔で抜き出したシーンを、1枚の用紙に並べて印刷します。[キャプション] を [入] にすると、フォルダ番号、画像番号、コマの経過時間を同時に印刷できます。



- 印刷中に [OK] を押したあと、「OK」を選んで [OK] を押すと印刷が中止されます。
- 「見る」の手順 2～5 (📖 86) の操作で印刷したい動画のシーンを表示したあと、「◀」か「▶」を押して動画操作パネルの [印刷] を選んで [OK] を押しても、手順 1 の画面が表示できます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



印刷指定 (DPOF)

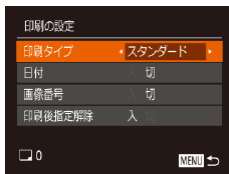
▶ 静止画 ▶ 動画

カード内の画像から印刷したい画像や印刷枚数などを指定して、一括印刷 (P.161) や写真店への印刷注文をすることができます (最大 998 画像)。なお、この指定方法は、DPOF (Digital Print Order Format) 規格に準拠しています。

印刷内容を指定する

▶ 静止画 ▶ 動画

印刷タイプや日付、画像番号といった印刷内容を設定できます。この設定は、印刷指定したすべての画像に共通して適用されます。



- [MENU] ボタンを押して、[⏏] タブの [印刷の設定] を選んだあと、項目を選び、設定します (P.28)。

印刷タイプ	スタンダード	1 枚の用紙に 1 枚の画像を印刷
	インデックス	1 枚の用紙に縮小画像を複数印刷
日付	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷
	入	撮影日を入れて印刷
画像番号	切	—
	入	画像番号を入れて印刷
印刷後指定解除	切	—
	入	印刷後、画像の印刷指定をすべて解除



- プリンターまたは写真店によっては、設定した内容が反映されないことがあります。
- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入ると、[!] が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。



- [インデックス] に設定したときは、[日付] と [画像番号] の両方を [入] にはできません。
- 一部のキヤノン製 PictBridge 対応プリンター (別売) では、インデックス印刷ができないことがあります。
- 日付の並びは、[📅] タブの [日付 / 時刻] で設定した内容で印刷されます (P.18)。

1 枚ずつ枚数を指定する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 [印刷する画像を指定] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[⏏] タブの [印刷する画像を指定] を選び、[⏏] を押します。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して画像を選び、[⏏] を押します。
- 枚数指定ができるようになります。
- [インデックス] では、指定されると [✓] が表示され、もう一度 [⏏] を押すと解除されて [✓] が消えます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





3 枚数を設定する

- [▲] か [▼] を押すか [DISP] ホイールを回して枚数を指定します（最大 99 枚）。
- 手順 2～3 の操作を繰り返して、画像と枚数を指定します。
- [インデックス] では枚数の指定ができません。手順 2 の操作で画像のみを選んでください。
- [MENU] ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

範囲で指定する

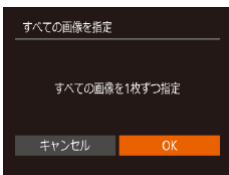
▶ 静止画 ▶ 動画



- 「1枚ずつ枚数を指定する」の手順 1 (P.160) の操作で「範囲で指定」を選び、[DISP] を押します。
- 「範囲で指定する」の手順 2～3 (P.96) の操作で指定します。
- [▲] か [▼] を押して「画像指定」を選び、[DISP] を押します。

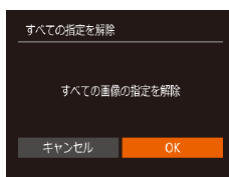
すべての画像を指定する

▶ 静止画 ▶ 動画



- 「1枚ずつ枚数を指定する」の手順 1 (P.160) の操作で「すべての画像を指定」を選び、[DISP] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [DISP] ホイールを回して [OK] を選び、[DISP] を押します。

すべての指定を解除する



- 「1枚ずつ枚数を指定する」の手順 1 (P.160) の操作で「すべての指定を解除」を選び、[DISP] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [DISP] ホイールを回して [OK] を選び、[DISP] を押します。

印刷指定 (DPOF) した画像を印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画



- 印刷指定した画像 (P.160～P.161) があるときは、カメラと PictBridge 対応プリンターをつなぐとこの画面が表示されます。[▲] か [▼] を押して「すぐに印刷」を選び、[DISP] を押すと、印刷指定した画像をかたんに印刷できます。
- 印刷を中断して再開したときは、続きの画像から印刷されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

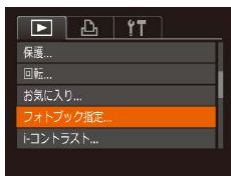


フォトブック指定

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内の画像からフォトブックにしたい画像を指定(最大 998 画像)し、ソフトウェアを使ってパソコンに取り込むと、指定した画像が専用のフォルダにコピーされます。インターネットでフォトブック注文するときや、お使いのプリンターで印刷するとき便利です。

指定方法を選ぶ



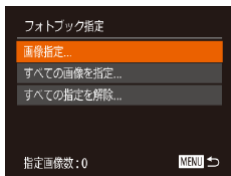
- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [フォトブック指定] を選んだあと、指定方法を選びます。



- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、[!] が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。

1 枚ずつ指定する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 [画像指定] を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」(162) の操作で [画像指定] を選び、[OK] を押します。

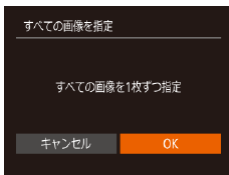


2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して画像を選び、[OK] を押します。
- [✓] が表示されます。
- もう一度 [OK] を押すと解除され、[✓] が消えます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。
- [MENU] ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

すべての画像を指定する

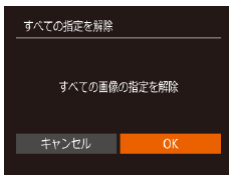
▶ 静止画 ▶ 動画



- 「指定方法を選ぶ」(162) の操作で [すべての画像を指定] を選び、[OK] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [OK] を選び、[OK] を押します。

すべての指定を解除する

▶ 静止画 ▶ 動画



- 「指定方法を選ぶ」(162) の操作で [すべての指定を解除] を選び、[OK] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [OK] を選び、[OK] を押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

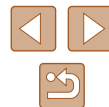
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



付録

カメラを使うときに役立つ情報

故障かな？と思ったら

「カメラが故障したのかな？」と考える前に、次の例を参考に確認してください。ただし、問題が解決しないときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

電源

電源ボタンを押してもカメラが動作しない

- バッテリーを充電してください (117)。
- バッテリーが正しい向きで入っているか確認してください (117)。
- カード/バッテリー収納部ふたが閉じているか確認してください (117)。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。

バッテリーの消耗が早い

- 低温下ではバッテリー性能が低下します。バッテリーの端子部が他の金属にふれないようにして、ポケットなどで温めてからお使いください。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。
- 上記を確認しても、充電したのにすぐ使えなくなるときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

レンズが出たままでも収納されない

- 電源を入れたまま、カード/バッテリー収納部ふたを開けないでください。ふたを閉じたあと、電源を入れてからもう一度切ってください (117)。

バッテリーがふくらむ

- バッテリー特性のため安全上は問題ありません。ただし、バッテリーがふくらむことでカメラに入らなくなったときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

テレビ表示

テレビに表示できない/画面が乱れる (151)

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



撮影

撮影できない

- 再生モードのとき (86) は、シャッターボタンを半押ししてください (25)。

暗い場所での画面表示がおかしい (26)

撮影中の画面表示がおかしい

- 次のときは、静止画には記録されませんが、動画には記録されます。注意してください。
 - 蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、画面がちらついたり横帯が表示されたりすることがあります。

画面いっぱいに表示して撮影できない (49)

画像に日付が写し込まれない

- 「日付/時刻」の設定 (18) だけでは写し込まれませんので、「日付写し込み」を設定してください (41)。
- 「日付写し込み」が設定 (41) できない撮影モード (177) では、写し込みはされません。

シャッターボタンを押したら、画面に [] が点滅表示されて撮影できない (35)

シャッターボタンを半押ししたときに、[] が表示される (35)

- 「手ブレ補正」を「入」にしてください (82)。
- ストロボを上げて、ストロボモードを [] にしてください (80)。
- ISO感度を高くしてください (71)。
- 三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときには、「手ブレ補正」を「切」にして撮影することをおすすめします (82)。

画像がボケて撮影される

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、撮影してください (25)。
- 撮影距離範囲内に被写体をおさめて撮影してください (180)。
- 「AF補助光」を「入」にしてください (52)。
- 意図しない機能 (マクロ撮影など) が設定されていないか確認してください。
- フォーカスロック、AFロックで撮影してください (76、79)。

シャッターボタンを半押ししても、AFフレームが表示されずピントが合わない

- 被写体の明暗差がある部分を画面中央にしてシャッターボタンを半押しするか、半押しを何度か繰り返すとAFフレームが表示され、ピントが合うことがあります。

被写体が暗すぎる

- ストロボを上げて、ストロボモードを [] にしてください (80)。
- 露出補正で明るさを補正してください (70)。
- i-コントラストで補正してください (71、103)。
- AEロックまたはスポット測光で撮影してください (70、70)。

被写体が明るすぎる (白トビする)

- ストロボを下げて、ストロボモードを [] にしてください (32)。
- 露出補正で明るさを補正してください (70)。
- AEロックまたはスポット測光で撮影してください (70、70)。
- 被写体にあっている照明を弱めてください。

ストロボが光ったのに暗い画像になる (35)

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください (181)。
- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください (81、85)。
- ISO感度を高くしてください (71)。

ストロボ撮影した画像の被写体が明るすぎる (白トビする)

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください (181)。
- ストロボを下げて、ストロボモードを [] にしてください (32)。
- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください (81、85)。

ストロボ撮影時、画像に白い点などが写る

- 空気中のちりなどにストロボ光が反射しました。

画像が粗い感じになる

- ISO感度を低くして撮影してください (71)。
- 撮影モードによってはISO感度が高くなるため、粗い感じの画像になることがあります (58)。

目が赤く写る

- 「赤目緩和ランプ」を「入」に設定してください (53)。ストロボ撮影のときは、ランプ (前面) (4) が点灯します。また、写される人がランプを見ているときに効果があります。「室内を明るくする」、「写したい人に近づく」と効果が上がります。
- 赤目補正で補正してください (103)。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/ プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



カードへの画像の記録時間が長い、または連続撮影速度が遅くなった

- カードをこのカメラで物理フォーマットしてください (145)。

撮影機能や FUNC. メニューの設定ができない

- 設定できる項目は撮影モードによって変わります。「撮影機能一覧」、「FUNC. メニュー 一覧」、「撮影タブメニュー 一覧」(171～174) で確認してください。

赤ちゃんや子どものシーンアイコンが表示されない

- 赤ちゃんや子どものアイコンは、個人認証機能 (44) で誕生日を登録しないと表示されません。誕生日を入力しても表示されないときは、顔情報を登録しなおす (45) か、日付/時刻を正しく設定してください (143)。

動画撮影

正しい撮影時間が表示されない、または中断される

- カードをこのカメラで初期化するか、書き込み速度の速いカードを使ってください。撮影時間が正しく表示されないときも、カードには実際に撮影した時間の動画が記録されています (145、181)。

画面に [●] が表示され、撮影が自動的に終わった

- カメラの内部メモリーが少なくなりました。次の方法を試してください。
 - カードをこのカメラで物理フォーマットする (145)。
 - 画質を変える (50)。
 - 書き込み速度の速いカードを使う (181)。

ズームできない

- [📷] モード (61)、[🗨️] モード (67)、[📷] モード (55) では、動画撮影中にズームできません。

被写体がゆがんで見える

- 撮影中に被写体がカメラの前を素早く横切ったときは、ゆがんで見えることがあります。これは故障ではありません。

再生

再生できない

- パソコンでファイル名やフォルダ構造を変えると再生できないことがあります。

再生が中断する、または音声が続切れる

- このカメラで物理フォーマットしたカードを使ってください (145)。
- 動画を、読み込み速度の遅いカードにコピーして再生すると、再生が一瞬中断することがあります。
- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム (コマ) 落ちしたり、音声が続切れたりすることがあります。

動画を再生したときに音声が聞こえない

- [消音] を [する] に設定 (142) しているときや、音声が小さいときは、音量を調整してください (142)。
- [📷] モード (61)、[🗨️] モード (67)、[📷] モード (55) では音声が録音されていないため、音は出ません。

[▲] を押してもストーリーハイライトのホーム画面を表示できない

- プリンターと接続しているときは、ホーム画面を表示できません。接続を解除してください。
- Wi-Fi 接続中は、ホーム画面を表示できません。接続を解除してください。

ストーリーハイライトのホーム画面でアルバムにしたい人物のアイコンが表示されない

- 簡易情報表示 (87) にしているときに人物の名前が表示される静止画を選んでからストーリーハイライトのホーム画面を表示してください (107)。

カード

カードが認識されない

- カードを入れたままで、もう一度電源を入れなおしてください (24)。

パソコン

画像をパソコンに取り込めない

- カメラとパソコンをケーブルでつないで取り込むときは、次の操作で画像の取り込み速度を遅くすることで、問題が解決できることがあります。
 - [▶] ボタンを押して再生モードにしたあと、[MENU] ボタンを押したまま、[▲] と [●] を同時に押します。表示された画面で [◀] が [▶] を押して [B] を選び、[●] を押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



Wi-Fi

[(*)] ボタンを押しても Wi-Fi メニューを表示できない

- カメラをプリンターまたはパソコンとケーブルでつないでいるときは Wi-Fi メニューは表示できません。ケーブルを外してください。

カメラに接続先を登録できない

- カメラに登録できる接続情報は、あわせて 20 件までです。不要な接続情報を削除してから新しい接続先を登録してください (☞ 138)。
- Web サービスの登録は、パソコンまたはスマートフォンを使って設定してください (☞ 125)。
- スマートフォンの登録は、スマートフォンに専用アプリケーション「Camera Connect」をインストールしてから行ってください (☞ 116)。
- パソコンの登録は、ソフトウェア「CameraWindow」をパソコンにインストールしてから行ってください。また、パソコンや Wi-Fi の環境や設定を確認してください (☞ 119、☞ 121)。
- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジなど、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器 (アクセスポイントなど) を近づけて、その間に物を置かないでください。

アクセスポイントに接続できない

- アクセスポイントが、カメラの対応チャンネル (☞ 182) で通信していることを確認してください。また、アクセスポイントのチャンネル選択が自動のときは、カメラが対応するチャンネルのいずれかに手動で固定することをおすすめします。

画像を送信できない

- 接続先の空き容量が不足しています。接続先の空き容量を増やしてから再度送信してください。
- 接続先のカメラに入れているカードのスイッチが「LOCK」側 (書き込み禁止) になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えてください。
- クラウドシンクロでアクセスポイントを経由して画像が送信されたとき (☞ 133) は、パソコンで画像のファイル名やフォルダ名を変えたり移動したりすると、CANON iMAGE GATEWAY や Web サービスに送信されません。パソコンに送信された画像のファイル名やフォルダ名を変えたり移動したりする前に、CANON iMAGE GATEWAY や Web サービスに画像が送信されていることを確認してください。

画像をリサイズして送信できない

- もとの画像より大きい記録画素数にはリサイズできません。
- 動画はリサイズできません。

画像の送信に時間がかかる／無線接続が切断されてしまう

- 複数の画像を送信すると時間がかかることがあります。送信時にリサイズすると、送信時間を短くできます (☞ 133)。
- 動画を送信すると非常に時間がかかることがあります。
- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジなど、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。なお、[Yi] が表示されていても、画像の送信に時間がかかることがあります。
- 本製品と接続先の機器 (アクセスポイントなど) を近づけて、その間に物を置かないでください。

カメラに CANON iMAGE GATEWAY を登録するときに、パソコンやスマートフォンに通知メールが届かない

- 入力するメールアドレスに誤りがないか確認し、登録をやり直してください。
- パソコンまたはスマートフォンのメール設定を確認してください。特定ドメインのメールを受信拒否にしていると受信できないことがあります。

カメラを譲渡または廃棄するので、Wi-Fi の接続情報を消したい

- Wi-Fi の設定を初期化してください (☞ 140)。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



画面に表示されるメッセージ一覧

画面にメッセージが表示されたときは、次のように対応してください。

撮影、再生中

カードがありません

- カードが正しい向きで入っていません。カードを正しい向きで入れます (M17)。

カードがロックされています

- カードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えます (M17)。

記録できません

- カードが入っていない状態で撮影しました。撮影するときは、カードを正しい向きで入れます (M17)。

カードが異常です (M145)

- 使えるカード (M2) を初期化して正しい向きで入れても (M17) 同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

カード残量が足りません

- カードの空き容量がないため、撮影 (M32、M55、M69、M83) や編集 (M101) はできません。画像を消して (M97) 空き容量を作るか、空き容量のあるカードに交換します (M17)。

バッテリーを充電してください (M17)

画像がありません

- カードに表示できる画像が入っていません。

保護されています (M95)

認識できない画像です／互換性のないJPEGです／画像が大きすぎます／再生できません (MOV)／再生できません (MP4)

- 非対応の画像やデータが壊れている画像は表示できません。
- パソコンで加工したり、ファイル名を変えたりした画像や、このカメラ以外で撮影した画像は、表示できないことがあります。

拡大できない画像です／連想再生できない画像です／回転できない画像です／処理できない画像です／処理できません／指定できない画像です／認証情報がありません

- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、以下の機能が使えないことがあります。また、動画では、*の機能が使えません。
認証情報の編集 (M92)*、拡大 (M93)*、連想再生 (M94)*、
回転 (M99)*、お気に入り (M100)、編集 (M101)*、印刷指定 (M160)*、フォトブック指定 (M162)*

指定範囲が正しくありません

- 画像を範囲指定 (M96、M98、M161) するとき、始点に終点より遅い番号の画像、または終点に始点より早い番号の画像を指定しようとした。

指定枚数の上限を超えています

- 印刷指定 (M160) やフォトブック指定 (M162) の画像を998枚より多く指定しました。指定する画像を998枚以下にします。
- 印刷指定 (M160) やフォトブック指定 (M162) を正しく保存できませんでした。指定枚数を減らして、もう一度指定します。
- 保護 (M95)、消去 (M97)、お気に入り (M100)、印刷指定 (M160)、フォトブック指定 (M162) で、501枚以上の画像を指定しようとした。

ファイル名が作成できません

- カード内の画像を保存するフォルダの番号が最大 (999) になっていて、各フォルダに保存されている画像の番号も最大 (9999) になっているため、フォルダの作成や撮影した画像の記録ができません。[↑] タブで「画像番号」を「オートリセット」に変えるか (M146)、カードを初期化します (M145)。

レンズエラーを検知しました

- レンズ動作中にレンズを押さえたり、ホコリや砂ボコリの立つ場所などでカメラを使うと表示されることがあります。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、別紙の修理受付センターへご相談ください。

カメラがエラーを検知しました (エラー番号)

- 撮影直後に表示されたときは、撮影されていないことがあります。再生して画像を確認してください。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、エラー番号 (Exx) を控えて、別紙の修理受付センターへご相談ください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

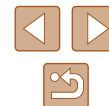
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



ファイルエラー

- パソコンで加工したり、このカメラ以外で撮影した画像は、プリンターにつないでも正しく印刷 (156) できないことがあります。

印刷エラー

- 用紙サイズの設定を確認してください (158)。正しく設定されていてもこのエラーが表示されるときは、プリンターの電源を入れなおして、もう一度設定してください。

インク吸収体が満杯です

- お使いのキャノン製インクジェットプリンターに付属のパーソナル機器修理受付センター、またはお近くの修理受付窓口インク吸収体の交換を依頼してください。

Wi-Fi

接続に失敗しました

- アクセスポイントを認識できませんでした。アクセスポイントの設定を確認してください (121)。
- 接続先が見つかりませんでした。カメラの電源を入れ直し、接続をやり直してください。
- 接続先の機器が、接続できる状態になっているか確認してください。

アクセスポイントが特定できません

- 複数のアクセスポイントの WPS ボタンが同時に押されました。接続をやり直してください。

アクセスポイントが見つかりませんでした

- アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。
- アクセスポイントを手動で指定している場合は、入力した SSID が正しいか確認してください。

パスワードが正しくありません / Wi-Fi のセキュリティー設定が正しくありません

- アクセスポイントのセキュリティー設定を確認してください (121)。

IP アドレスが重複しています

- 他の機器と IP アドレスが重複しないように、IP アドレスを設定し直してください。

接続が切断されました / 受信に失敗しました / 送信に失敗しました

- Wi-Fi の環境が悪い可能性があります。
- 電子レンジなど、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器 (アクセスポイントなど) を近づけて、その間に物を置かないでください。
- 接続先の機器でエラーが発生していないか確認してください。

送信に失敗しました

カードが異常です

- 初期化したカードを正しい向きで入れても同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

受信に失敗しました

カード残量が足りません

- 画像を受信するカメラに入っているカードに空き容量がないため、画像を受信できません。画像を消して空き容量を増やすか、空き容量のあるカードに交換してください。

受信に失敗しました

カードがロックされています

- 画像を受信するカメラに入っているカードのスイッチが「LOCK」側 (書き込み禁止) になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えてください。

受信に失敗しました

ファイル名が作成できません

- 画像を受信するカメラのフォルダ番号が最大値 (999) で、かつ画像番号も最大値 (9999) のときは受信できません。

サーバーの空き容量が不足しています

- CANON iMAGE GATEWAY にアップロードされている画像を削除して、空き容量を増やしてください。
- クラウドシンクロ (133) で送信した画像をパソコンに保存してください。

ネットワーク設定を確認してください

- お使いのネットワーク回線を使ってインターネットに接続できるか確認してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/ プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

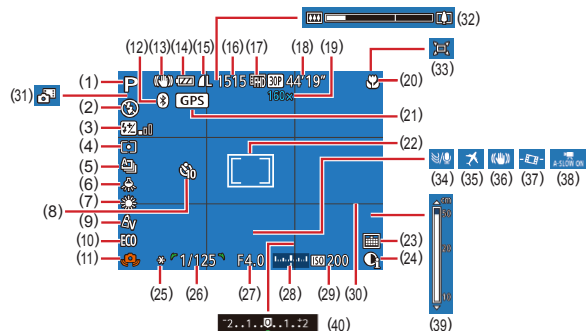
付録

索引



画面の表示内容一覧

撮影時（情報表示あり）



- | | |
|------------------------------|---|
| (1) 撮影モード (171)、シーンアイコン (36) | (13) 手ブレ補正アイコン (37) |
| (2) ストロボモード (80) | (14) バッテリー残量表示 (169) |
| (3) ストロボ調光補正／発光量 (81、85) | (15) 静止画の圧縮率 (82)、記録画数 (49) |
| (4) 測光方式 (70) | (16) 撮影可能枚数 (181) * |
| (5) ドライブモード (79) | (17) 動画の画質 (50) |
| (6) 水銀灯自動補正 (49) | (18) 撮影可能時間 (181) |
| (7) ホワイトバランス (72) | (19) ズーム倍率 (38)、デジタルテレコンバーター (76) |
| (8) セルフタイマー (42) | (20) フォーカスゾーン (74、74)、AF ロック (79) |
| (9) マイカラー (73) | (21) Bluetooth スマートフォン連携 GPS 情報取得状態 (136) |
| (10) エコモード (144) | (22) AF フレーム (76)、スポット測光枠 (70) |
| (11) 手ブレ警告 (35) | |
| (12) Bluetooth 通信状態 (114) | |

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| (23) 日付写し込み (41) | (32) ズームバー (32) |
| (24) i-コントラスト (71) | (33) オート (39) |
| (25) AE ロック (70)、FE ロック (81) | (34) ウィンドカット (67) |
| (26) シャッタースピード (83、84) | (35) エリア設定 (143) |
| (27) 絞り数値 (84、84) | (36) 手ブレ補正 (82) |
| (28) 露出レベル (84) | (37) 自動水平補正 (51) |
| (29) ISO 感度 (71) | (38) オートスローシャッター (66) |
| (30) グリッドライン (50) | (39) MF インジケーター (74) |
| (31) プラスムービーオートモード (34) | (40) 露出補正量 (70) |

* [] モードでは、撮影できる回数が表示されます。

バッテリーの残量表示

バッテリーの状態は、画面にマークやメッセージで表示されます。

画面表示	内容
	十分です。
	少し減っていますが、まだ使えます。
	残量が少なくなってきました。充電してください。
[バッテリーを充電してください]	残量がありません。すぐに充電してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

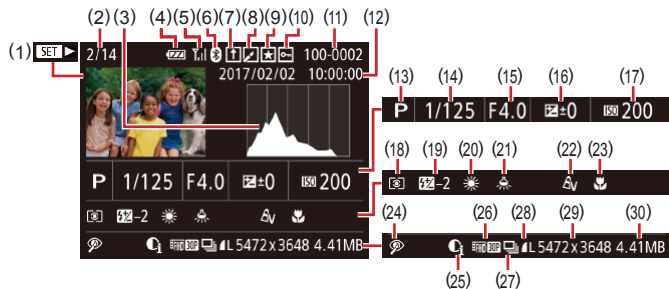
アクセサリ

付録

索引



再生時（詳細情報表示）



- | | |
|---|--|
| (1) 動画再生 (P.32, P.86)、
ダイジェスト動画再生 (P.34) | (16) 露出補正量 (P.70) |
| (2) 再生画像番号／総画像数 | (17) ISO 感度 (P.71) |
| (3) ヒストグラム (P.88) | (18) 測光方式 (P.70) |
| (4) バッテリー残量表示 (P.169) | (19) ストロボ発光 (P.80)、スト
ロボ調光補正量 (P.81) |
| (5) Wi-Fi 電波の状態 (P.132) | (20) ホワイトバランス (P.72) |
| (6) Bluetooth 通信状態 (P.114) | (21) 水銀灯自動補正 (P.49) |
| (7) クラウドシンクロ (P.133) | (22) マイカラー (P.73、
P.102)、クリエイティブショッ
ト効果 (P.56) |
| (8) 画像編集 (P.101)、動画圧縮
(P.105) | (23) フォーカスゾーン (P.74、
P.74) |
| (9) お気に入り (P.100) | (24) 赤目補正 (P.103)、ショートの
クリップの再生効果 (P.67) |
| (10) 保護 (P.95) | (25) i-コントラスト (P.71) |
| (11) フォルダ番号－画像番号
(P.146) | (26) 画質 / フレーム数 (動画)
(P.49, P.50)、アルバム
(P.107) |
| (12) 撮影日時 (P.18) | (27) グループ再生 (P.91) |
| (13) 撮影モード (P.171) | |
| (14) シャッタースピード (P.83、
P.84) | |
| (15) 絞り数値 (P.84, P.84) | |

(28) 圧縮率 (画質) (P.82) /
記録画素数 (P.49, P.50)、
MP4 (動画)

(29) 静止画：記録画素数 (P.181)
動画：再生時間 (P.181)

(30) ファイルサイズ



- テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことがあります (P.151)。

動画操作パネル一覧

「見る」(P.86) で表示される動画操作パネルでは、次の操作ができます。

▶	再生
▶▶	スロー再生 ([◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して再生速度を変更) (音声は再生されません)
◀	前スキップ*または前のチャプター (P.106) ([⊖] を押したままにすると連続戻し)
◀◀	フレーム戻し ([⊖] を押したままにすると早戻し)
▶▶	フレーム送り ([⊕] を押したままにすると早送り)
▶	次スキップ*または次のチャプター (P.106) ([⊕] を押したままにすると連続送り)
🗑️	チャプター消去 (ダイジェスト動画、クリエイティブショット動画、アルバム動画を選んでいるとき (P.106) に表示)
✂️	編集 (P.104)
🖨️	PictBridge 対応プリンターとつないだとき (P.156) に表示

* 約 4 秒前または後のフレームを表示



- 動画再生中に [◀] か [▶] を押すと、前スキップ / 次スキップまたは前後のチャプターへのジャンプができます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



機能 / メニュー 一覧

撮影機能一覧

機能	撮影モード																					
	M	Av	Tv	P	📷	AUTO	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	
露出補正 (📖70)	-	○	○	○	-	-	-	○*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
ストロボ (📖80)																						
⚡ ^A	-	-	-	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
⚡	○	○	○	○	-	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-
⚡ ^B	-	○	-	○	*2	*2	-	-	-	-	-	-	-	-	*2	-	-	-	-	-	-	-
Ⓜ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
絞り数値 (📖84)	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
シャッタースピード (📖84)	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
プログラムシフト (📖70)	-	*3	*3	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AEロック (📖70) / FEロック (📖81)*4	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AEロック (動画) / 露出シフト (📖66)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
フォーカスゾーン (📖74、📖74、📖79)																						
📷 / MF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
📷 / MF	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-
画面の表示																						
情報表示あり / なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
キャッチ AF 被写体指定 (📖77)	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-
撮影情報表示切り換え (📖26)	○	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-

*1 [明るさ] で設定 (📖57)

*2 選択不可。ただし状況に応じて [⚡]

*3 適正な露出を保つよう、絞り数値がシャッタースピードに加え、ISO 感度が自動変更されることがある

*4 FE ロックは [📷] では不可

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

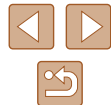
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

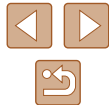


機能	撮影モード																							
	M	Av	Tv	P	AUTO	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	
ドライブモード (📖79)																								
📷	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
📷	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
📷	○	○	○	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-
📷 *1	○	○	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-
静止画アスペクト比 (📖48)																								
16:9	○	○	○	○	-	○	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	○	○	○	*2
3:2	○	○	○	○	-	○	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-
4:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*2
1:1	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-
記録画素数 (📖49)																								
L	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
M1 / M2 / S	○	○	○	○	-	○	-	-	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
圧縮率 (📖82)																								
📷	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
📷	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
動画の画質 (📖50)																								
📷 FHD GOP	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
📷 FHD BOP	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
📷 HD BOP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
📷 VGA BOP	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

*1 [MF] 時、AFロック時、[録] 時は [📷]
 *2 動画記録サイズの縦横比に連動して自動設定
 *3 縦横比の設定に連動して自動設定 (📖61)

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

- お使いになる前に
- 基本編
- 活用編
 - カメラを知る
 - オートモード/ プラスムービーオートモード
 - いろいろな撮影モード
 - Pモード
 - Tv、Av、Mモード
 - 再生モード
 - 無線機能
 - 設定メニュー
 - アクセサリ
 - 付録
- 索引



撮影タブメニュー 一覧

機能	撮影モード	M	Av	Tv	P	📷	AUTO	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	
AF フレーム (📖76)																																			
顔優先 AiAF *1		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	-	○	○	-	○	○		
キャッチ AF		○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-		
中央		○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
AF フレームサイズ (📖76) *2																																			
標準		○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○	-	○	○	-	○	○		
小		○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○	-	○	○	-	○	○	
デジタルズーム (📖38)																																			
入		○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
切		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
テレコン 1.6x / テレコン 2.0x		○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
サーボ AF (📖78)																																			
する		○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-		
しない		○	○	○	○	○	*3	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
コンティニュアス AF (📖78)																																			
する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
しない		○	○	○	○	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

- *1 顔が検出されないときの動作は撮影モードによって異なる
 *2 AF フレームで [中央] 選択時に可
 *3 動きを検出したときは [する]

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
 プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

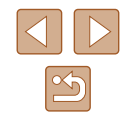
索引



機能		撮影モード																						
		M	Av	Tv	P		AUTO																	
AF 補助光 (📖52)																								
入		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
切		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
MF 拡大表示 (📖74)																								
切		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2x / 4x		○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-
セーフティ MF (📖74)																								
入		○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-
切		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
MF ピーキング設定 (📖75)																								
ピーキング	入	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	切	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
レベル	弱 / 強	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-
色	レッド / ブルー / イエロー	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	ロー	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-
ストロボ設定 (📖53、📖81、📖85)																								
発光モード	オート	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
	マニュアル	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
調光補正	「FUNC. メニュー一覧」の「ストロボ調光補正」(📖172) 参照																							
発光量	「FUNC. メニュー一覧」の「ストロボ発光量」(📖172) 参照																							
赤目緩和ランプ	入 / 切	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
セーフティ FE	入	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
	切	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
i- コントラスト (📖71)																								
オート		○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	
切		○	○	○	○	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
水銀灯自動補正 (📖49)																								
入		-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
切		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

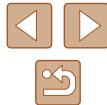
- お使いになる前に
- 基本編
- 活用編
 - カメラを知る
 - オートモード/ プラスムービーオートモード
 - いろいろな撮影モード
 - Pモード
 - Tv、Av、Mモード
 - 再生モード
 - 無線機能
 - 設定メニュー
 - アクセサリ
 - 付録
- 索引



機能		撮影モード																					
		M	Av	Tv	P		AUTO																
セーフティシフト (📖84)																							
入		-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
切		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウィンドカット (📖67)																							
オート		○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
切		○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○
アッテネーター (📖67)																							
切/入		○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
オート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オートスローシャッター (📖66)																							
しない		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
する		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
撮影直後のレビュー表示 (📖53)																							
表示時間	切	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	クイック	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
表示情報	2秒/4秒/8秒/ホールド	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	非表示	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	詳細表示	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
グリッドライン (📖50)																							
入/切		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鏡像表示 (📖27)																							
入		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
切		○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
手ブレ補正設定 (📖82)																							
手ブレ補正	切	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイナミック IS	撮影時	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-
	弱	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
	標準	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	強	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

- お使いになる前に
- 基本編
- 活用編
 - カメラを知る
 - オートモード/
プラスムービーオートモード
 - いろいろな撮影モード
 - Pモード
 - Tv、Av、Mモード
 - 再生モード
 - 無線機能
 - 設定メニュー
 - アクセサリ
 - 付録
- 索引



機能		撮影モード																									
		M	Av	Tv	P	📷	AUTO	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷					
自動水平補正 (📖51)	する	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-
	しない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
表示範囲 (📖39)	大 / 中 / 小	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オート詳細設定 (📖39、📖41)																										
サーチアシスト	入	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	-
	切	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オートズーム	顔 / 上半身 / 全身 / マニュアル / オート	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	-
	切	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日付写し込み (📖41)	切	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日付のみ / 日付+時刻	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
ダイジェスト形式 (📖34)	静止画入り / 静止画なし	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	個人認証設定 (📖45)																										
個人認証	入	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	切	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- 個人認証機能 (📖44) で撮影すると、撮影モードや設定によっては名前が画面には表示されませんが、静止画には記録されることがある

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

- お使いになる前に
- 基本編
- 活用編
 - カメラを知る
 - オートモード/
プラスムービーオートモード
 - いろいろな撮影モード
 - Pモード
 - Tv、Av、Mモード
 - 再生モード
 - 無線機能
 - 設定メニュー
 - アクセサリ
 - 付録
- 索引



設定タブメニュー 一覧

項目	参照ページ
消音	📖142
音量	📖142
機能ガイド	📖143
日付 / 時刻	📖143
エリア設定	📖143
レンズ収納時間	📖144
エコモード	📖144
節電	📖25、📖144
画面の明るさ	📖144
起動画面	📖145
カードの初期化	📖145
画像番号	📖146
フォルダ作成	📖146
単位	📖146
ビデオ出力方式	📖151
Wi-Fi 接続	📖111
無線通信の設定	📖111
GPS の設定	📖135
日本語入力設定	📖29
認証マーク表示	📖147
言語 	📖147
カメラの初期化	📖147

再生タブメニュー 一覧

項目	参照ページ
クリエイティブショット動画再生	📖88
ショートクリップミックス	📖110
アルバムを再生	📖107
ダイジェスト動画の一覧 / 再生	📖89
スライドショー	📖93
消去	📖97
保護	📖95
回転	📖99
お気に入り	📖100
フォトブック指定	📖162
i- コントラスト	📖103
赤目補正	📖103
トリミング	📖101
リサイズ	📖101
レタッチマイカラー	📖102
認証情報	📖89
画像切り換え効果	📖86
一覧表示の効果	📖90
スクロール再生	📖86
グループ表示	📖91
縦横自動回転	📖99
再生開始位置	📖86

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



印刷タブメニュー 一覧

項目	参照ページ
印刷	-
印刷する画像を指定	160
範囲で指定	161
すべての画像を指定	161
すべての指定を解除	161
印刷の設定	160

再生モードの FUNC. メニュー 一覧

項目	参照ページ
回転	99
保護	95
お気に入り	100
印刷	156
グループ再生	91
動画再生	86
ダイジェスト動画のリンク再生	89
連想再生	94
画像の検索	90
スライドショー	93

日ごろの取り扱いについて

- カメラは精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- カメラを磁石やモーターなどの、強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像が消えたりすることがあります。
- カメラや画面に水滴や汚れがついたときは、眼鏡拭きなどのやわらかい布で拭き取ってください。ただし、強くこすったり、押しついたりしないでください。
- 有機溶剤を含むクリーナーなどでは、絶対にカメラや画面を拭かないでください。
- レンズにゴミがついているときは、市販のプロアーで吹き飛ばすだけにしてください。汚れがひどいときは、別紙の修理受付センターにご相談ください。
- カメラを寒いところから急に暑いところへ移すと、カメラに結露（水滴）が発生することがあります。カメラを寒いところから暑いところへ移すときは結露の発生を防ぐため、カメラをビニール袋に入れて袋の口を閉じ、周囲の温度になじませてから取り出してください。
- 結露が発生したときは、故障の原因となりますのでカメラを使わないでください。バッテリー、カードをカメラから取り出し、水滴が消えてから、カメラを使ってください。
- バッテリーはビニール袋などに入れて保管してください。また、バッテリーの性能を維持するために、長期間使わないときは1年に1回程度充電し、使い切ってから保管してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



主な仕様

撮像素子

イメージサイズ.....1/2.3 型
カメラ部有効画素数
(画像処理により画素数が減少する
ことがある。).....約 2030 万画素
総画素数.....約 2110 万画素

レンズ

焦点距離
(35mm フィルム換算値).....4.3 - 172.0 mm
(24 - 960 mm)
ズーム倍率.....40 倍

撮影距離 (レンズ先端からの距離)

撮影モード	フォーカスゾーン	もっとも広角側 (📷) にしたとき	もっとも望遠側 (📷) にしたとき
AUTO*	-	1.0 cm - ∞	2 m - ∞
上記以外	▲	5.0 cm - ∞	2 m - ∞
	🌸	1.0 - 50.0 cm	-

* マニュアルフォーカス設定時と同じ

シャッター

シャッタースピード

撮影モード：AUTO 時 (自動設定)

最長 Tv1 秒
最短 Tv1/3200 秒

全撮影モードをあわせた範囲

最長 Tv15 秒
最短 Tv1/3200 秒

設定できる Tv 値 (秒)

対象撮影モード.....M モード /Tv モード
15, 13, 10, 8, 6, 5, 4, 3.2,
2.5, 2, 1.6, 1.3, 1, 0.8, 0.6,
0.5, 0.4, 0.3, 1/4, 1/5, 1/6,
1/8, 1/10, 1/13, 1/15,
1/20, 1/25, 1/30, 1/40,
1/50, 1/60, 1/80, 1/100,
1/125, 1/160, 1/200,
1/250, 1/320, 1/400,
1/500, 1/640, 1/800,
1/1000, 1/1250, 1/1600,
1/2000, 1/2500, 1/3200

絞り

F 値

Wide 端.....3.3 - 8.0
Tele 端.....6.9 - 8.0

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



■ ストロボ

内蔵ストロボ

ストロボ調光範囲 (Wide 端)

最短 約 50.0 cm
最長 約 4 m

ストロボ調光範囲 (Tele 端)

最短 約 2 m
最長 約 2 m

■ モニター

形式 TFT カラー液晶

画面サイズ 3.0 型

有効画素数 約 92 万ドット

■ 撮影関係

デジタルズーム

倍率 約 4 倍
光学ズームとあわせた最大倍率 約 160 倍
焦点距離 (Tele 端、
35mm フィルム換算値) 約 3840mm 相当
プログレッシブファインズズーム
(記録画素数 L) 約 80 倍

連続撮影

撮影速度 *

AUTO/P モード 通常連続撮影

連続撮影速度 最高: 約 5.9 コマ / 秒

P モード AF 連続撮影

連続撮影速度 最高: 約 4.6 コマ / 秒

* 連続撮影速度は下記条件で低下することがあります。

Tv 値 / Av 値 / 被写体条件 / 明るさ / ストロボ使用 / ズーム位置 / 電池残量

■ 記録関係

ファイルフォーマット DCF 準拠、DPOF 対応
(Version 1.1)

データタイプ

静止画

記録形式 Exif2.3 (DCF2.0)

画像 JPEG のみ

動画

記録形式 MP4











映像 MPEG-4 AVC/H.264

音声 MPEG-4 AAC-LC (stereo)

記録画素数・撮影可能枚数

静止画

16GB (UHS-I) のカード使用時 (約・枚)

L		1766
		2980
M		10798
		3546
M1		5925
		9344
M2		16755
		53992
S		80988
		

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



動画

画素数	記録ファイル サイズ (約)	1 回の記録 時間 (約)	カードに記録できる 撮影可能時間 (約)
FHD 60P (1920 x 1080)	4288 KB/ 秒	29 分 59 秒	59 分 30 秒
FHD 30P (1920 x 1080)	2945 KB/ 秒	29 分 59 秒	1 時間 26 分 5 秒
HD 60P (1280 x 720)	992 KB/ 秒	29 分 59 秒	4 時間 5 分 15 秒
AVCHD 60P (640 x 480)	382 KB/ 秒	59 分 59 秒	10 時間 22 分 35 秒

- メモリーカードの容量がいっぱい、または一回の撮影時間 (約 29 分 59 秒) のいずれかになるまで連続撮影可能

電源

バッテリーパック.....NB-13L

静止画撮影枚数 (CIPA 準拠: 常温 23℃)	約 250 枚
静止画撮影枚数 (エコモード時)	約 355 枚
動画撮影時間 (CIPA 準拠: 常温 23℃)	約 50 分
動画撮影時間 (連続撮影時)	約 85 分
再生時間*	約 5 時間

* 静止画をスライドショーで再生したときの時間

インターフェース

有線

デジタル端子
 (Hi-Speed USB 準拠)Micro USB
 HDMI 出力端子.....Type D

無線

NFC.....NFC Forum Type3/4 Tag 準拠
 (ダイナミック)

Bluetooth

準拠規格Bluetooth Ver. 4.1
 (Bluetooth low energy
 technology)

伝送方式GFSK 変調方式

Wi-Fi

準拠規格IEEE 802.11b
 (DS-SS 変調方式)
 IEEE 802.11g
 (OFDM 変調方式)
 IEEE 802.11n
 (OFDM 変調方式)

送信周波数

周波数帯2.4GHz
 チャンネル1-11ch

セキュリティ

インフラストラクチャー
 モード.....WPA2-PSK (AES/TKIP)、
 WPA-PSK (AES/TKIP)、WEP
 *Wi-Fi Protected Setup 準拠

カメラアクセスポイント

モード.....WPA2-PSK (AES)
 アドホックモード.....WPA2-PSK (AES)

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
 プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



■ 動作環境

温度.....最低：0℃、最高：40℃

■ 大きさ (CIPA 準拠)

W.....110.1mm

H.....63.8mm

D.....39.9mm

■ 質量 (CIPA 準拠)

バッテリーパック・メモリーカード

含む.....約 300g

本体のみ.....約 276g

■ バッテリーパック NB-13L

形式：リチウムイオン充電電池

公称電圧：DC 3.6 V

公称容量：1250 mAh

充放電回数：約 300 回

使用温度：0 - 40℃

■ バッテリーチャージャー CB-2LH

定格入力：AC 100 V - 240 V (50/60 Hz)、
0.09 A (100 V) - 0.06 A (240 V)

定格出力：DC 4.2 V、0.7 A

充電時間：約 2 時間 10 分 (NB-13L 充電時)

使用温度：5 - 40℃

■ コンパクトパワーアダプター CA-DC30

定格入力：AC 100 V - 240 V (50/60 Hz) z
0.07 A (100 V) - 0.045 A (240 V)

定格出力：DC 5.0 V、0.55 A

充電時間：約 2 時間 50 分* (NB-13L をカメラ内に入れての
充電時)

*バッテリーの残量により、充電時間は大きく変わります。

使用温度：5 - 40℃

- 撮影枚数は、CIPA (カメラ映像機器工業会) の試験基準によります。
- 撮影枚数・時間は、撮影条件により少なくなることがあります。
- フル充電状態での枚数・時間です。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



索引

アルファベット

A

AE ロック 70
AF フレーム 76
AF ロック 79
Av (撮影モード) 84

B

Bluetooth 111

C

Camera Connect 112
CameraWindow 154
CANON iMAGE GATEWAY 125

D

DPOF 160

F

FE ロック 81
FUNC.メニュー
一覧 172
基本操作 27

G

GPS 情報記録 135
GPS 情報表示 88

H

HDMI ケーブル 151

I

ISO 感度 71
i-コントラスト 71, 103

M

M (撮影モード) 84

P

P (撮影モード) 69
PictBridge
(ピクトブリッジ) 151, 156

S

SD/SDHC/SDXC カード → カード

T

Tv (撮影モード) 83

W

Web サービスへの送信 125
Wi-Fi 機能 111
Wi-Fi メニュー 116

かな

あ

赤目補正 103
アクセサリ 150
アクセスポイントを使って
接続する 121
圧縮率 (画質) 82

い

色あい (ホワイトバランス) 72
印刷 156

う

ウインクセルフタイマー
(撮影モード) 64
ウインドカット 67
打上げ花火 (撮影モード) 59

え

エコモード 144
エラー表示 167

お

オートシャッター (撮影モード) 63
オートモード (撮影モード) 20, 32
オールドポスター (撮影モード) 59
お気に入り設定 100
音 142

か

カード 2
撮影できる時間 181
海外で使う 143
回転 99
顔セルフタイマー (撮影モード) 64
顔優先 AiAF
(AF フレームモード) 76
拡大表示 93
画質 → 圧縮率 (画質)
画像
消す 97
再生 → 見る
表示時間 53
保護 95
画像番号 146

画像を送る 130
画像をパソコンに取り込む 155
カメラアクセスポイントモード 119
カメラの初期化 147
カメラへの送信 130
画面
表示一覧 169, 170
表示言語 20
メニュー → FUNC. メニュー、
メニュー

き

キャッチ AF 77
魚眼風 (撮影モード) 60
記録画素数 (画像の大きさ) 49

く

クラウドシンクロ 133
クリエイティブショット 55
グリッドライン 50

け

消す 97
検索 90

こ

極彩色 (撮影モード) 59
故障 163
個人認証 44

さ

サーボ AF 78
再生 → 見る
撮影
撮影情報 169
撮影日時 → 日付/時刻

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



し

ジオラマ風（撮影モード） 61
自分撮り（撮影モード） 57
消去 → 消す
ショートクリップ（動画モード） 67
初期状態 → 設定初期化
白黒画像 73

す

水銀灯自動補正 49
ズーム 20, 33, 38
スタンダード（動画モード） 65
ストーリーハイライト 107
ストラップ 2, 16
ストロボ
 常時発光 80
 スローシンクロ 80
 調光補正 81
 発光禁止 80
スマートフォンへの送信 112
スマイル（撮影モード） 63
スライドショー 93

せ

世界時計 143
接続情報の編集 / 消去 138
設定初期化 147
節電 25
セピア調画像 73
セルフタイマー 42
 2秒セルフタイマー 43
 ウイנקセルフタイマー
 （撮影モード） 64
 顔セルフタイマー
 （撮影モード） 64
 タイマー時間と撮影枚数
 を変える 43

そ

測光方式 70
ソフトウェア
 インストール 119, 155
 パソコンへの取り込み 155
ソフトフォーカス（撮影モード） 62

た

縦横比を変える 48
端子 156

ち

中央（AF フレームモード） 76

て

デジタルズーム 38
デジタルテレコンバーター 76
手ブレ補正 82
手持ち夜景（撮影モード） 58
テレビで見る 151
電源 150 → バッテリー、→ バッ
 テリーチャージャー（充電器）
電池 → 日付／時刻
 （日付／時刻用電池）

と

トイカメラ風（撮影モード） 62
動画
 画質（記録画素数 /
 フレーム数） 49, 50
 撮影時間 181
 編集 104
時計機能 31
トリミング
 （画像の切り抜き） 101, 158

に

日時 → 日付／時刻

は

バッテリー
 エコモード 144
 残量表示 169
 充電 17
 節電 25
バッテリーチャージャー
 （充電器） 2, 150
花火 → 打上げ花火（撮影モード）

ひ

ピクトブリッジ
 （PictBridge） 151, 156
日付／時刻
 世界時計 143
 設定 18
 日付／時刻用電池 19
 変更 19
美肌（撮影モード） 60
表示言語 20
ピント合わせ
 AF フレーム 76
 AF ロック 79
 MF ビーキング 75
 サーボ AF 78

ふ

フォーカスゾーン
 マクロ 74
 マニュアルフォーカス 74
フォーカスロック 76
フォトブック指定 162
付属品 2

プラスムービーオート
 （撮影モード） 34
プリント → 印刷
フレーミングアシスト 39
プログラム AE 69

へ

編集

i-コントラスト 103
赤目補正 103
トリミング
 （画像の切り抜き） 101
リサイズ
 （画像を小さくする） 101
レタッチマイカラー 102

ほ

ポートレート（撮影モード） 58
保護 95
ホワイトバランス（色あい） 72

ま

マイカラー 73
マクロ（フォーカスゾーン） 74
マニュアルフォーカス
 （フォーカスゾーン） 74
マニュアルホワイトバランス 72
マルチエリアホワイトバランス 49

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



み

見る 22
1枚表示 22
インデックス表示 90
拡大表示 93
画像の検索 90
スライドショー 93
テレビで見る 151
連想再生 94

露出

AEロック 70
FEロック 81
補正 70

め

メニュー
一覧 171
基本操作 28
メモリーカード → カード

も

モノクロ（撮影モード） 63

ら

ランプ 31, 52, 53

り

リサイズ（画像を小さくする） 101
リストストラップ → ストラップ
リモートライブビュー撮影 137

れ

レタッチマイカラー 102
連想再生 94
連続撮影 37, 43

ろ

ローライト（撮影モード） 59

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



無線機能（Wi-Fi/Bluetooth など）について

- 無線機能が使える国や地域について
 - 無線機能の使用は、国や地域ごとの法令等により規制されていることがあるため、違反すると罰せられることがあります。そのため、無線機能が使用できる国や地域については、キヤノンの Web サイトで確認してください。
なお、それ以外の国や地域で無線機能を使用した際のトラブル等については、弊社は一切責任を負いかねます。
- 次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解、または改造すること
 - 本製品上の証明ラベルをはがすこと
- 本製品のうち、外国為替および外国貿易法により規制されている貨物または技術に該当するものを外国へ輸出（外国への持ち出し、国内における非居住者への開示を含む。）する場合、必要に応じ日本政府の輸出許可または役務取引許可を受ける必要があります。
- 本製品には、米国製暗号化品目が搭載されているため、米国輸出管理規制（EAR）の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。
- ご使用になる Wi-Fi の設定については、必ず控えを取ってください。本製品に登録した無線機能の設定は、誤操作、電波や静電気の影響、事故、故障などによって変質したり消失したりする場合があります。弊社の責によらずに内容の変質や消失が生じた結果による、直接または間接の損害および逸失利益について、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品を譲渡、廃棄、または修理の依頼をするときは無線機能の設定を初期化（消去）してください。
- 紛失や盗難などによる損害の補償はいたしかねます。
紛失や盗難などによって、本製品に登録されている接続先への不正アクセス・利用がされるなどの結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

- 本書に記載している使用方法をお守りください。
本製品の無線機能は、この使用説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途や用法で使用した結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 医療機器や電子機器の近くでは、本製品の無線機能は使用しないでください。
無線機能が医療機器や電子機器の動作に影響を及ぼす恐れがあります。

電波干渉について

- 本製品は、他の電波を発する機器から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして、電波干渉を避けて使用してください。

セキュリティーについて

Wi-Fi は電波を使って通信するため、LAN ケーブルを使う有線 LAN よりもセキュリティーに注意する必要があります。

Wi-Fi をお使いになるときは、次の点に注意してください。

- 使用権限があるネットワークだけを使う
本製品は、周辺の Wi-Fi ネットワークを検索して画面に表示します。そのため、使用する権限がない（知らない）ネットワーク名も表示されることがあります。しかし、それらのネットワークに接続しようとしていたり接続して利用したりすると、不正アクセスと見なされる恐れがあります。使用する権限があるネットワークだけを利用し、それ以外のネットワークには接続しないように注意してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



また、セキュリティに関する設定が適切に行われていないときは、次のような問題が発生する恐れがありますので注意してください。

- 通信の傍受
悪意ある第三者によって Wi-Fi の電波を傍受され、通信内容を盗み見られる恐れがあります。
- ネットワークへの不正アクセス
悪意ある第三者によって、お使いのネットワークに不正に侵入され、情報の盗難・改ざん・破壊をされるといった被害に遭う恐れがあります。また、別の人物を装ってネットワークに不正な情報を流す「なりすまし」通信がされたり、「踏み台」と呼ばれる別の不正アクセスへの中継地点にされたりする恐れもあります。

こうした問題が発生する可能性を少なくするため、Wi-Fi のセキュリティを確保するための仕組みや機能を必ず使ってください。Wi-Fi のセキュリティについて理解し、利便性とリスクのバランスをよく考えたセキュリティに関する設定を行った上で、本製品の Wi-Fi 機能をお使いいただくことをおすすめします。

■ 第三者のソフトウェア

- expat.h
Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生モード

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/ プラスムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
Tv、Av、Mモード
再生モード
無線機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引

■ カメラを貸出・修理依頼・譲渡・廃棄するときのご注意

カメラに個人情報登録したり Wi-Fi のパスワードなどのセキュリティ情報を設定したときは、それらの情報がカメラ内に残っている可能性があります。

カメラを貸したり修理などで一時的に手放すときや、譲渡または廃棄するときは、情報の漏洩を避けるため、以下の作業を行ってください。

- 登録した個人情報は、個人認証設定にある [登録情報の消去] を使って消してください。
- 設定したセキュリティ情報は、無線通信の設定にある [設定の初期化] を使って消してください。

■ 商標、ライセンスについて

- Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- App Store、iPhone、iPad は、Apple Inc. の商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC. の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- Wi-Fi[®]、Wi-Fi Alliance[®]、WPA[™]、WPA2[™] および Wi-Fi Protected Setup[™] は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- Bluetooth[®] のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、キヤノン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- N-Mark は米国およびその他の国における NFC Forum, Inc. の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。
- 本機器は、Microsoft からライセンスされた exFAT 技術を搭載しています。

- This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

■ このガイドについて

- 内容を無断で転載することは、禁止されています。
- 記載されている数値はすべて当社試験基準によります。
- 内容および製品の仕様や外観を将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- 本製品を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

